令和６年度

男女平等・共同参画及び性の多様性に関する区民意識調査報告

目　　次

	ページ
令和６年度　男女平等・共同参画及び性の多様性に関する区民意識調査報告	Ⅲ－ 1
資料　男女平等・共同参画及び性の多様性に関する区民意識調査調査票	Ⅲ－58

令和６年度　男女平等・共同参画及び性の多様性に関する区民意識調査報告

１　調査の目的

この調査は、男女平等・共同参画及び性の多様性に関する区民の意識を把握し、今後の関係施策を推進するための基礎資料を得ることを目的とする。

２　調査の内容

Ⅰ　男女平等に関する意識と実態　　Ⅱ　ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）
Ⅲ　人権・性の多様性の尊重　　Ⅳ　区の男女平等・共同参画及び性の多様性尊重施策

３　調査方法と回収状況

（１）調 査 地 域　　目黒区全域
（２）調 査 対 象　　目黒区在住の 18 歳以上の個人
（３）対 象 者 数　　2,500 人（女性 1,250 人、男性 1,250 人）
（４）抽 出 方 法　　住民基本台帳を基に男女別に無作為抽出
（５）調 査 方 法　　郵送配布－インターネット回答
（６）調 査 期 間　　令和 6 年 4 月 24 日（調査案内発送）～令和 6 年 5 月 31 日
（７）調査実施機関　　目黒区総務部人権政策課
（８）回 収 状 況

	標本数	有効回収数※	有効回収率
総　数	2,500	656	26.2%
女　性	1,250	350	28.0%
男　性	1,250	301	24.1%

※有効回収総数には性別についての設問で「それ以外」と回答した人を含む。

【参考】令和５年度　男女平等・共同参画及び性の多様性に関する区民意識調査

〇調査方法と回収状況

（１）調 査 地 域　　目黒区全域
（２）調 査 対 象　　目黒区在住の 18 歳以上の個人
（３）対 象 者 数　　2,500 人（女性 1,250 人、男性 1,250 人）
（４）抽 出 方 法　　住民基本台帳を基に男女別に無作為抽出
（５）調 査 方 法　　郵送配布－インターネット回答
（６）調 査 期 間　　令和 5 年 4 月 26 日（調査票発送）～令和 5 年 5 月 31 日
（７）調査実施機関　　目黒区総務部人権政策課
（８）回 収 状 況

	標本数	有効回収数	有効回収率
総　数	2,500	671	26.8%
女　性	1,250	370	29.6%
男　性	1,250	297	23.8%

※有効回収総数には性別についての設問で「それ以外」と回答した人を含む。

４　報告書の見方

（１）回答は、各質問の回答者数（ｎ）を基礎とした百分率（％）で表示した。

（２）百分率は、小数第二位を四捨五入してあるため、比率の合計が 100%にならない場合がある。

（３）複数回答の場合には、回答比率の合計が 100%を超える場合がある。

（４）信頼度を 95%とした場合、標本誤差は下式により求められる。

$$\text{標本誤差} = \pm 2\sqrt{\frac{N-n}{N-1} \times \frac{P(1-P)}{n}}$$

Ｎ＝母集団数
ｎ＝比率算出の基数（回答者数）
Ｐ＝回答の比率

母集団数（令和 6 年 4 月 1 日現在の目黒区の 18 歳以上の人口）は 244,041 人

今回の調査結果の標本誤差は以下のとおり。

回答比率（P） / n	90%又は10%程度	80%又は20%程度	70%又は30%程度	60%又は40%程度	50%程度
656	±2.3	±3.1	±3.6	±3.8	±3.9
500	±2.7	±3.6	±4.1	±4.4	±4.5
400	±3.0	±4.0	±4.6	±4.9	±5.0
300	±3.5	±4.6	±5.3	±5.7	±5.8
200	±4.2	±5.7	±6.5	±6.9	±7.1
100	±6.0	±8.0	±9.2	±9.8	±10.0

【表の見方】
たとえば、ある設問に「そう思う」と回答した人が全体（ｎ＝656）の 20.0%であった場合、上記表の回答比率に当てはめると、20%程度の標本誤差は±3.1%であるため、「そう思う」と考えている人は、標本誤差を補正すると、16.9%から 23.1%の間にあることが、95%の信頼度でいえることになります。

（５）コメント掲載基準

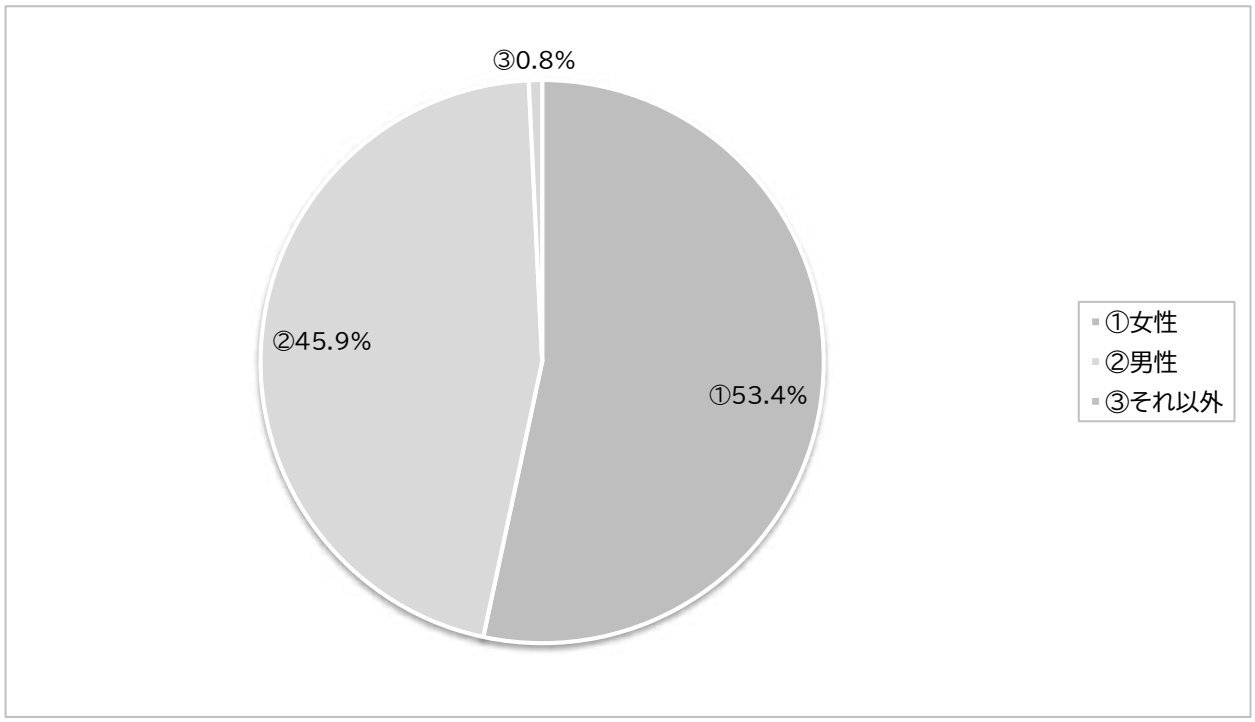
ア　性別により回答に大きく違いがあるもの

イ　前回調査と比較可能な設問については、前回の調査結果と比べて変化の大きいもの（標本誤差の範囲内のものについてはコメントしない。）

ウ　区の施策への要望等については、要望の多い項目を記載（問 4・9・11・13・20・22・23）

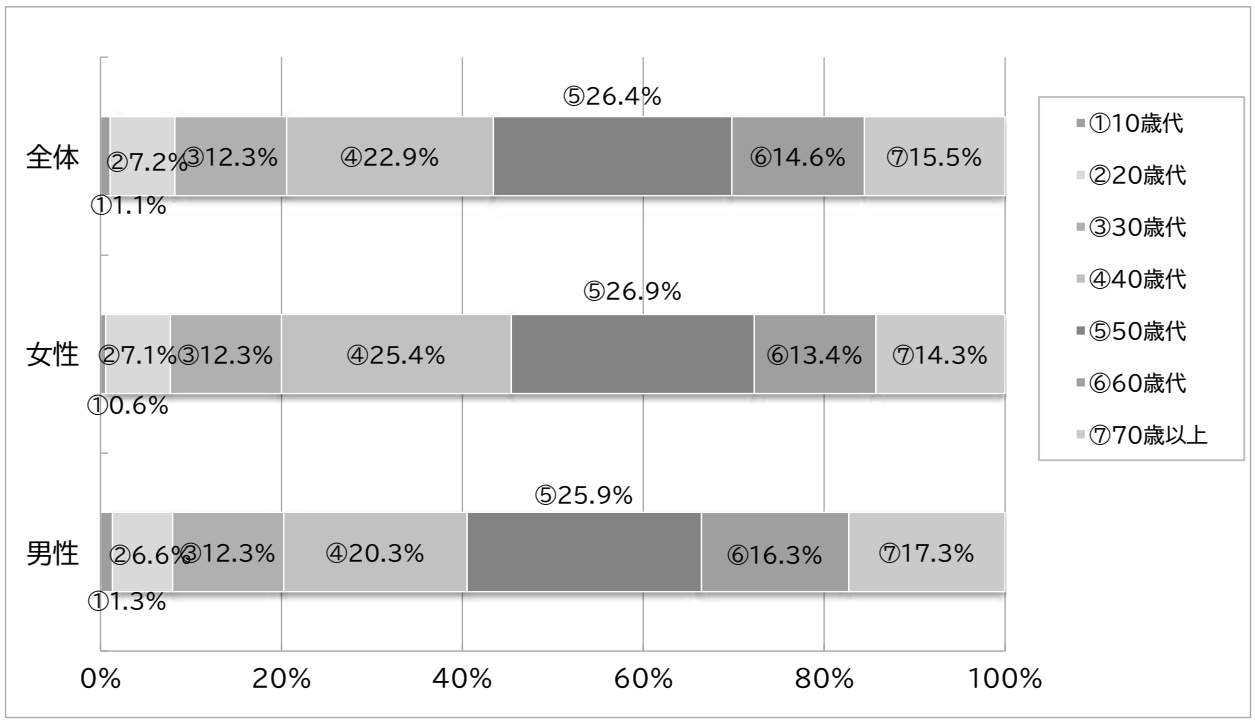
【回答者のプロフィール】

F1 自認する性別



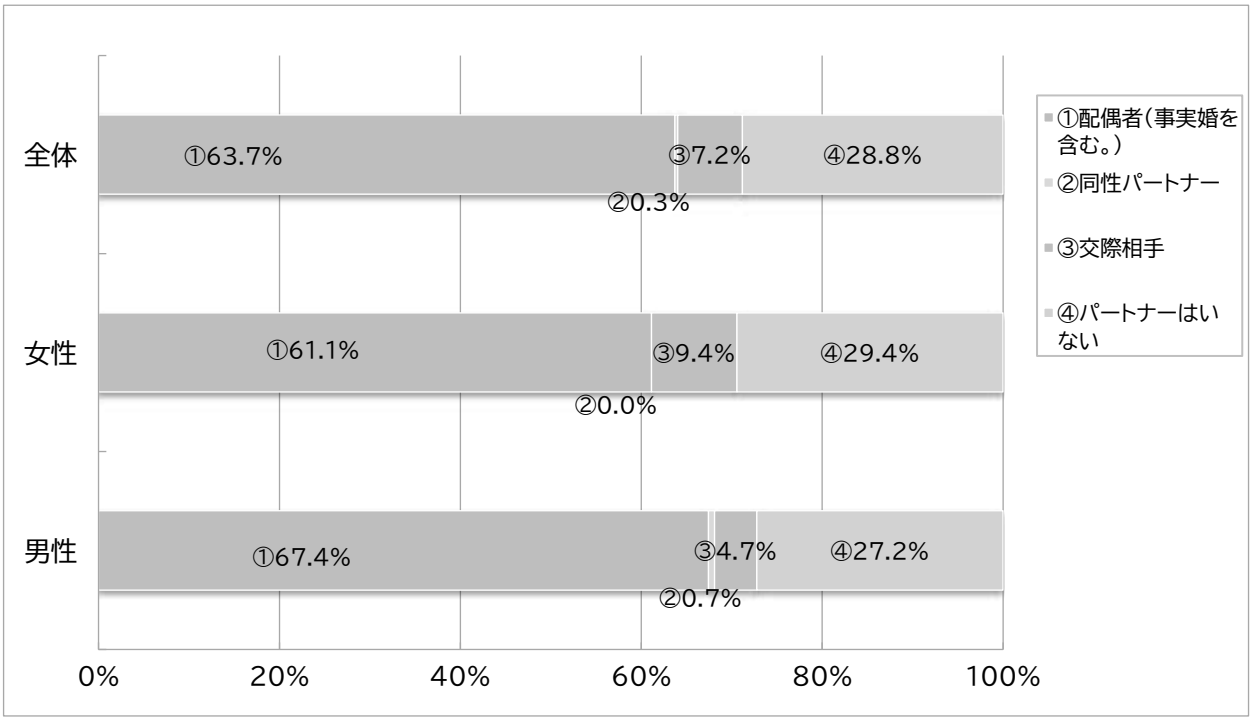
全体 N= 656　　女性 N= 350　　男性 N= 301　　それ以外 N= 5

F2 年齢



全体 N= 656　　女性 N= 350　　男性 N= 301　　それ以外 N= 5

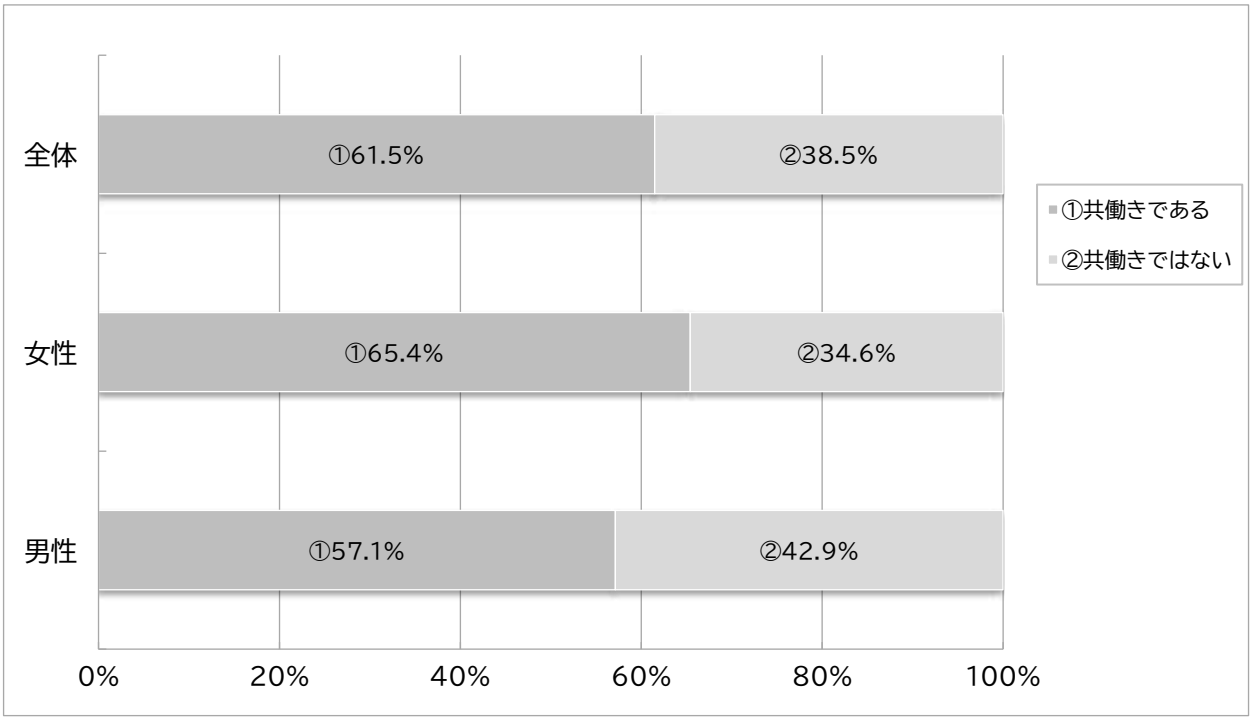
F3 パートナーの有無



全体 N= 656　　女性 N= 350　　男性 N= 301　　それ以外 N= 5

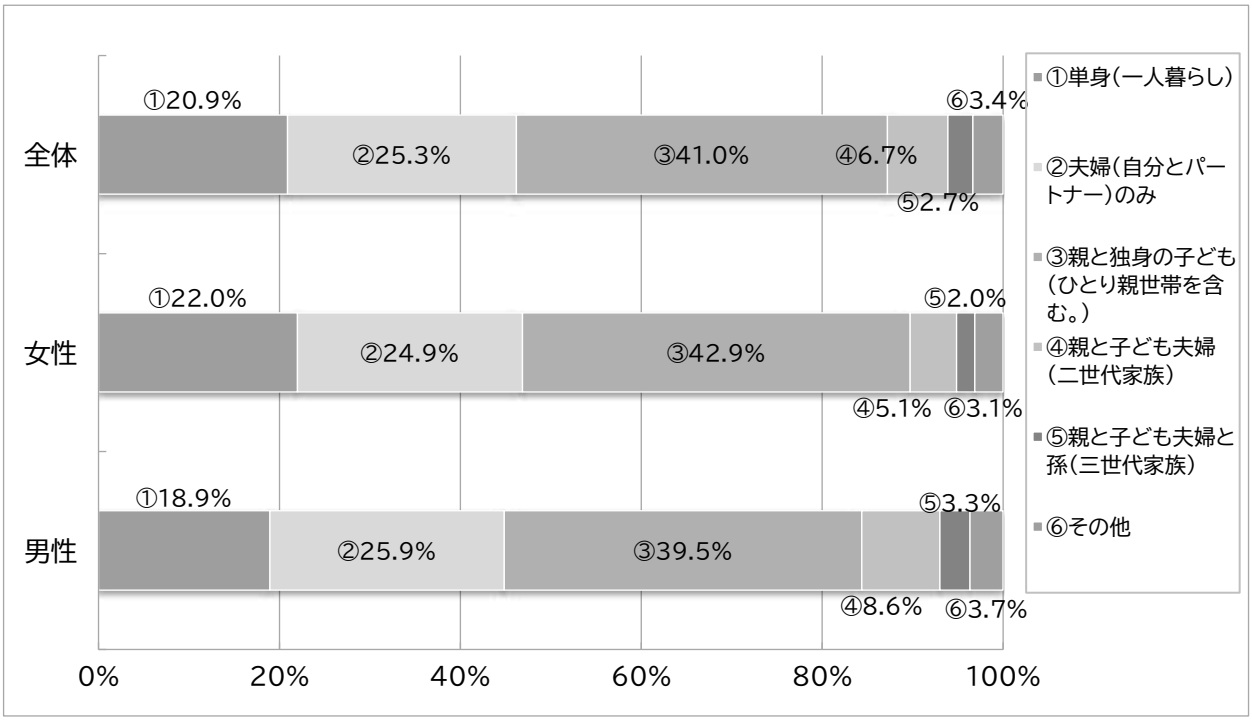
F3で配偶者(事実婚のパートナーを含む。)がいると回答があった中で

F3－1　共働き(パート・アルバイトを含む。)であるかどうか



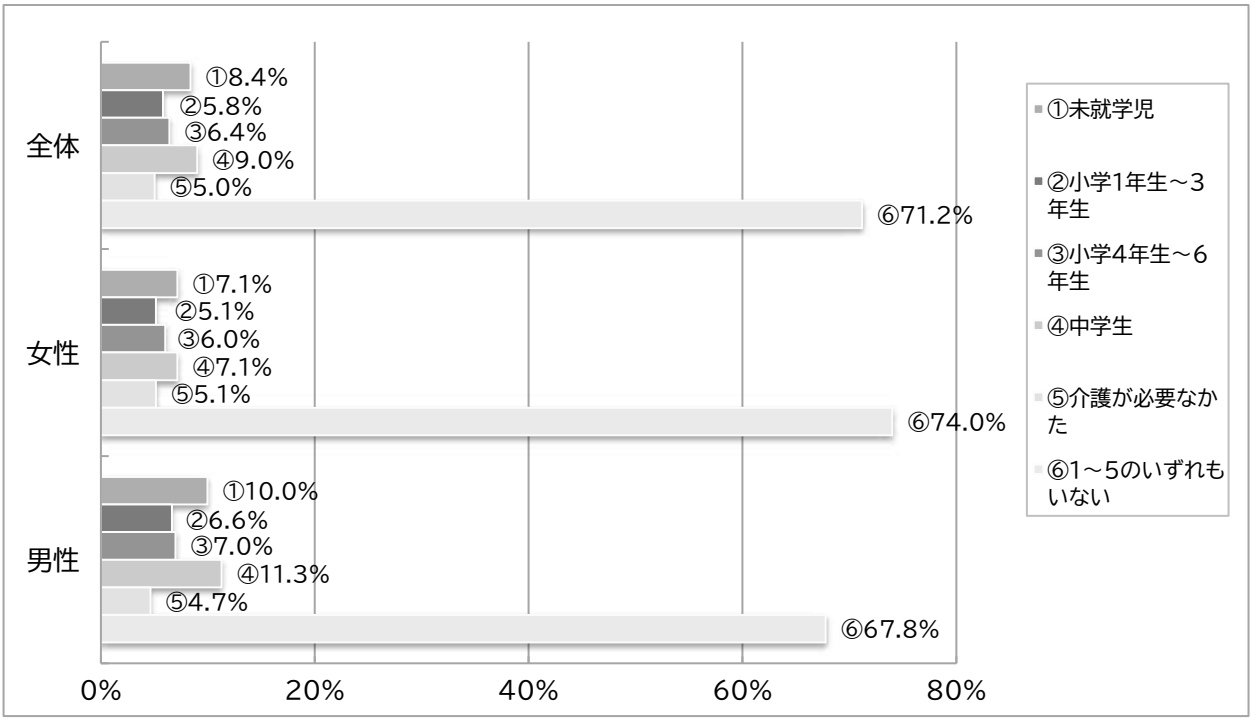
全体 N= 418　　女性 N= 214　　男性 N= 203　　それ以外 N= 1

F4 世帯構成



全体 N= 656　　女性 N= 350　　男性 N= 301　　それ以外 N= 5

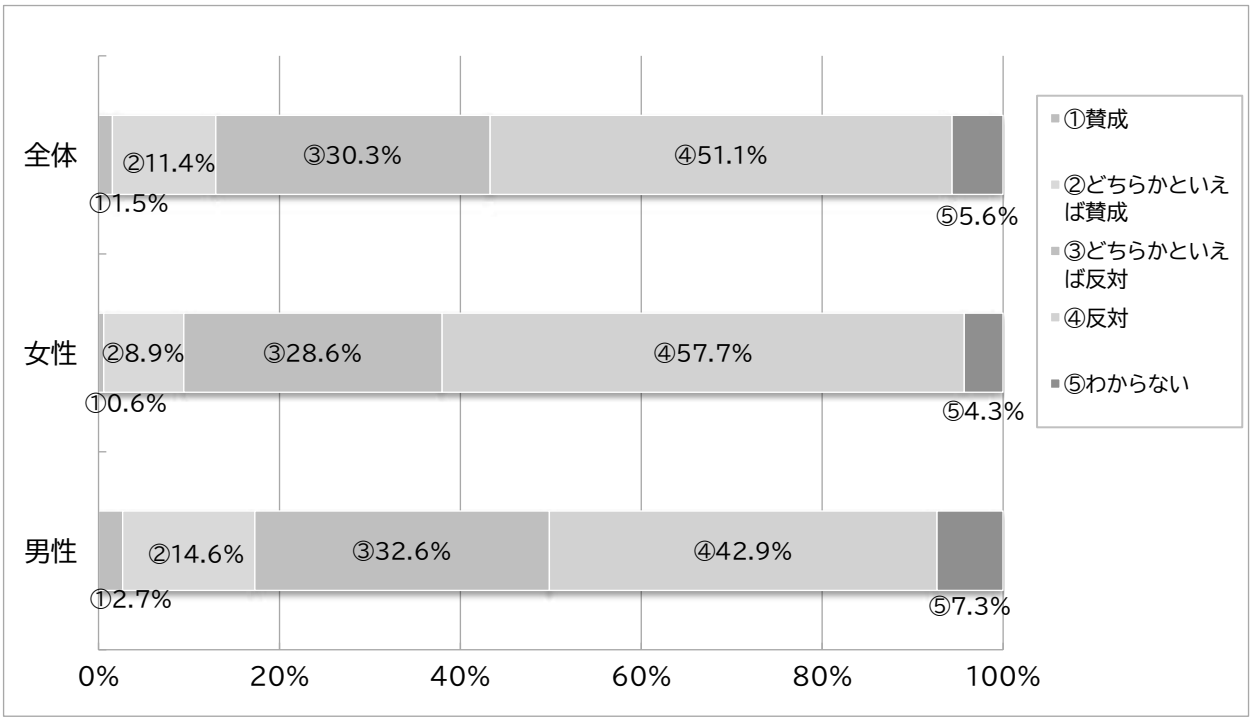
F5 家庭内に子どもや介護が必要なかたがいるかどうか(複数回答)



全体 N= 656　　女性 N= 350　　男性 N= 301　　それ以外 N= 5

【Ⅰ　男女平等に関する意識と実態】

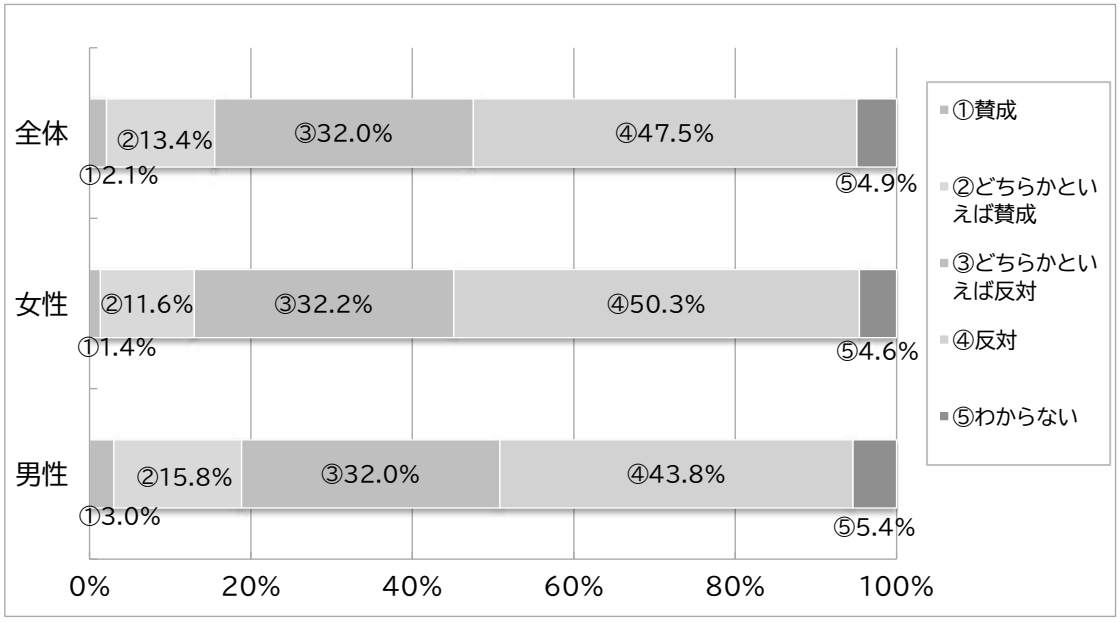
問1　社会や家庭などで性別による固定的な役割があるという考え方について、あなたはどう思いますか。（単一回答）



全体 N= 656　　女性 N= 350　　男性 N= 301　　それ以外 N= 5

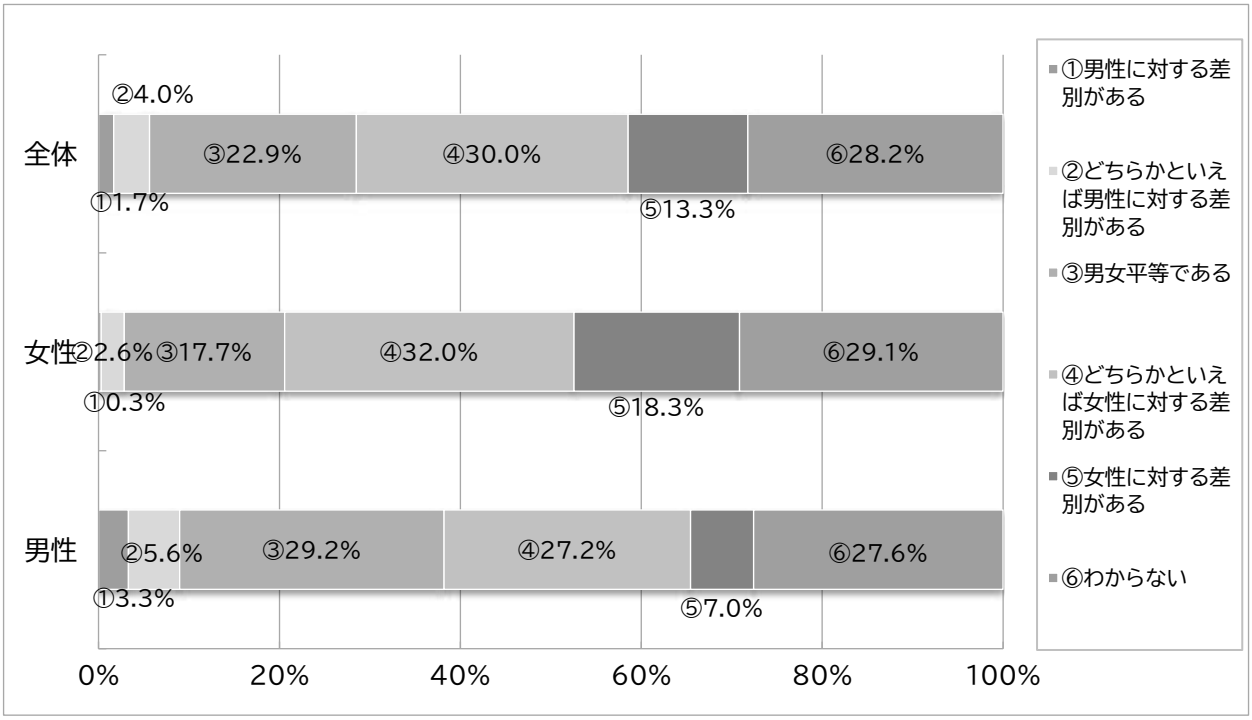
■令和5年度調査

問1　社会や家庭などで性別による固定的な役割があるという考え方について、あなたはどう思いますか。（単一回答）



全体 N= 671　　女性 N= 370　　男性 N= 297　　それ以外 N= 4

問2(ア)　主に目黒区内における家庭生活(家事・育児・介護)の分野で、性別による差別(不利益)が無く、平等になっていると思いますか。(単一回答)

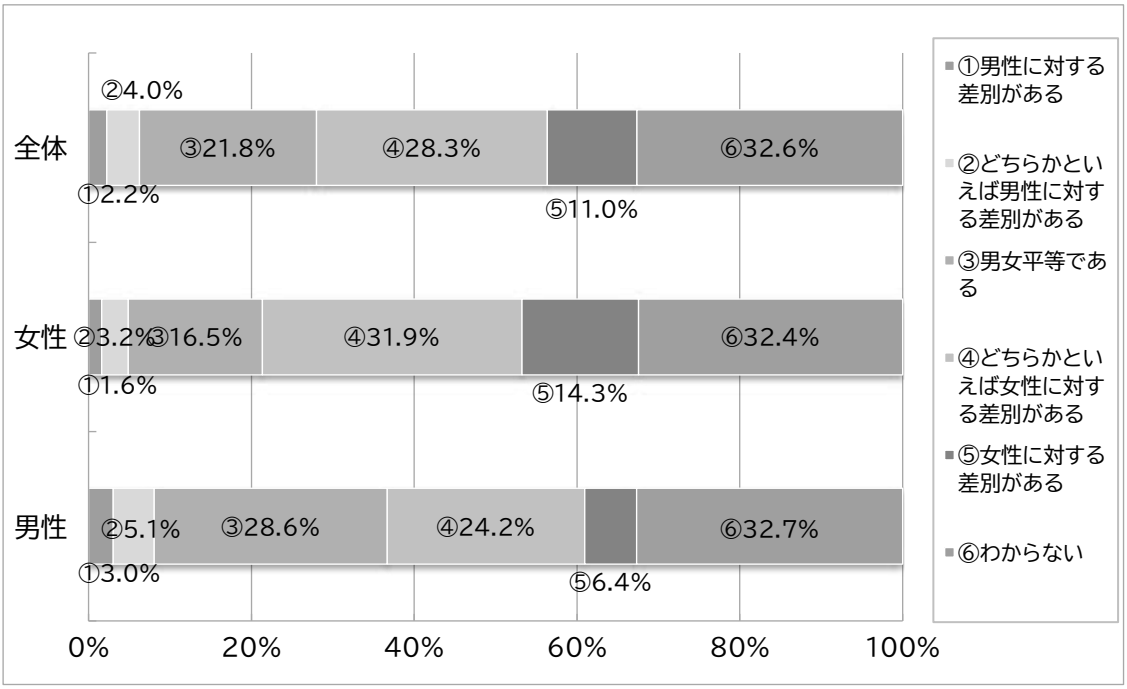


全体 N= 656　　女性 N= 350　　男性 N= 301　　それ以外 N= 5

家庭生活の分野について「男女平等である」と回答した人は、女性が17.7%、男性が29.2%で男女差がある。同様に、「女性に対する差別がある」と「どちらかといえば女性に対する差別がある」と回答した人は全体では4割を超えるが、女性では50.3%、男性では34.2%であり、男女で認識に差がある。

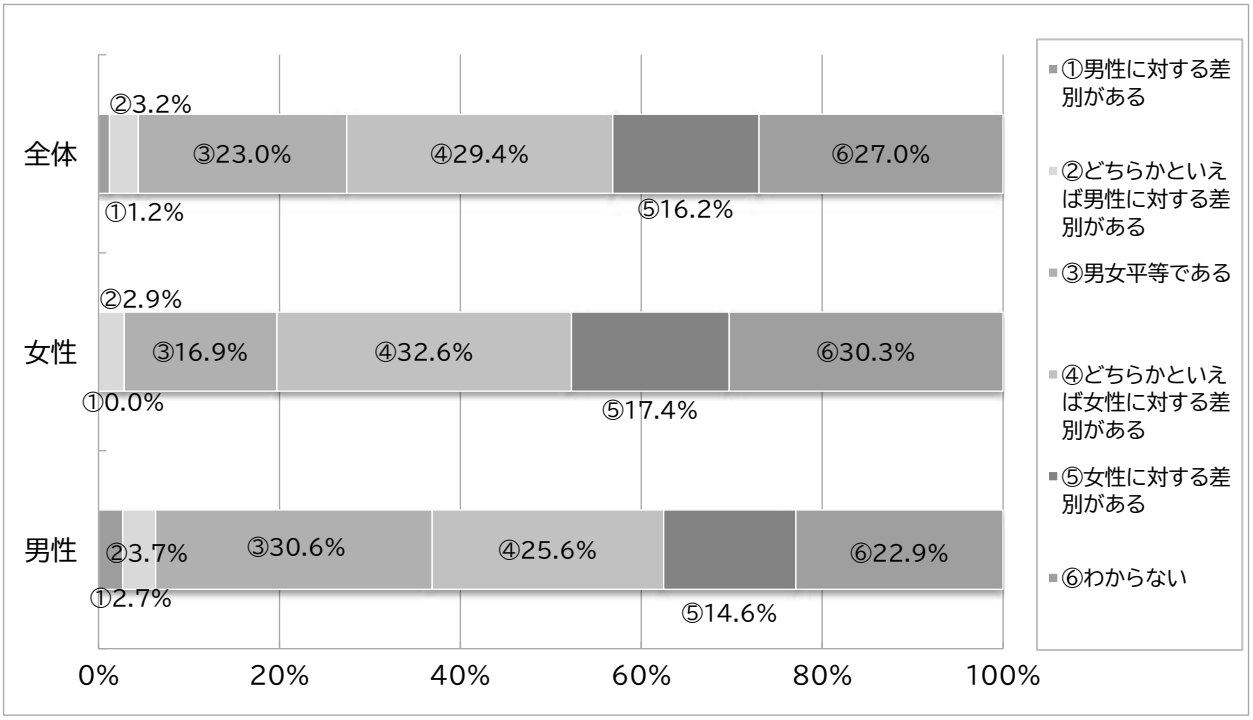
■令和5年度調査

問2(ア)　主に目黒区内における家庭生活(家事・育児・介護)の分野で、性別による差別(不利益)が無く、平等になっていると思いますか。(単一回答)



全体 N= 671　　女性 N= 370　　男性 N= 297　　それ以外 N= 4

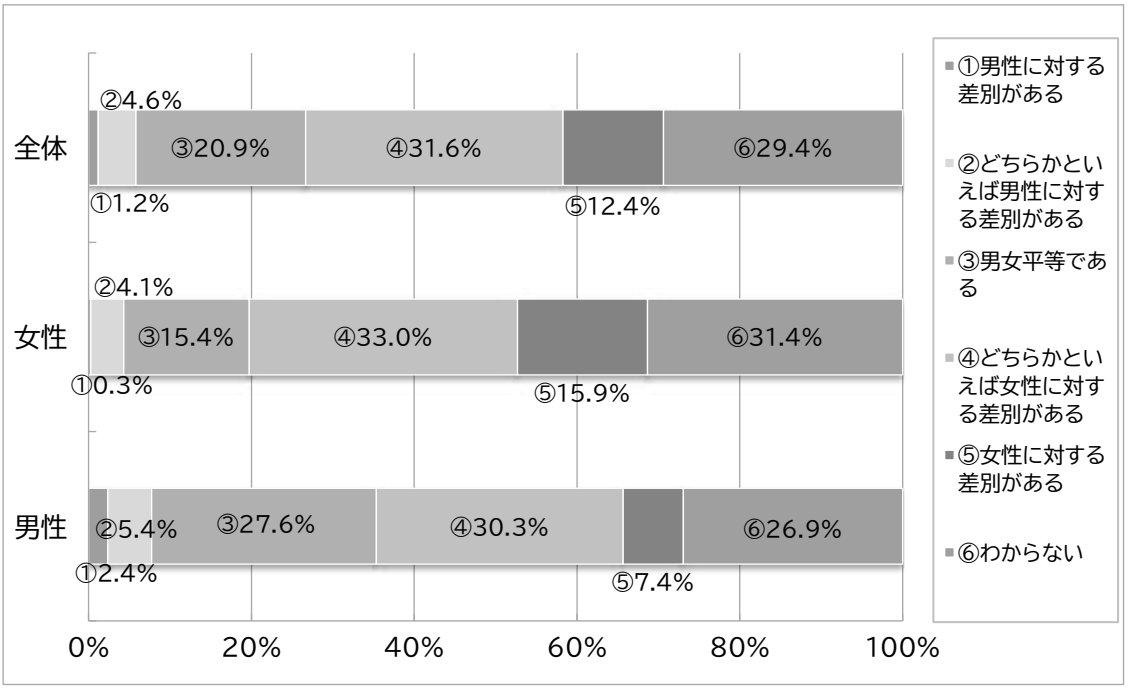
問2(イ)　主に目黒区内における労働・雇用・職場の分野で、性別による差別(不利益)が無く、平等になっていると思いますか。(単一回答)



全体 N= 656　　女性 N= 350　　男性 N= 301　　それ以外 N= 5

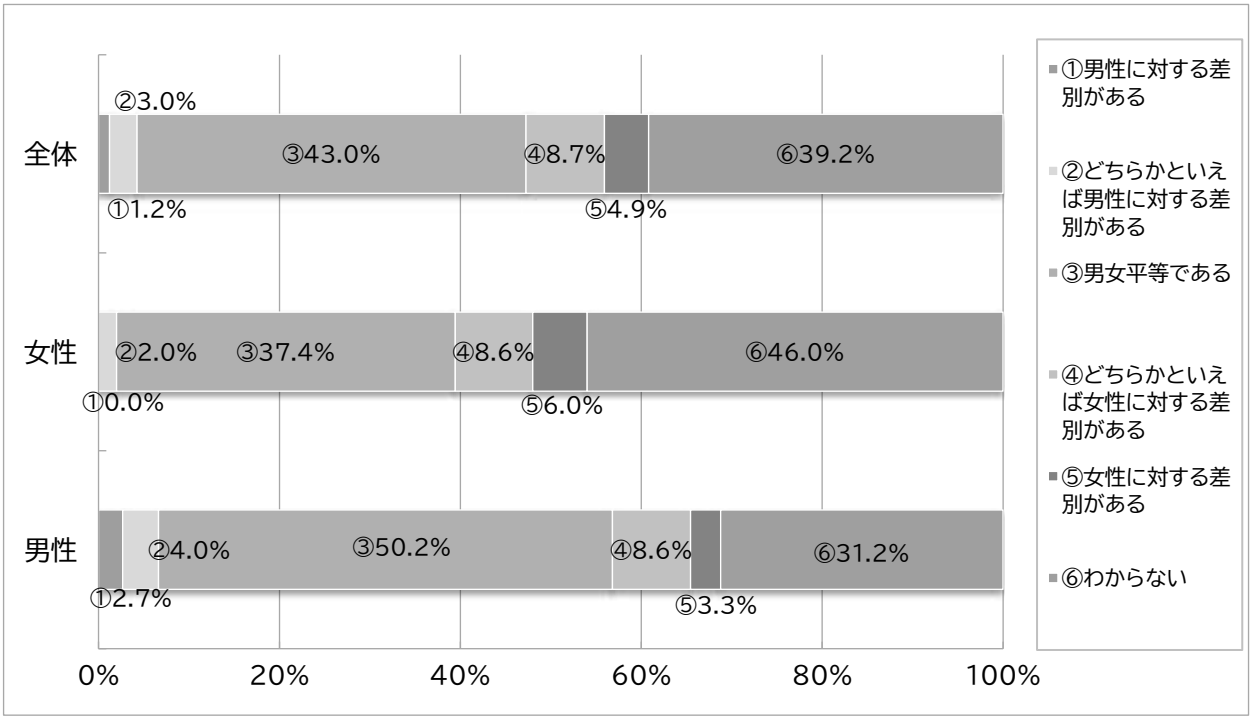
■令和5年度調査

問2(イ)　主に目黒区内における労働・雇用・職場の分野で、性別による差別(不利益)が無く、平等になっていると思いますか。(単一回答)



全体 N= 671　　女性 N= 370　　男性 N= 297　　それ以外 N= 4

問2(ウ) 主に目黒区内における学校教育の分野で、性別による差別(不利益)が無く、平等になっていると思いますか。(単一回答)

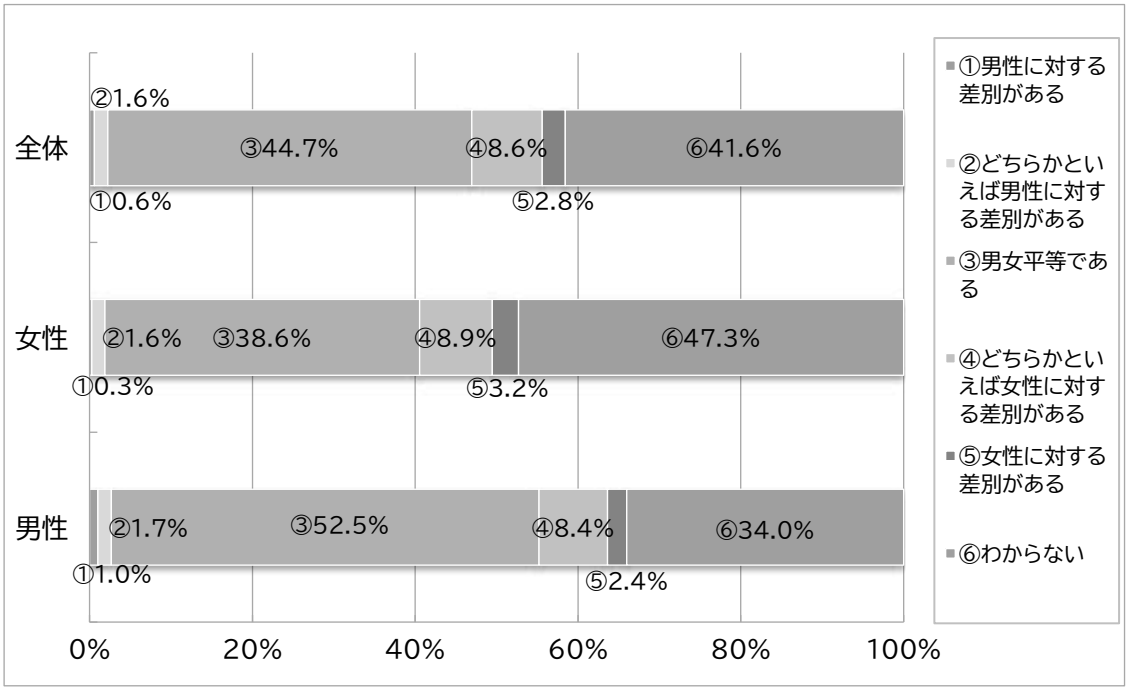


全体 N= 656　　女性 N= 350　　男性 N= 301　　それ以外 N= 5

学校教育の分野について、男性は半数以上が「男女平等である」と回答した一方、女性は4割弱であり、男女差がある。

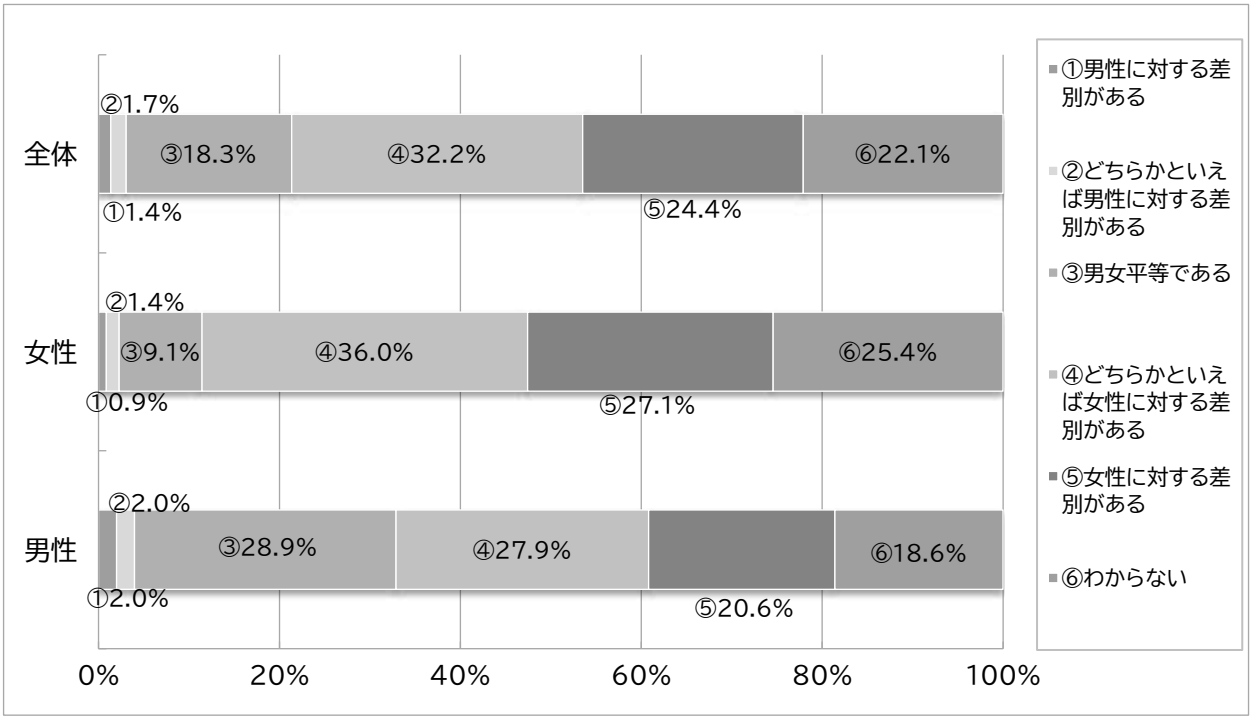
■令和5年度調査

問2(ウ) 主に目黒区内における学校教育の分野で、性別による差別(不利益)が無く、平等になっていると思いますか。(単一回答)



全体 N= 671　　女性 N= 370　　男性 N= 297　　それ以外 N= 4

問2(エ)　主に目黒区内における政治の分野で、性別による差別(不利益)が無く、平等になっていると思いますか。(単一回答)

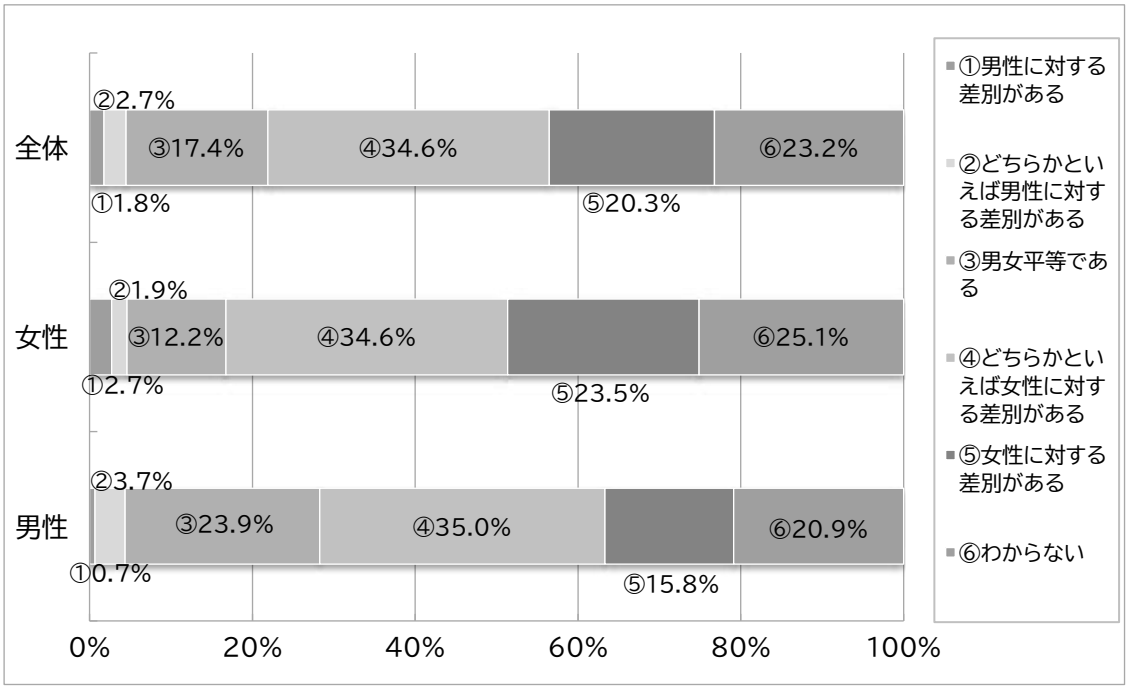


全体 N= 656　　女性 N= 350　　男性 N= 301　　それ以外 N= 5

政治の分野について「男女平等である」と回答した人は女性が9.1%、男性が28.9%であり、男女差が大きい。また、前回調査よりもその差が大きくなっている。

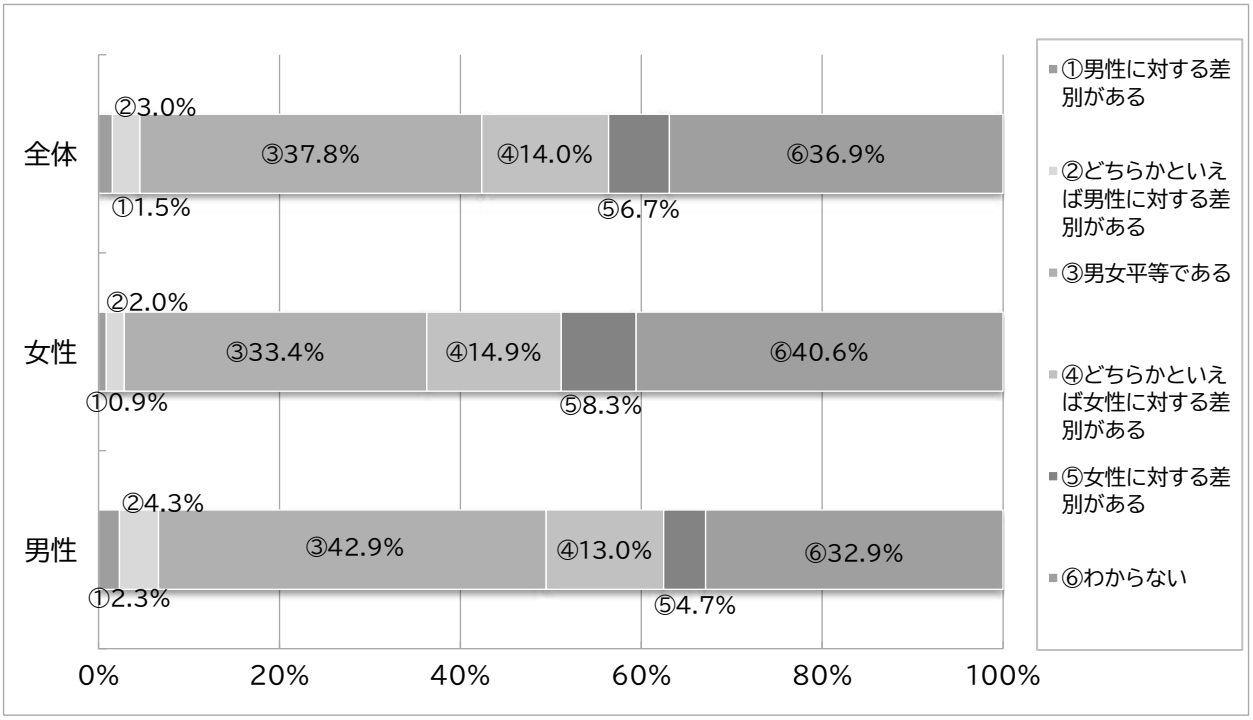
■令和5年度調査

問2(エ)　主に目黒区内における政治の分野で、性別による差別(不利益)が無く、平等になっていると思いますか。(単一回答)



全体 N= 671　　女性 N= 370　　男性 N= 297　　それ以外 N= 4

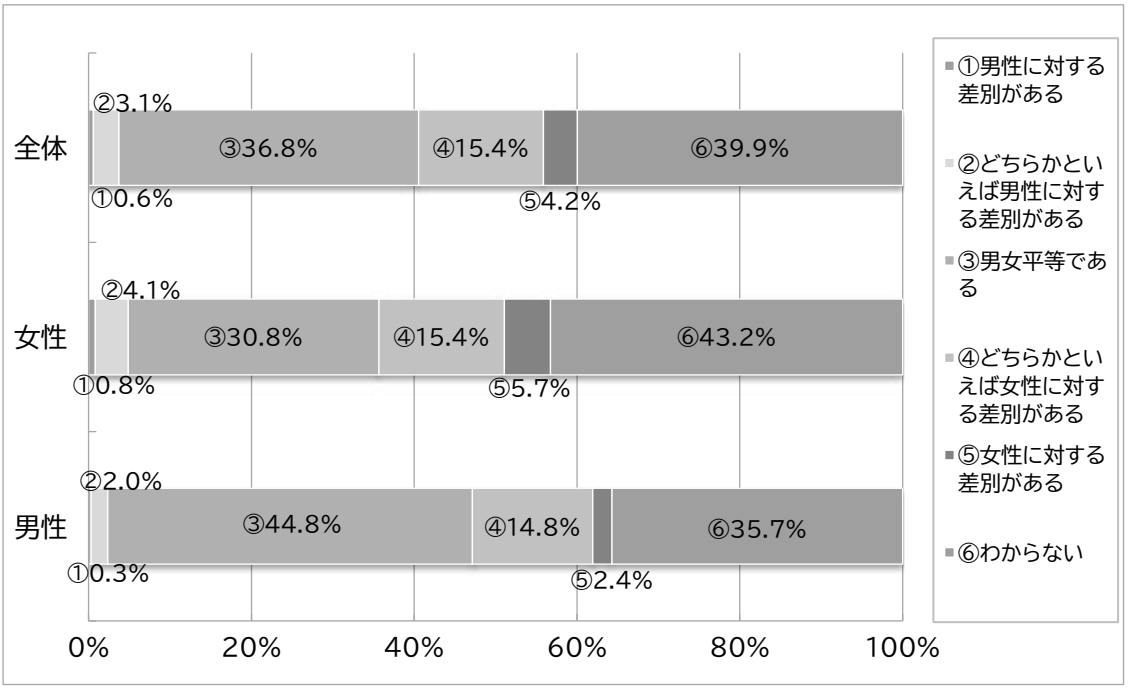
問2(オ)　主に目黒区内における地域の活動や行事の分野で、性別による差別(不利益)が無く、平等になっていると思いますか。(単一回答)



全体 N= 656　　女性 N= 350　　男性 N= 301　　それ以外 N= 5

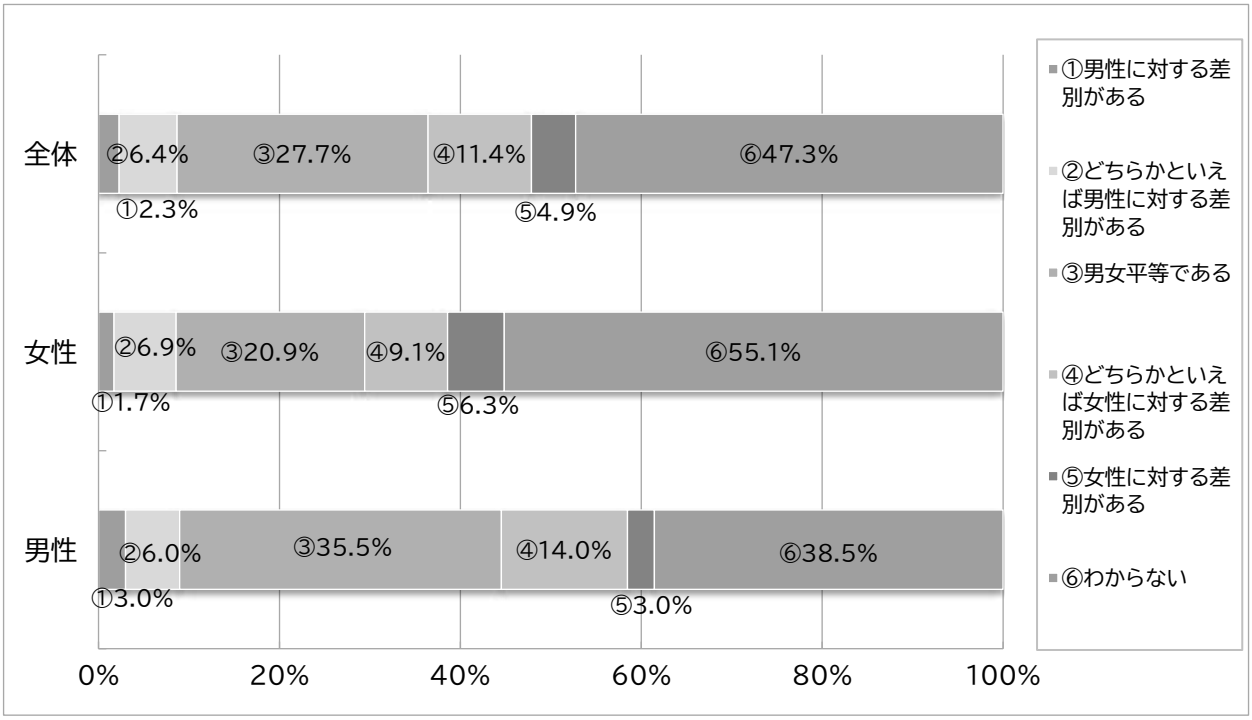
■令和5年度調査

問2(オ)　主に目黒区内における地域の活動や行事の分野で、性別による差別(不利益)が無く、平等になっていると思いますか。(単一回答)



全体 N= 671　　女性 N= 370　　男性 N= 297　　それ以外 N= 4

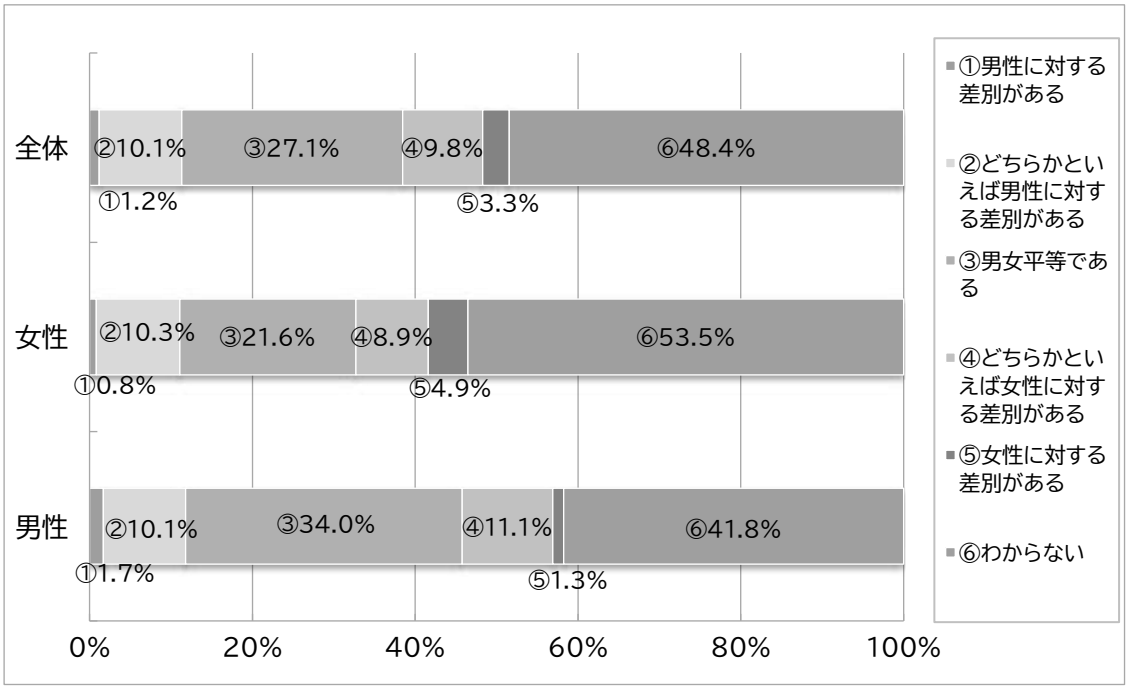
問2(カ) 主に目黒区内における防災活動の分野で、性別による差別(不利益)が無く、平等になっていると思いますか。(単一回答)



全体 N= 656　　女性 N= 350　　男性 N= 301　　それ以外 N= 5

■令和5年度調査

問2(カ) 主に目黒区内における防災活動の分野で、性別による差別(不利益)が無く、平等になっていると思いますか。(単一回答)



全体 N= 671　　女性 N= 370　　男性 N= 297　　それ以外 N= 4

[問2で一つでも「男性に対する差別がある」「女性に対する差別がある」と回答したかたのみ]

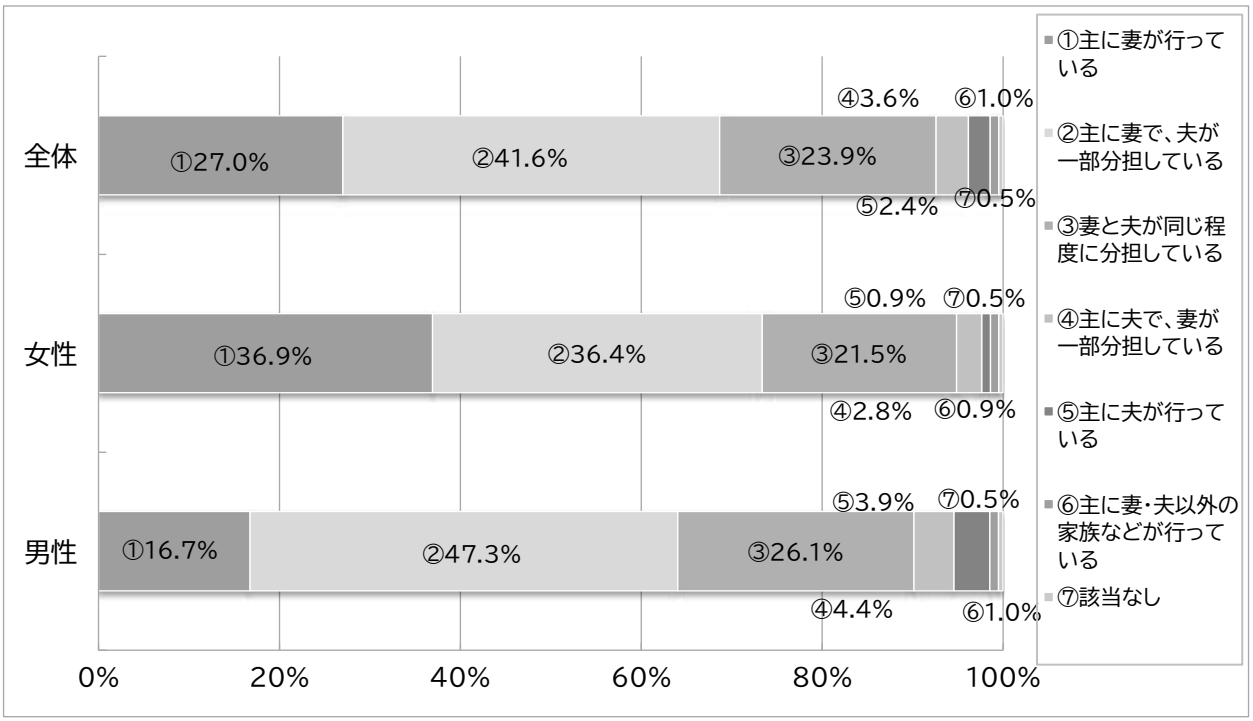
問2-1　その理由や具体的な事例について簡単に（箇条書き等で）記入してください。

＜主な意見＞

・共働きでも家事育児は女性に負担が偏っている。
・家事は男性と女性の得意な方がすればよいが、給料の格差があり経済的な理由で女性が家庭、男性が外で働くことを選択せざるを得ない。
・女性なのによくやったという評価をよく聞く。
・「稼ぐのが男の役割だ」という共通認識によって男性は進路を制限されることがある。
・出産や育児を機に「負担を減らす」という理由で昇進機会が妨げられることが常態化している。
・控えめな女子が好まれる、女子は理科系科目が苦手だ、リーダーシップを発揮するのは男子という先入観を植え付けるような場面が多い。
・PTAが専業主婦を前提とした日程になっており、男女問わず有職者が参加しにくい。
・議員の女性候補者が少ないのは家庭での男性の協力がないからだと思う。
・女性が政界に進みづらい雰囲気ができており、それは人々が持つわずかな意識の積み重なりから来るものではないかと考える。
・地域の役員等を男性中心に選ぶのが慣習になっている。
・地域活動において女性はサポート役であることが多い。
・防災のことはなんとなく体力もありそうなので男性に率先してほしいと思ってしまう。
・避難所などで女性用の生理用品の備蓄などが不足している。

[配偶者(事実婚の異性パートナーを含む。)がいるかたのみ]

問3(ア) あなたの家庭では、炊事・洗濯・掃除などの家事の分担はどうしていますか。(単一回答)

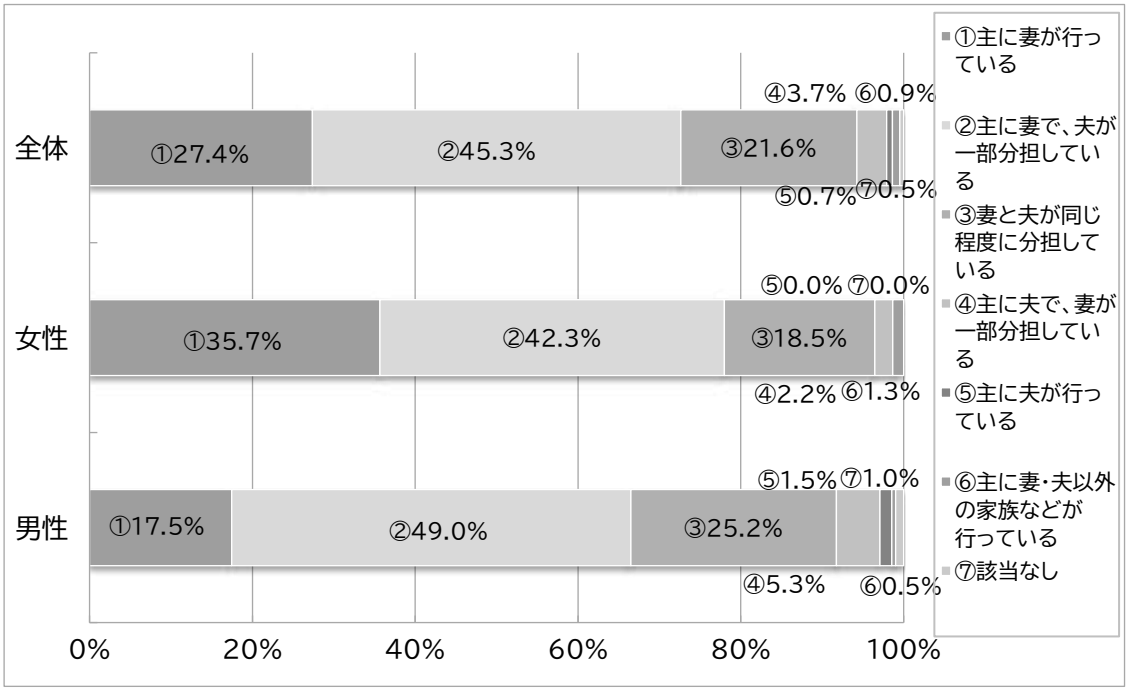


全体 N= 418	女性 N= 214	男性 N= 203	それ以外 N= 1

家事の分担について、「主に妻が行っている」と回答した人は女性が36.9%、男性が16.7%であり、夫の分担に関する認識に男女差がある。

■令和5年度調査

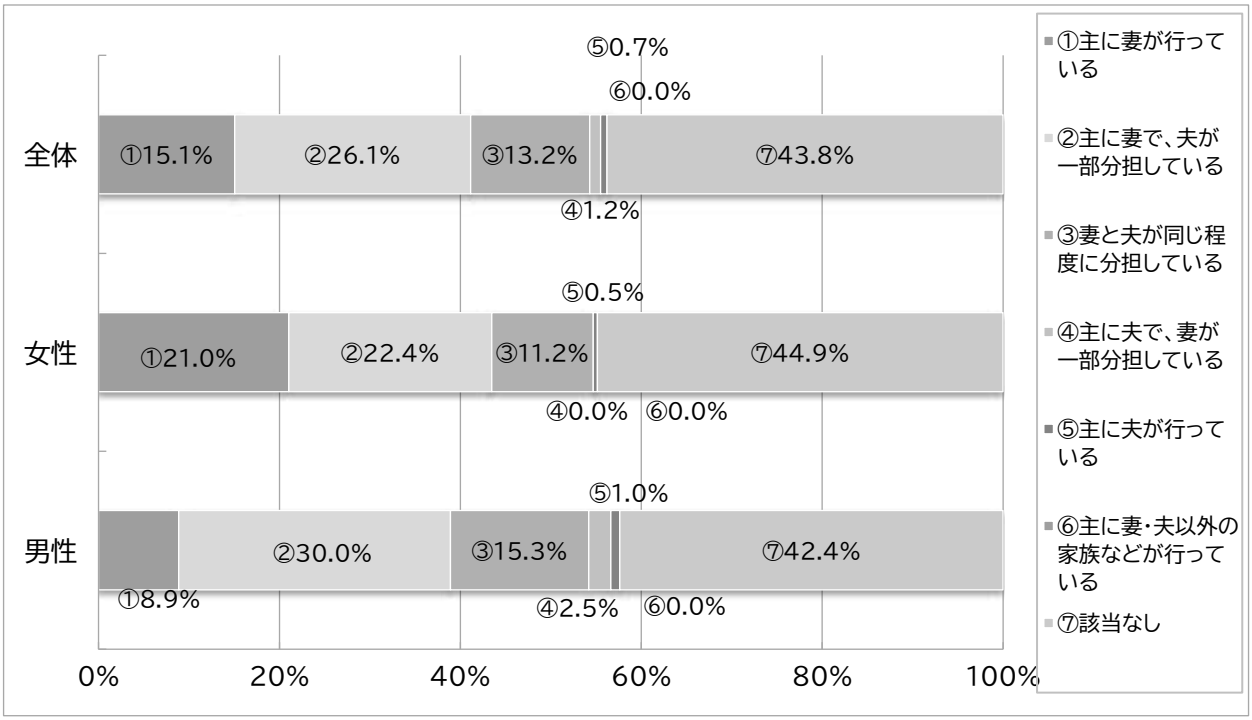
問3(ア) あなたの家庭では、炊事・洗濯・掃除などの家事の分担はどうしていますか。(単一回答)



全体 N= 435	女性 N= 227	男性 N= 206	それ以外 N= 2

[配偶者(事実婚の異性パートナーを含む。)がいるかたのみ]

問3(イ)　あなたの家庭では、育児の分担はどうしていますか。(単一回答)

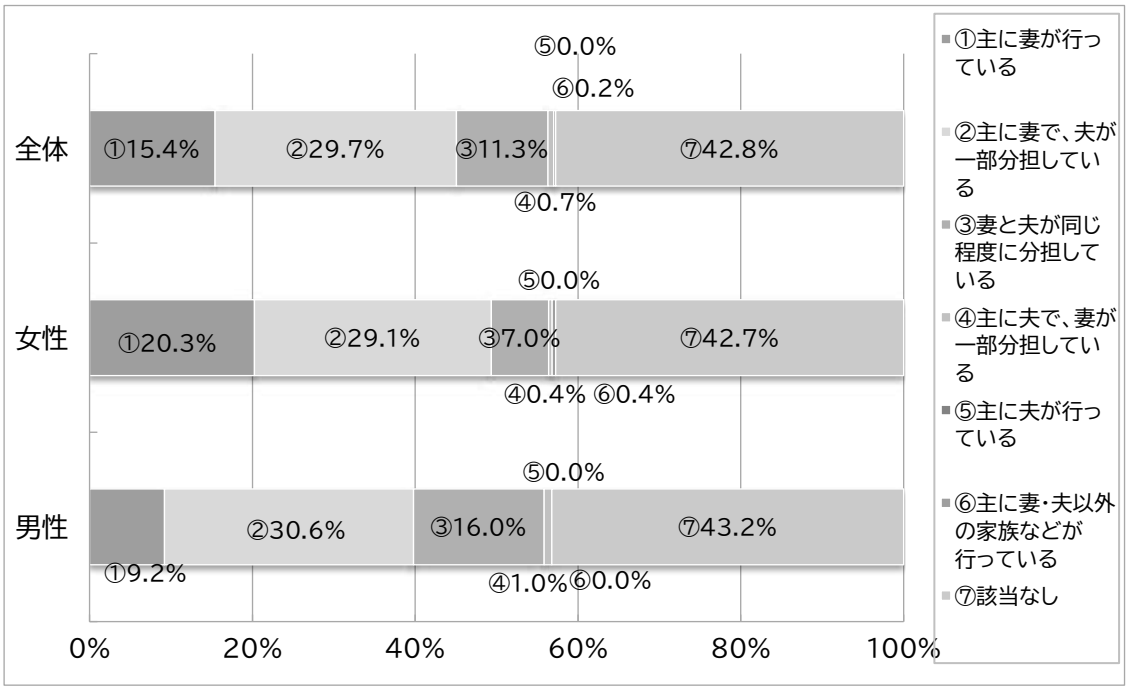


全体 N= 418	女性 N= 214	男性 N= 203	それ以外 N= 1

育児の分担について、「主に妻が行っている」と回答した人は女性が21.0%、男性が8.9%であり、夫の分担に関する認識に男女差がある。

■令和5年度調査

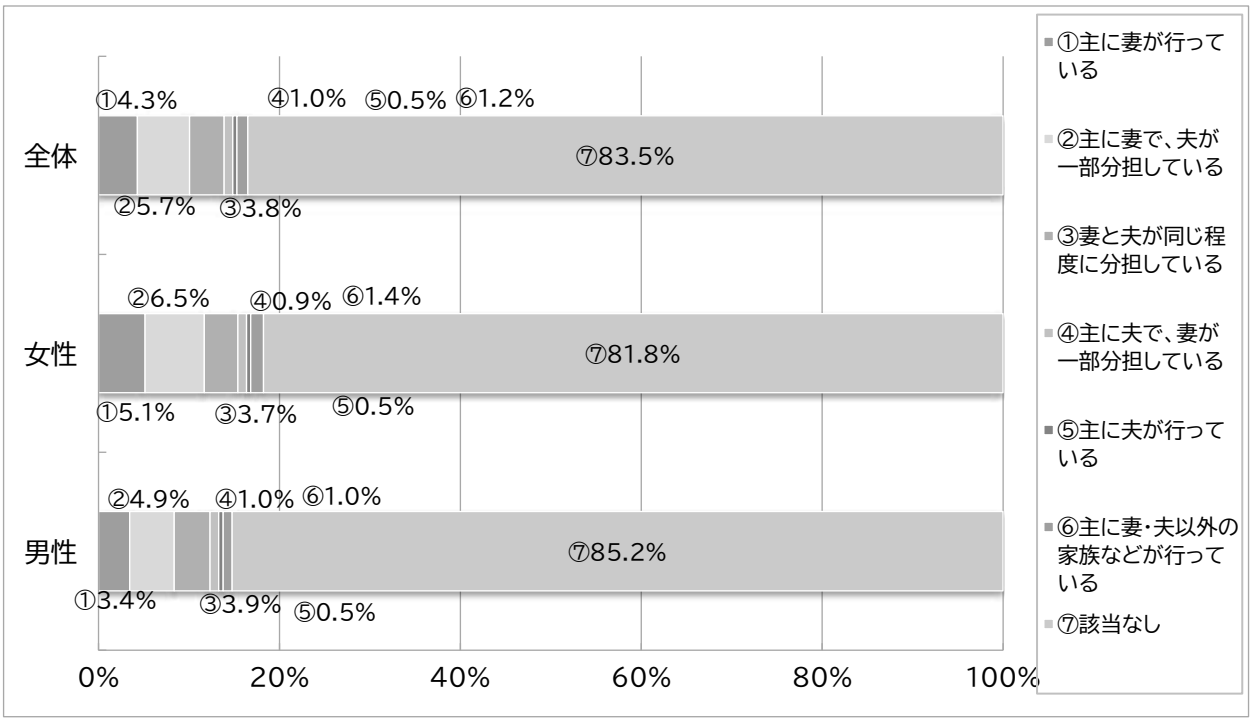
[配偶者(事実婚の異性パートナーを含む。)がいるかたのみ]
問3(イ)　あなたの家庭では、育児の分担はどうしていますか。(単一回答)



全体 N= 435	女性 N= 227	男性 N= 206	それ以外 N= 2

[配偶者(事実婚の異性パートナーを含む。)がいるかたのみ]

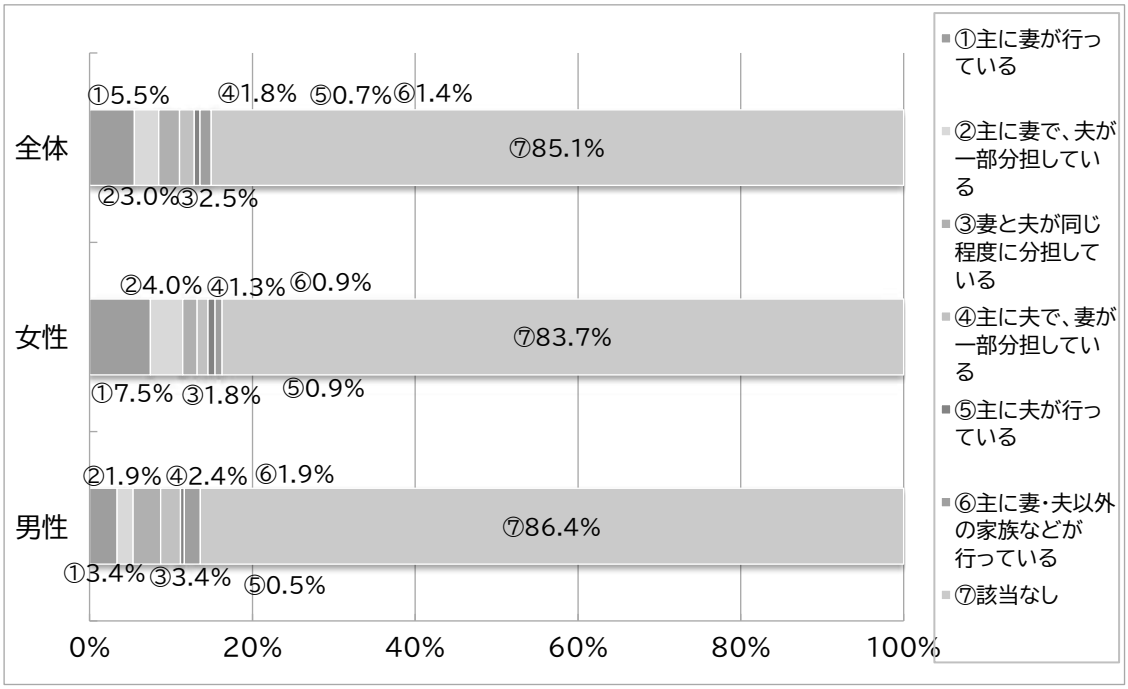
問3(ウ) あなたの家庭では、介護の分担はどうしていますか。(単一回答)



全体 N= 418　　女性 N= 214　　男性 N= 203　　それ以外 N= 1

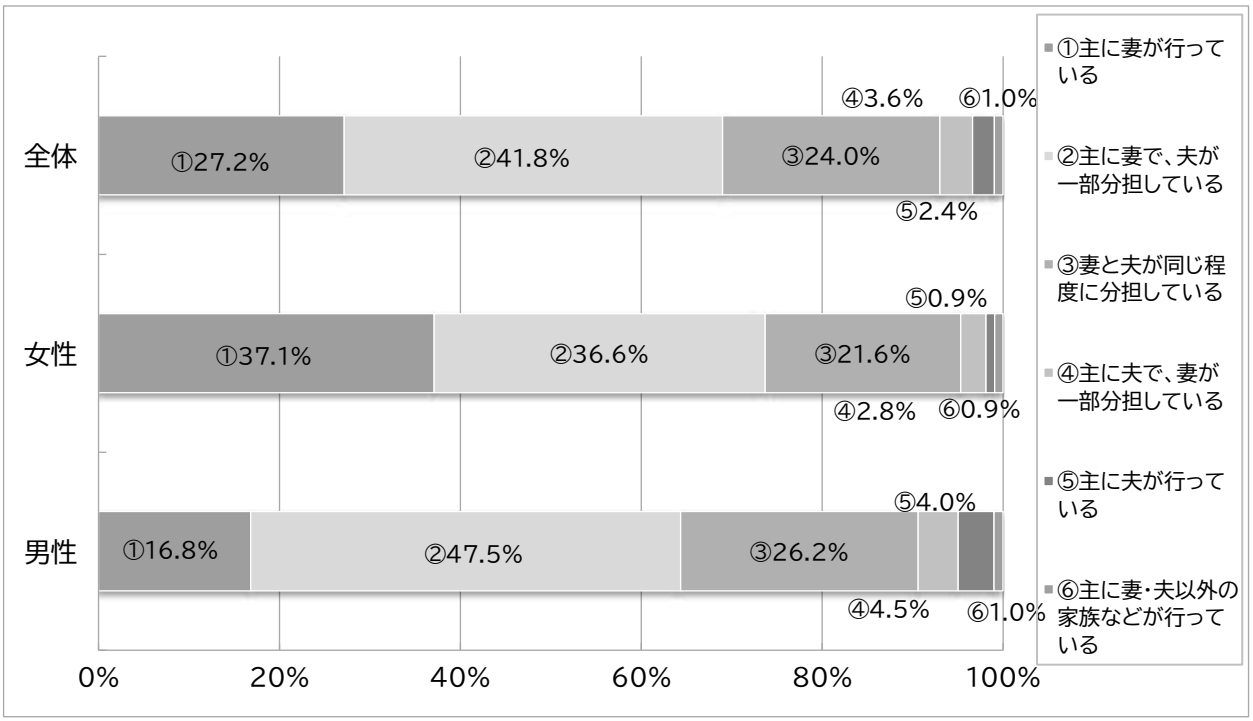
■令和5年度調査

[配偶者(事実婚の異性パートナーを含む。)がいるかたのみ]
問3(ウ) あなたの家庭では、介護の分担はどうしていますか。(単一回答)



全体 N= 435　　女性 N= 227　　男性 N= 206　　それ以外 N= 2

[配偶者(事実婚の異性パートナーを含む。)がいるかたのみ]【該当なしを除く】
問3(ア) あなたの家庭では、炊事・洗濯・掃除などの家事の分担はどうしていますか。(単一回答)

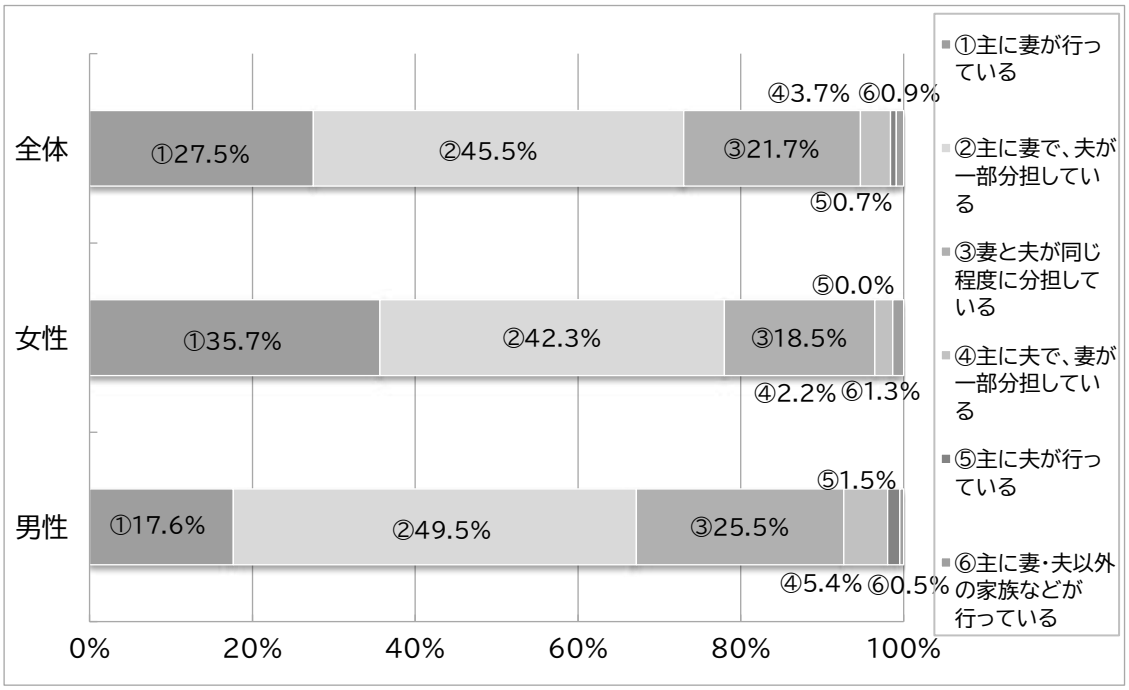


全体 N= 416　　女性 N= 213　　男性 N= 202　　それ以外 N= 1

家事の分担について、「主に妻が行っている」と回答した人は女性が37.1%、男性が16.8%であり、夫の分担に関する認識に男女差がある。

■令和5年度調査

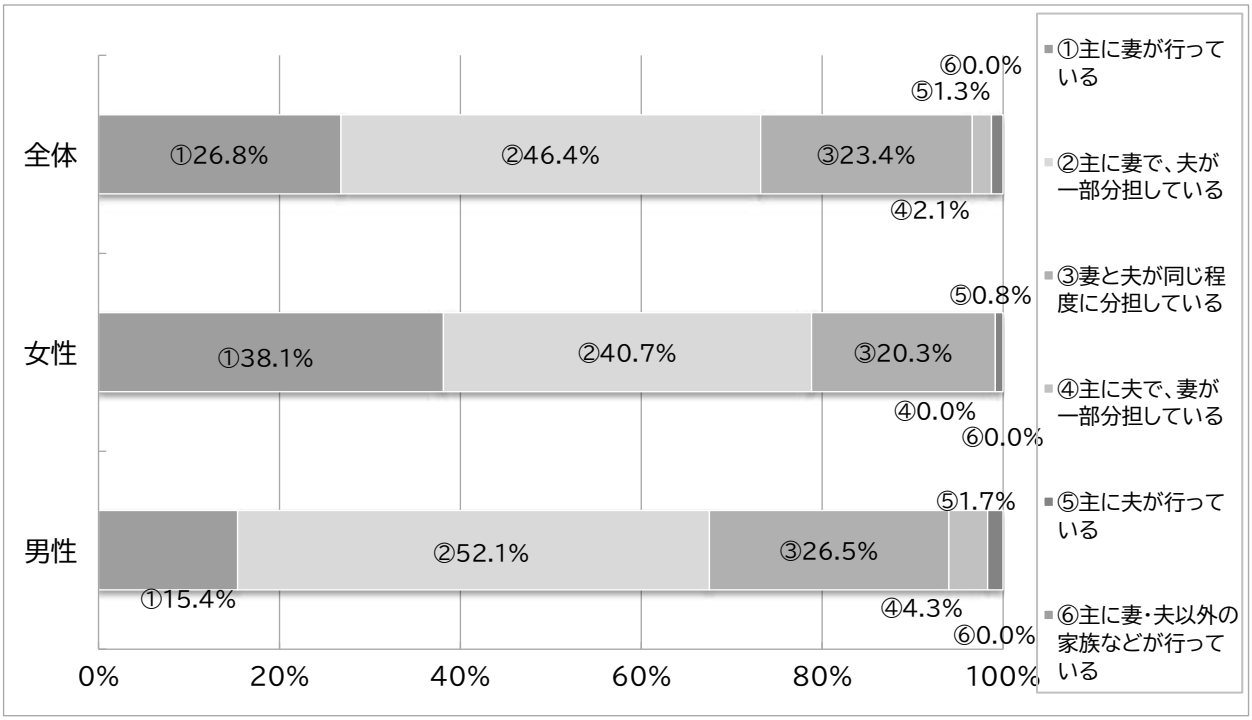
[配偶者(事実婚の異性パートナーを含む。)がいるかたのみ]【該当なしを除く】
問3(ア) あなたの家庭では、炊事・洗濯・掃除などの家事の分担はどうしていますか。(単一回答)



全体 N= 433　　女性 N= 227　　男性 N= 204　　それ以外 N= 2

[配偶者(事実婚の異性パートナーを含む。)がいるかたのみ]【該当なしを除く】

問3(イ)　あなたの家庭では、育児の分担はどうしていますか。(単一回答)

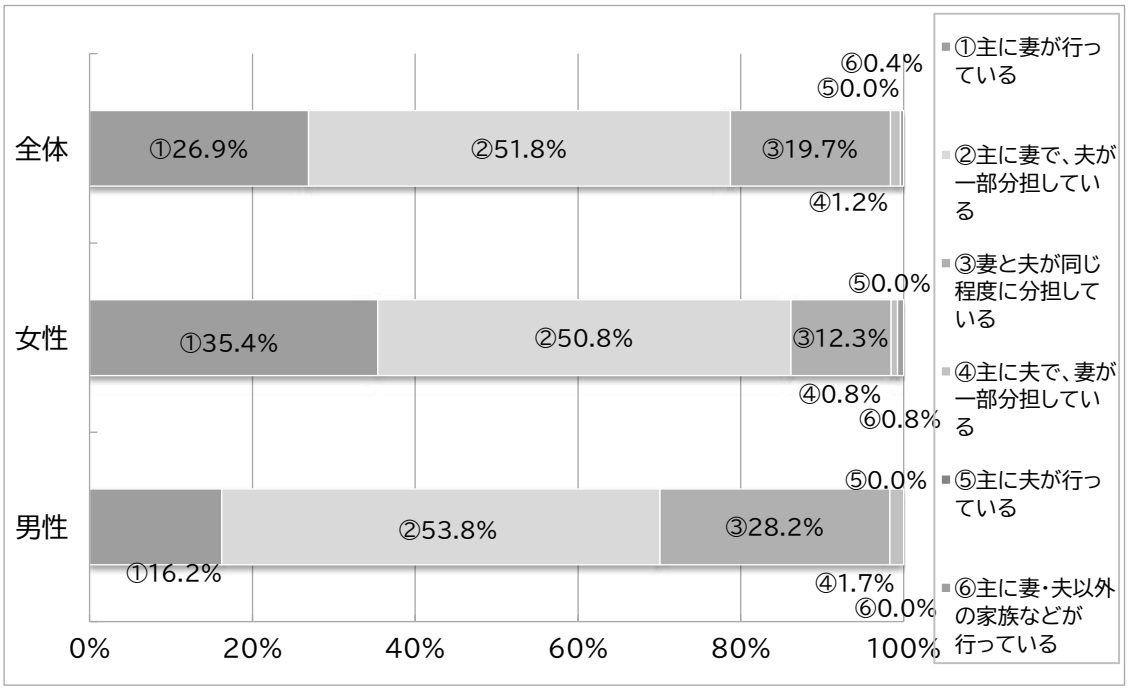


全体 N= 235	女性 N= 118	男性 N= 117	それ以外 N= 0

育児の分担について、「主に妻が行っている」と回答した人は女性が38.1%、男性が15.4%であり、夫の分担に関する認識に男女差がある。

■令和5年度調査

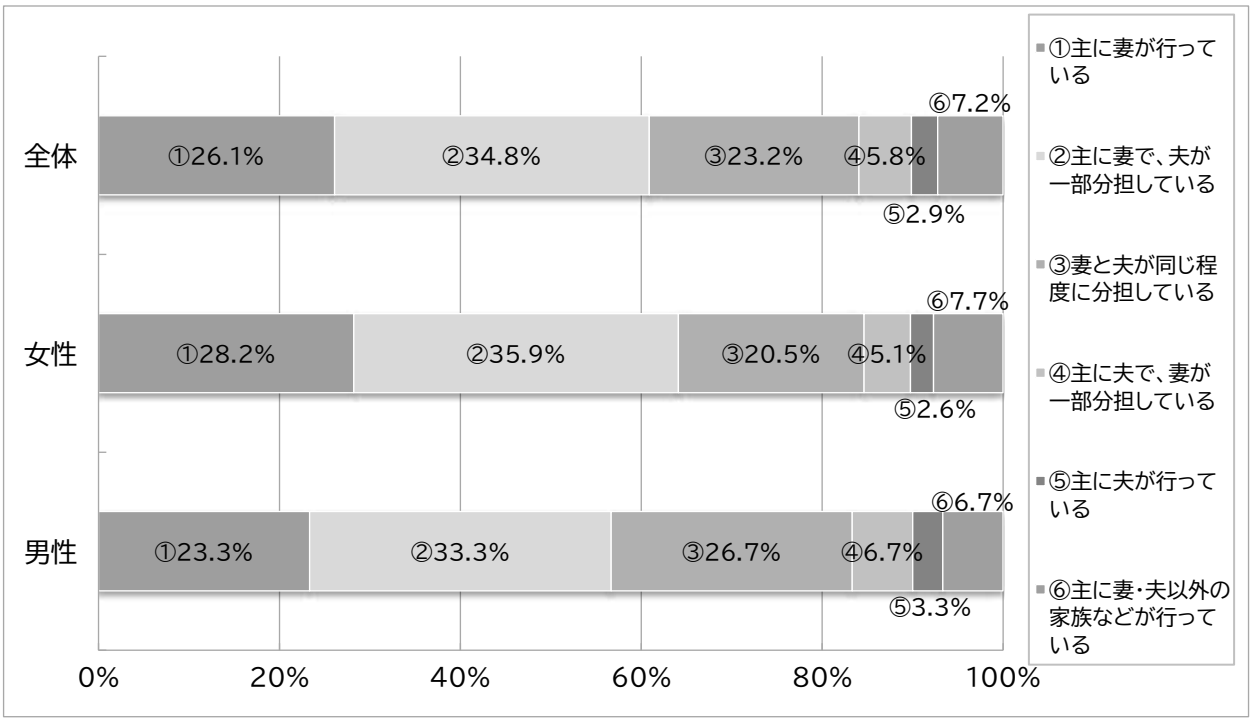
[配偶者(事実婚の異性パートナーを含む。)がいるかたのみ]【該当なしを除く】
問3(イ)　あなたの家庭では、育児の分担はどうしていますか。(単一回答)



全体 N= 249	女性 N= 130	男性 N= 117	それ以外 N= 2

[配偶者(事実婚の異性パートナーを含む。)がいるかたのみ]【該当なしを除く】

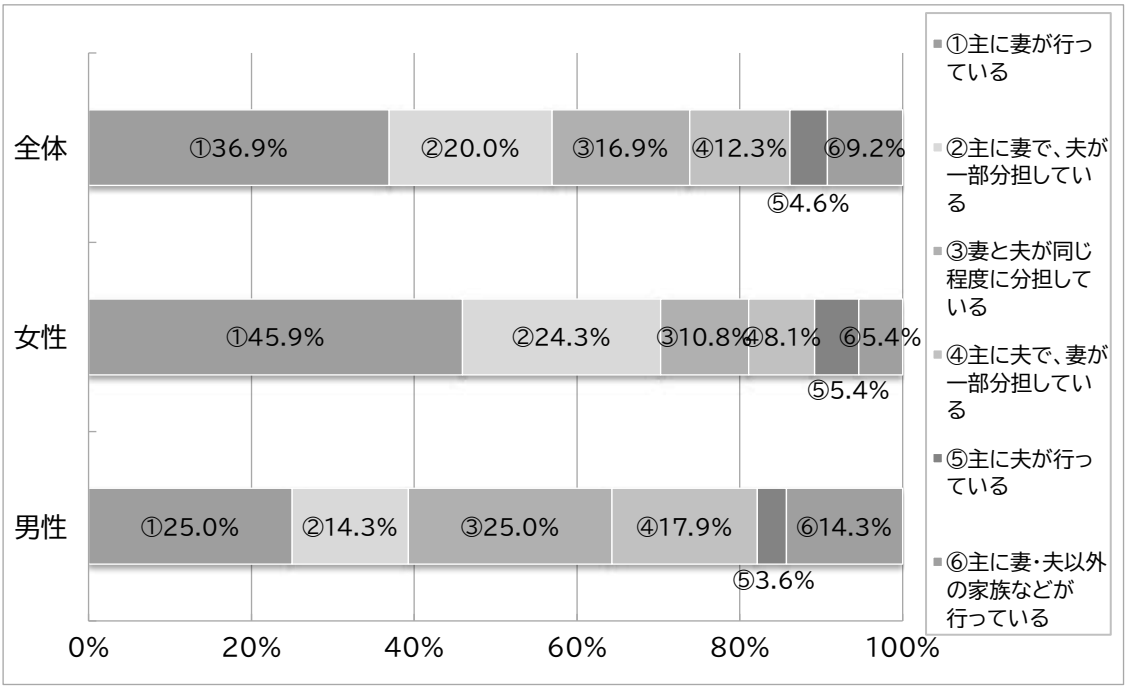
問3(ウ) あなたの家庭では、介護の分担はどうしていますか。(単一回答)



全体 N= 69　　女性 N= 39　　男性 N= 30　　それ以外 N= 0

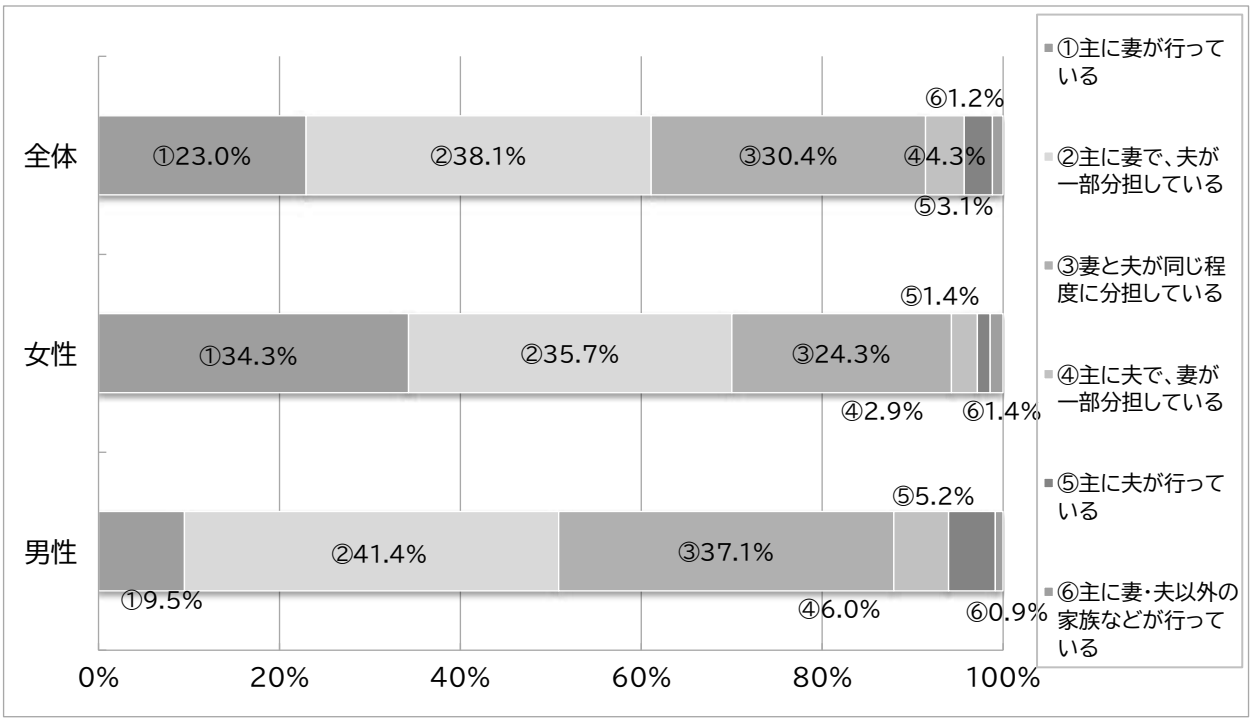
■令和5年度調査

[配偶者(事実婚の異性パートナーを含む。)がいるかたのみ]【該当なしを除く】
問3(ウ) あなたの家庭では、介護の分担はどうしていますか。(単一回答)



全体 N= 65　　女性 N= 37　　男性 N= 28　　それ以外 N= 0

[配偶者(事実婚の異性パートナーを含む。)がいるかたのみ【該当なしを除く】【共働き世帯】]
問3(ア) あなたの家庭では、炊事・洗濯・掃除などの家事の分担はどうしていますか。(単一回答)

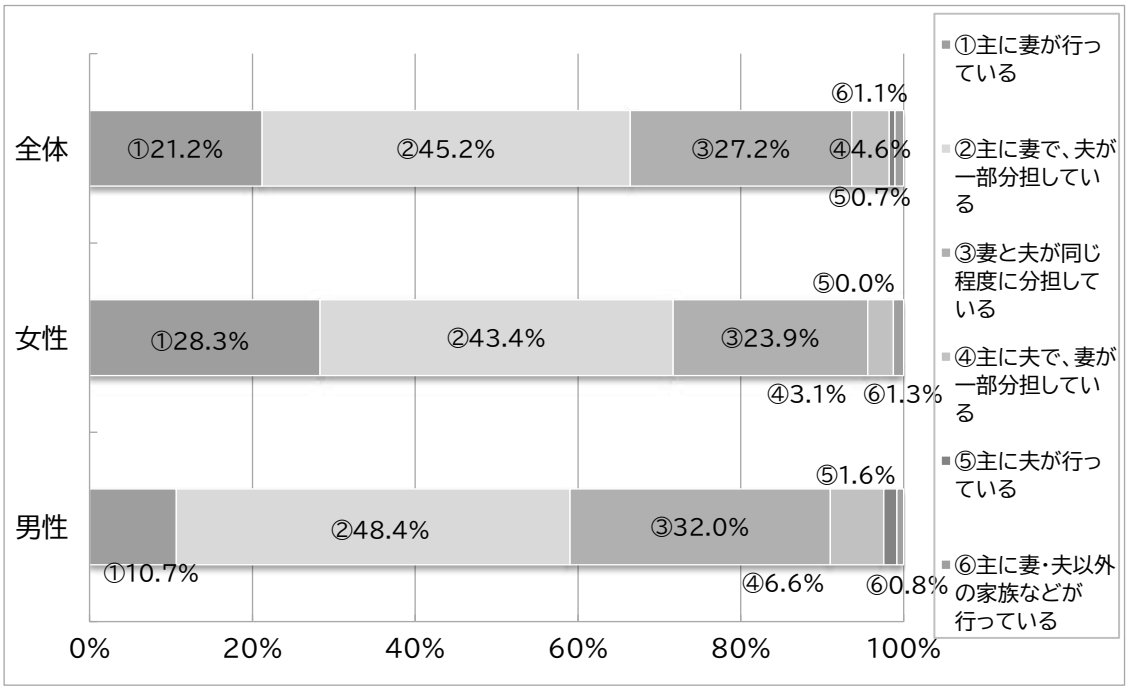


全体 N= 257	女性 N= 140	男性 N= 116	それ以外 N= 1

家事の分担について、「主に妻が行っている」と回答した人は女性が34.3%、男性が9.5%であり、夫の分担に関する認識に男女差がある。

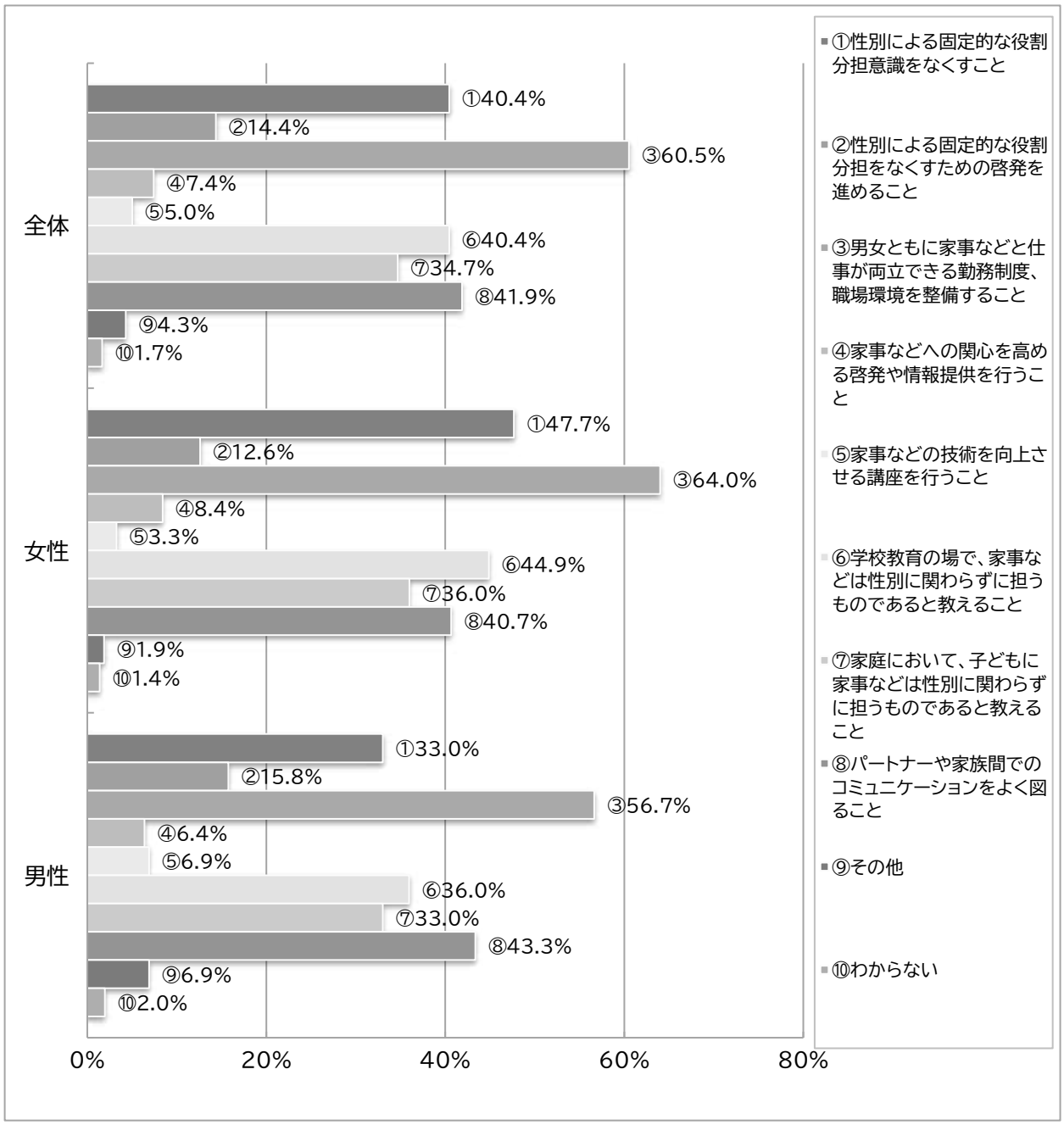
■令和5年度調査

[配偶者(事実婚の異性パートナーを含む。)がいるかたのみ【該当なしを除く】【共働き世帯】]
問3(ア) あなたの家庭では、炊事・洗濯・掃除などの家事の分担はどうしていますか。(単一回答)



全体 N= 283	女性 N= 159	男性 N= 122	それ以外 N= 2

問4　家事・育児・介護（以下、「家事など」といいます。）の分担が一方の性別のパートナーに偏らないようにするためには、特にどんなことが必要だと思いますか。（回答は3つまで）

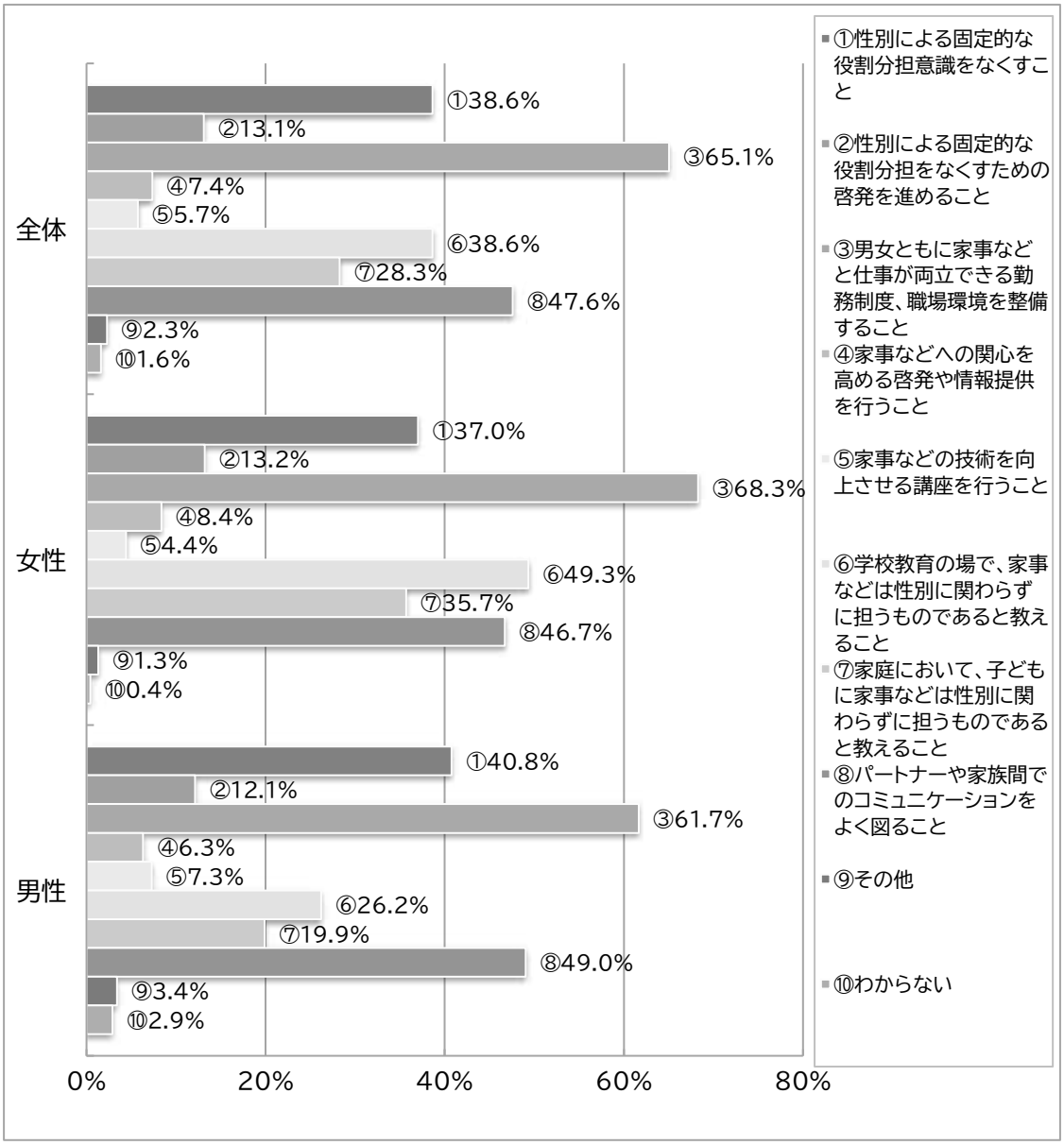


全体 N= 418　　女性 N= 214　　男性 N= 203　　それ以外 N= 1

家事などの分担が一方の性別のパートナーに偏らないようにするために必要なこととして、「男女ともに家事などと仕事が両立できる勤務制度、職場環境を整備すること」（60.5%）という回答が全体で最も多い。次いで「パートナーや家族間でのコミュニケーションをよく図ること」（41.9%）と回答した人が多かった。

■令和5年度調査

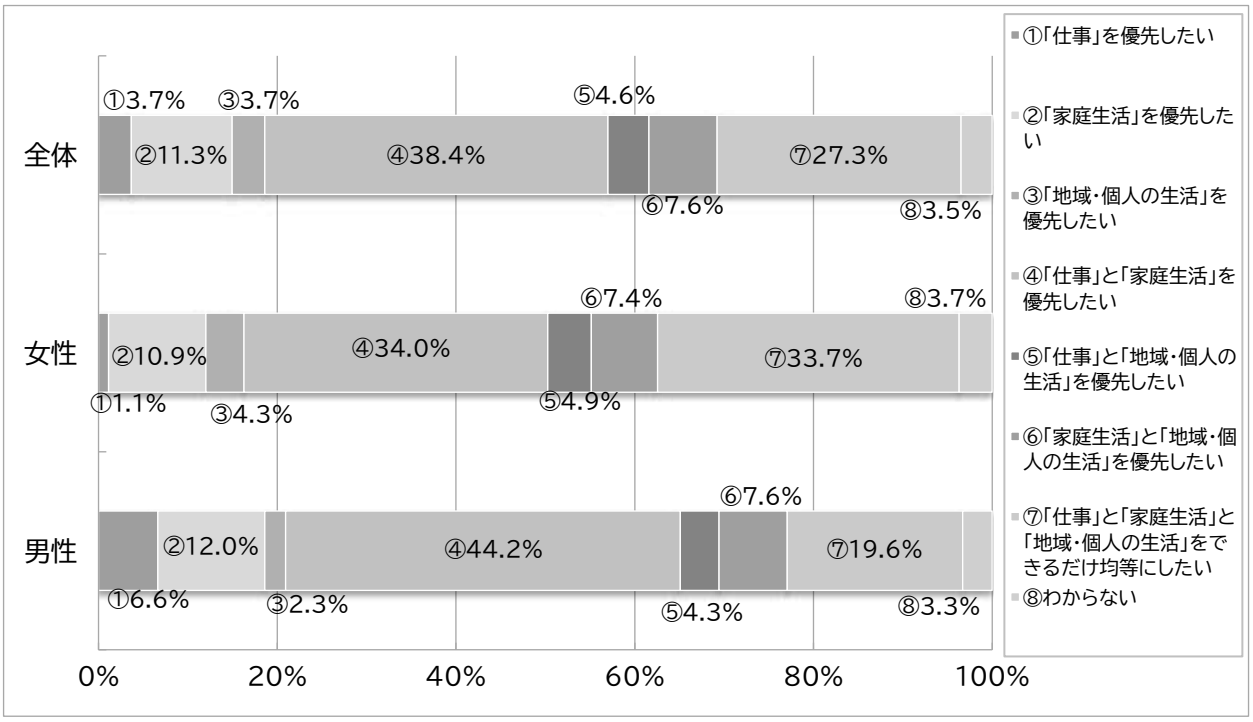
問4　家事・育児・介護（以下、「家事など」といいます。）の分担が一方の性別のパートナーに偏らないようにするためには、特にどんなことが必要だと思いますか。（回答は3つまで）



全体 N= 435	女性 N= 227	男性 N= 206	それ以外 N= 2

【Ⅱ　ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）】

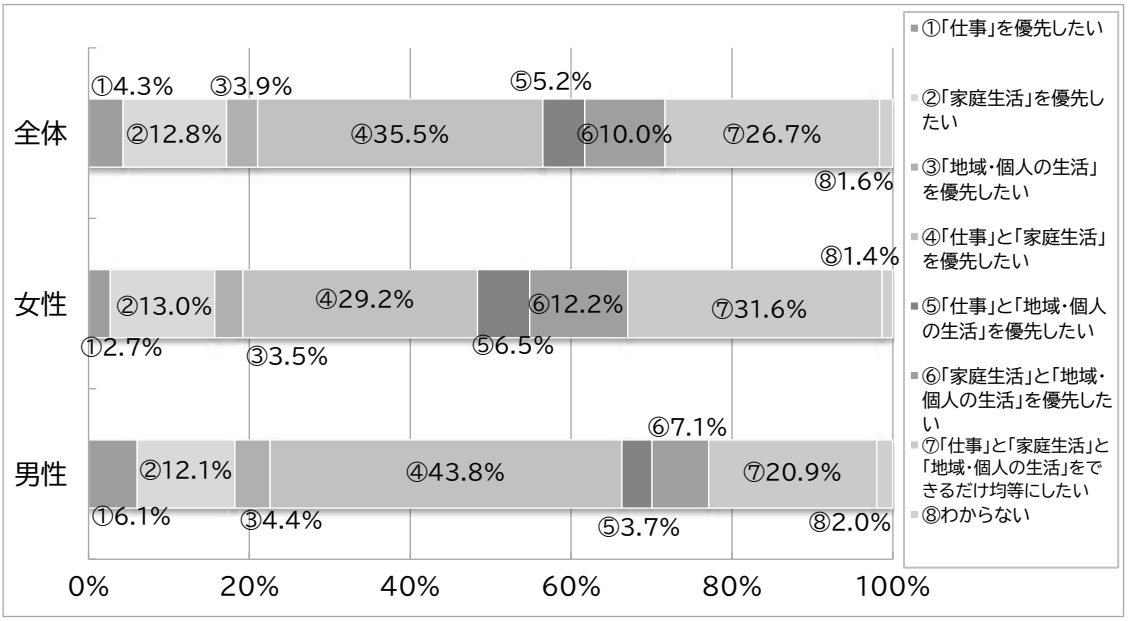
問5　人生における「仕事」、「家庭生活」、「地域・個人の生活」（地域活動への参加、自己啓発など）のバランスについて、あなたの希望に最も近いものを選んでください。（単一回答）



全体 N= 656　　女性 N= 350　　男性 N= 301　　それ以外 N= 5

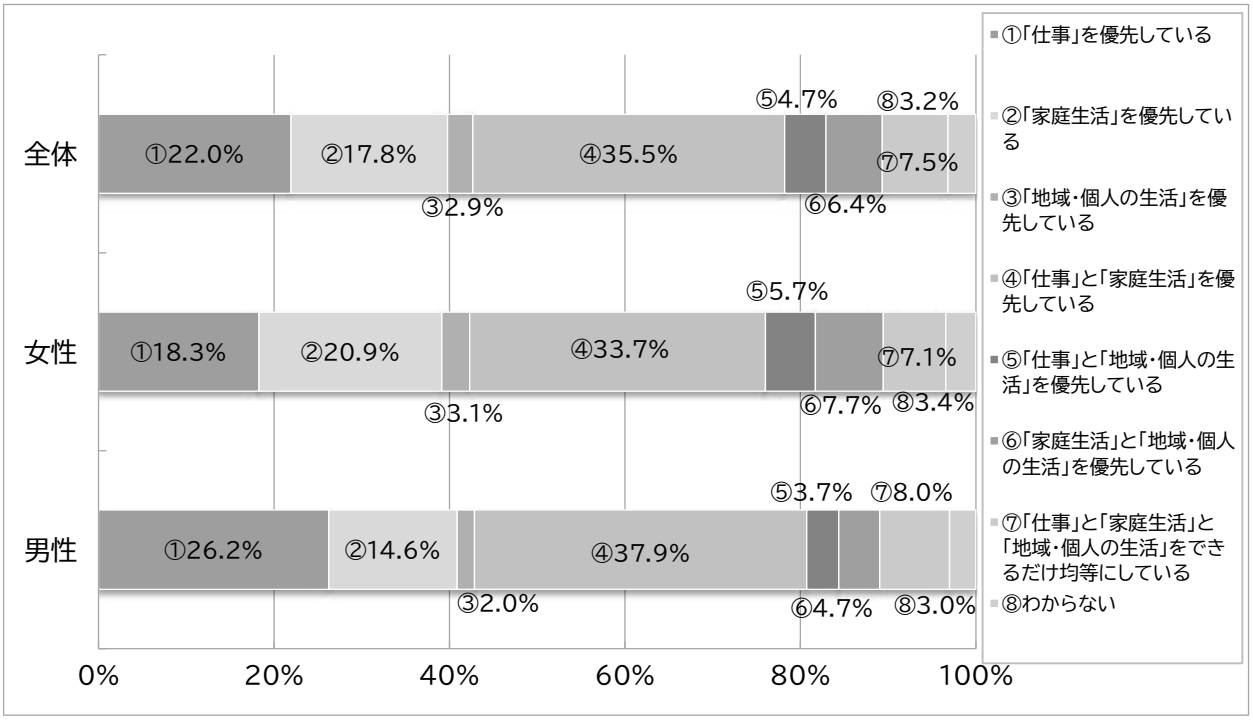
■令和5年度調査

問5　人生における「仕事」、「家庭生活」、「地域・個人の生活」（地域活動への参加、自己啓発など）のバランスについて、あなたの希望に最も近いものを選んでください。（単一回答）



全体 N= 671　　女性 N= 370　　男性 N= 297　　それ以外 N= 4

問6　人生における「仕事」、「家庭生活」、「地域・個人の生活」（地域活動への参加、自己啓発など）のバランスについて、あなたの実際の状況に最も近いものを選んでください。（単一回答）

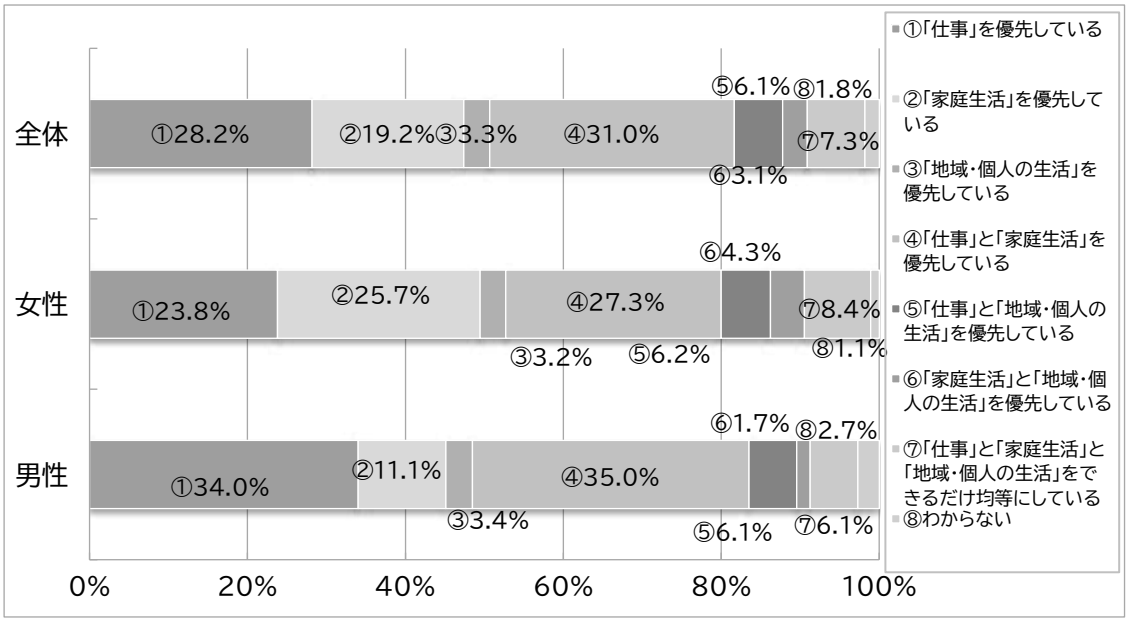


全体 N= 656　　女性 N= 350　　男性 N= 301　　それ以外 N= 5

ワーク・ライフ・バランスの実際の状況について、全体で「仕事」を優先していると回答した人の割合が低下した一方、「仕事」と「家庭生活」を優先していると回答した人の割合が上昇した。

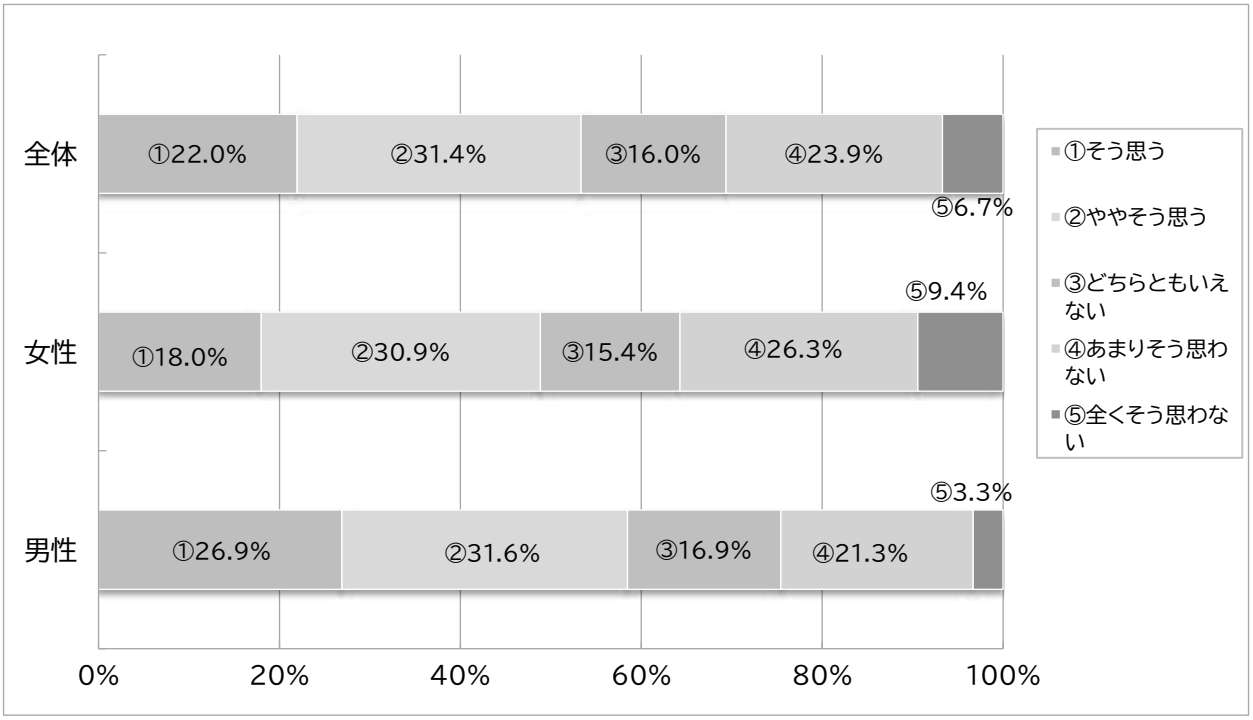
■令和5年度調査

問6　人生における「仕事」、「家庭生活」、「地域・個人の生活」（地域活動への参加、自己啓発など）のバランスについて、あなたの実際の状況に最も近いものを選んでください。（単一回答）



全体 N= 671　　女性 N= 370　　男性 N= 297　　それ以外 N= 4

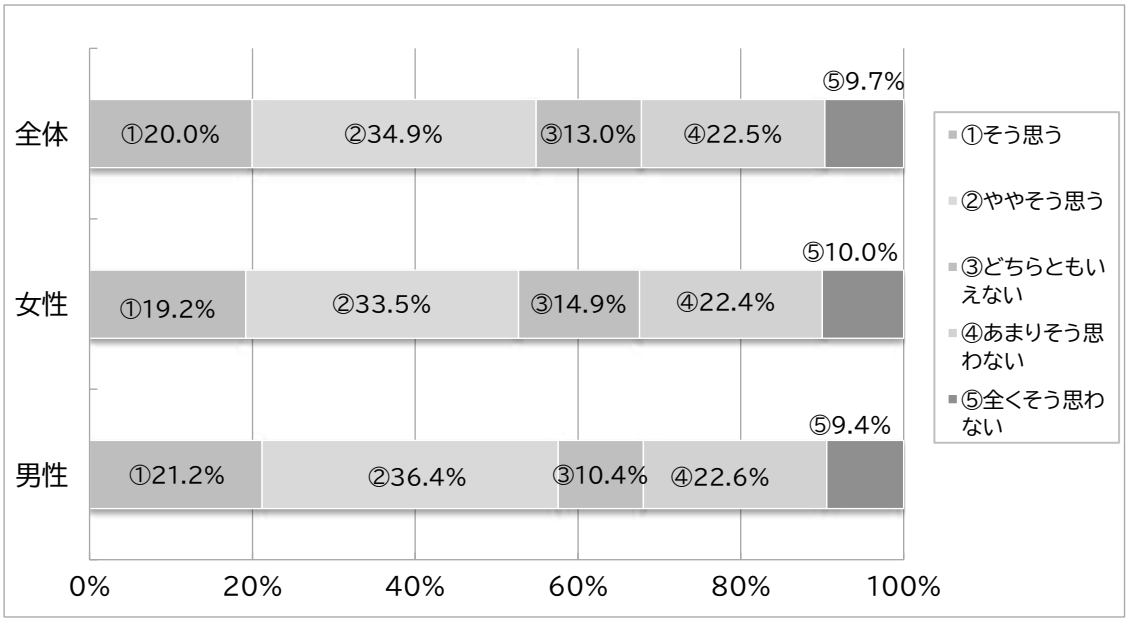
問7　あなたは、ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）がとれていると思いますか。（単一回答）



全体 N= 656　　女性 N= 350　　男性 N= 301　　それ以外 N= 5

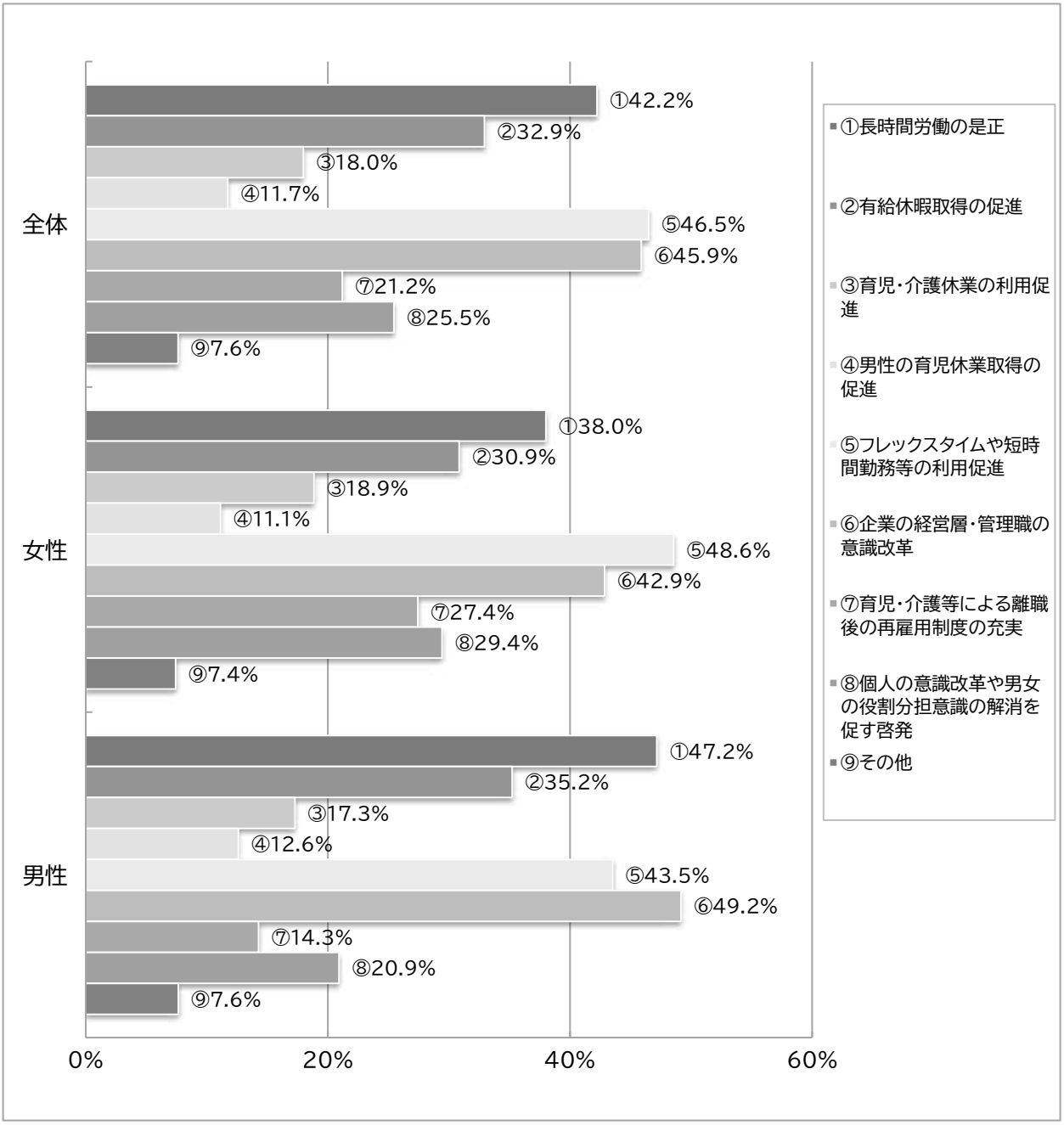
■令和5年度調査

問7　あなたは、ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）がとれていると思いますか。（単一回答）



全体 N= 671　　女性 N= 370　　男性 N= 297　　それ以外 N= 4

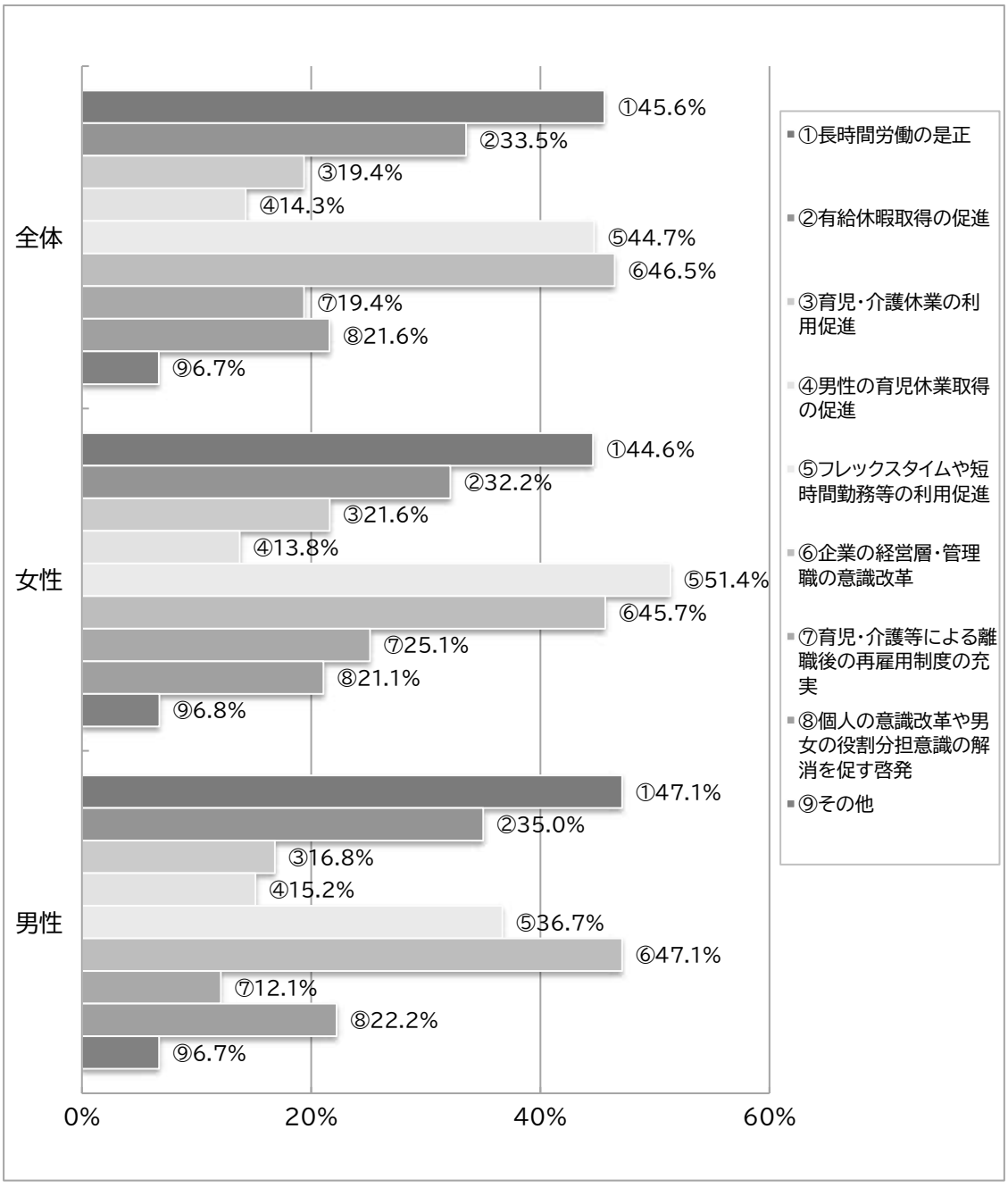
問8　ワーク・ライフ・バランスを実現するためには、働く場において特にどのような取組が必要だと思いますか。（回答は3つまで）



全体 N= 656　　女性 N= 350　　男性 N= 301　　それ以外 N= 5

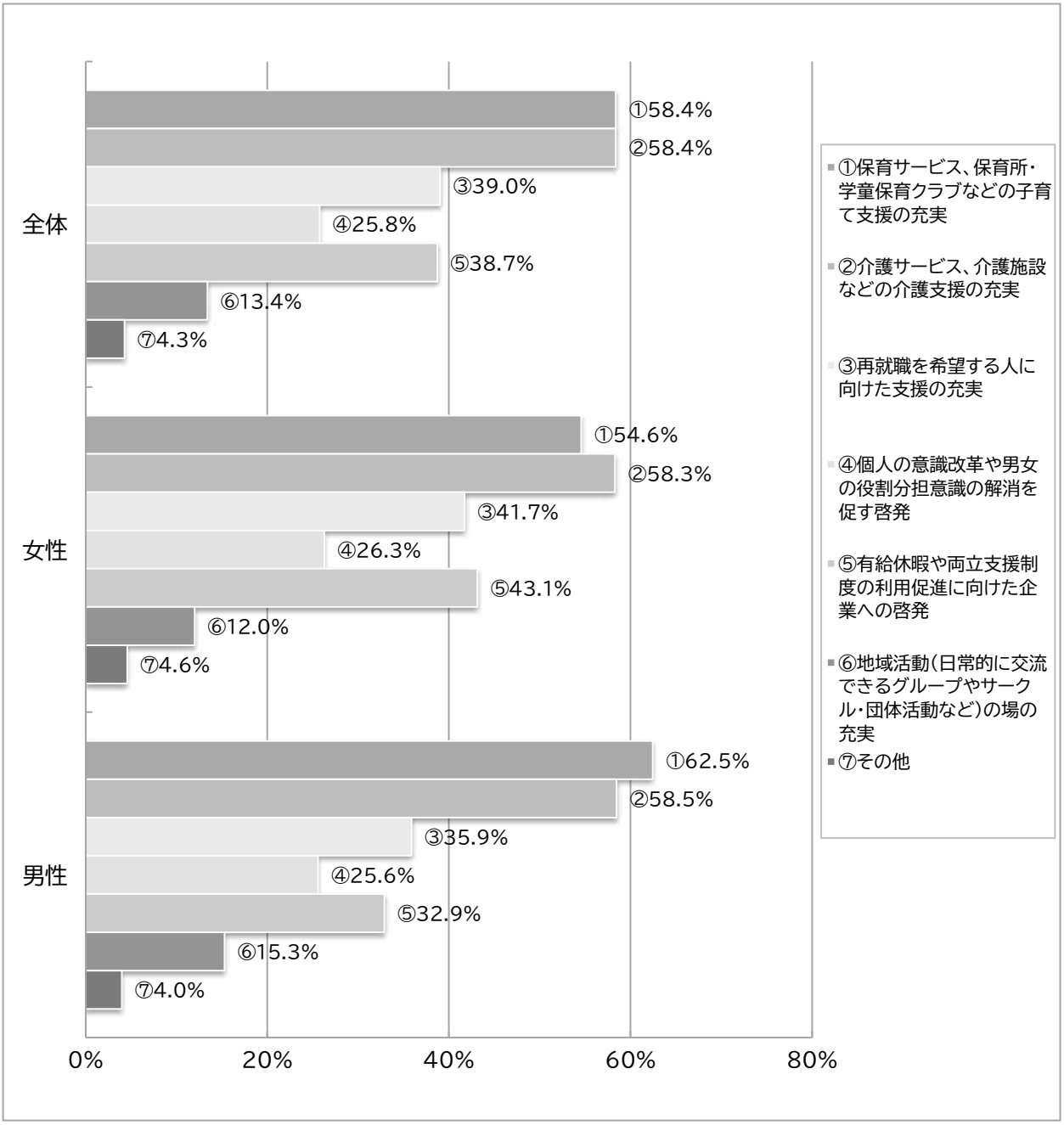
■令和5年度調査

問8　ワーク・ライフ・バランスを実現するためには、働く場において特にどのような取組が必要だと思いますか。（回答は3つまで）



全体 N= 671	女性 N= 370	男性 N= 297	それ以外 N= 4

問9　ワーク・ライフ・バランスを実現するためには、行政・地域社会において特にどのような取組が必要だと思いますか。（回答は3つまで）

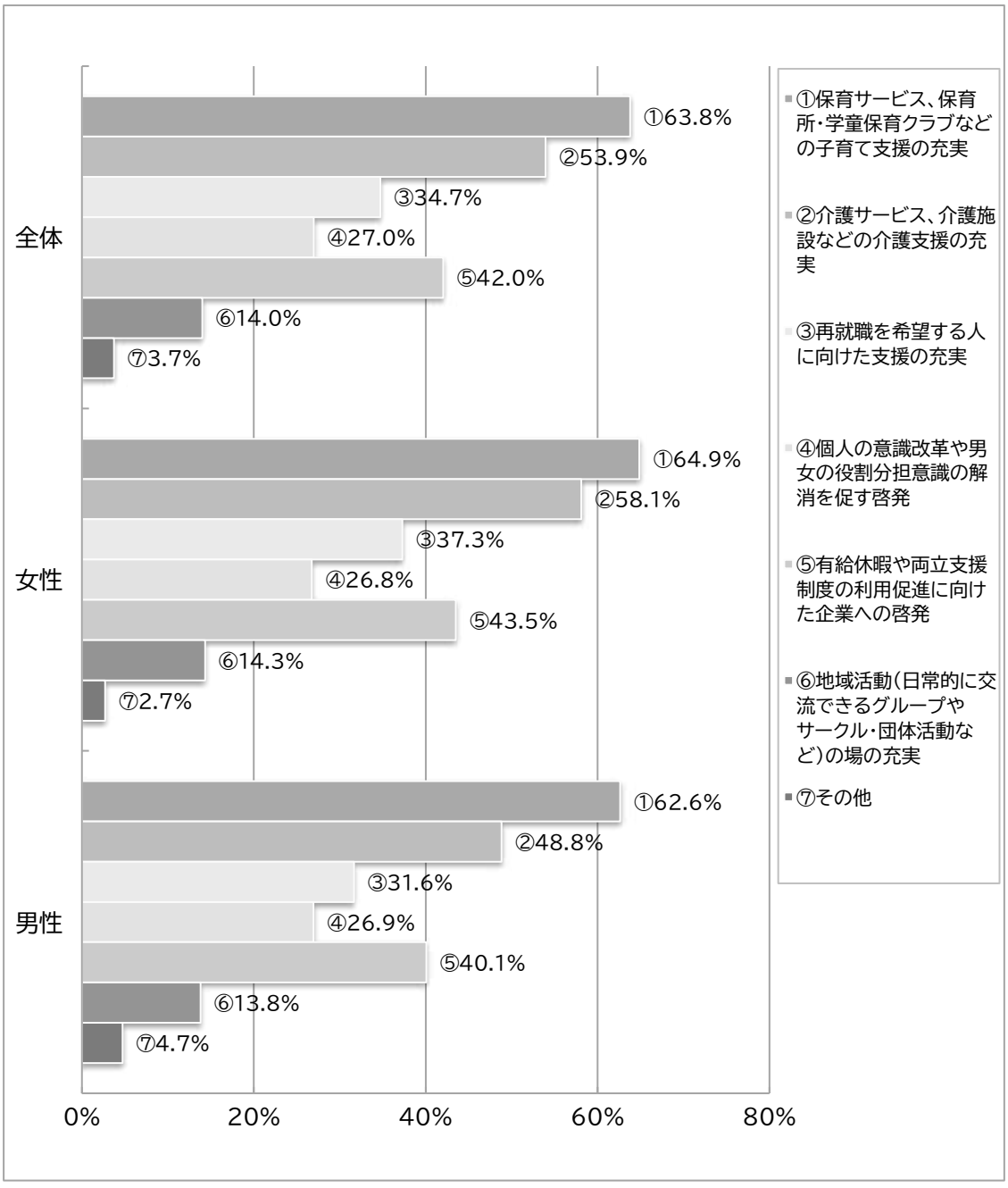


全体 N= 656　　女性 N= 350　　男性 N= 301　　それ以外 N= 5

ワーク・ライフ・バランスの実現に必要な行政・地域社会の取組について、「保育サービス、保育所・学童保育クラブなどの子育て支援の充実」（58.4%）と「介護サービス、介護施設などの介護支援の充実」（58.4%）という回答が並んで最も多かった。

■令和5年度調査

問9　ワーク・ライフ・バランスを実現するためには、行政・地域社会において特にどのような取組が必要だと思いますか。（回答は3つまで）

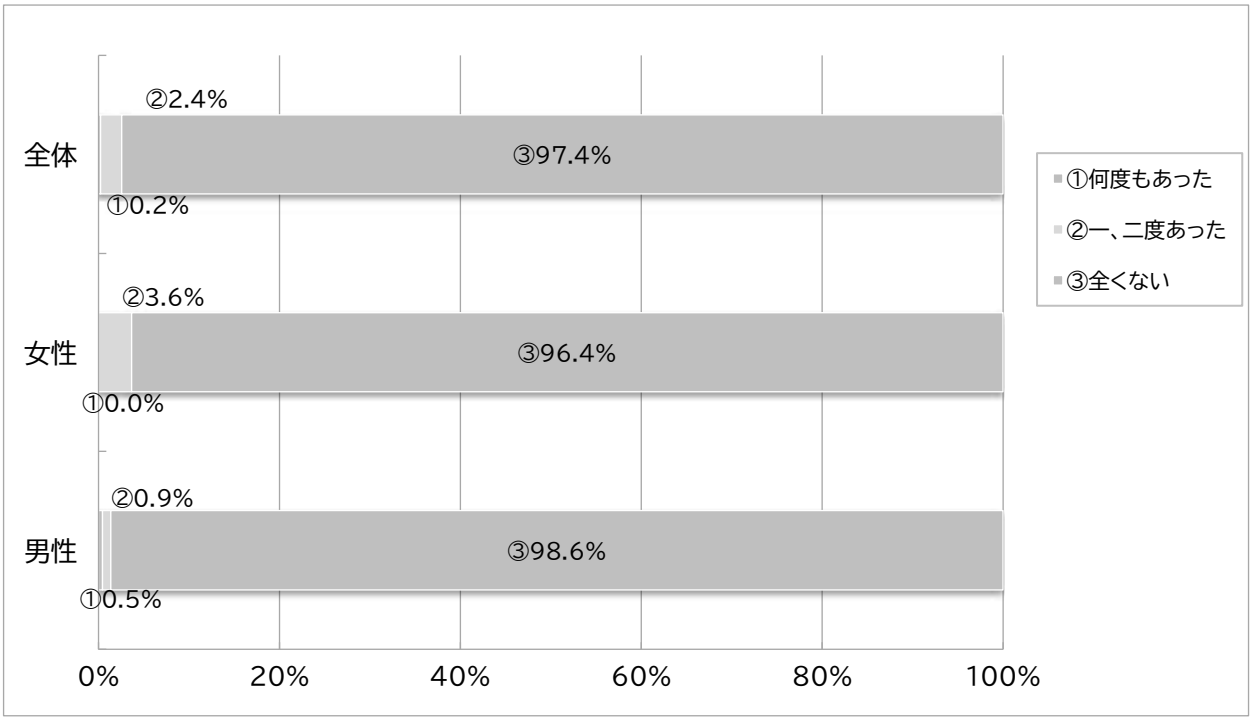


全体 N= 671	女性 N= 370	男性 N= 297	それ以外 N= 4

【Ⅲ　人権・性の多様性の尊重】

[パートナー（配偶者、事実婚のパートナー、同性パートナー、交際相手）がいる（過去1年以内にいた）かたのみ]

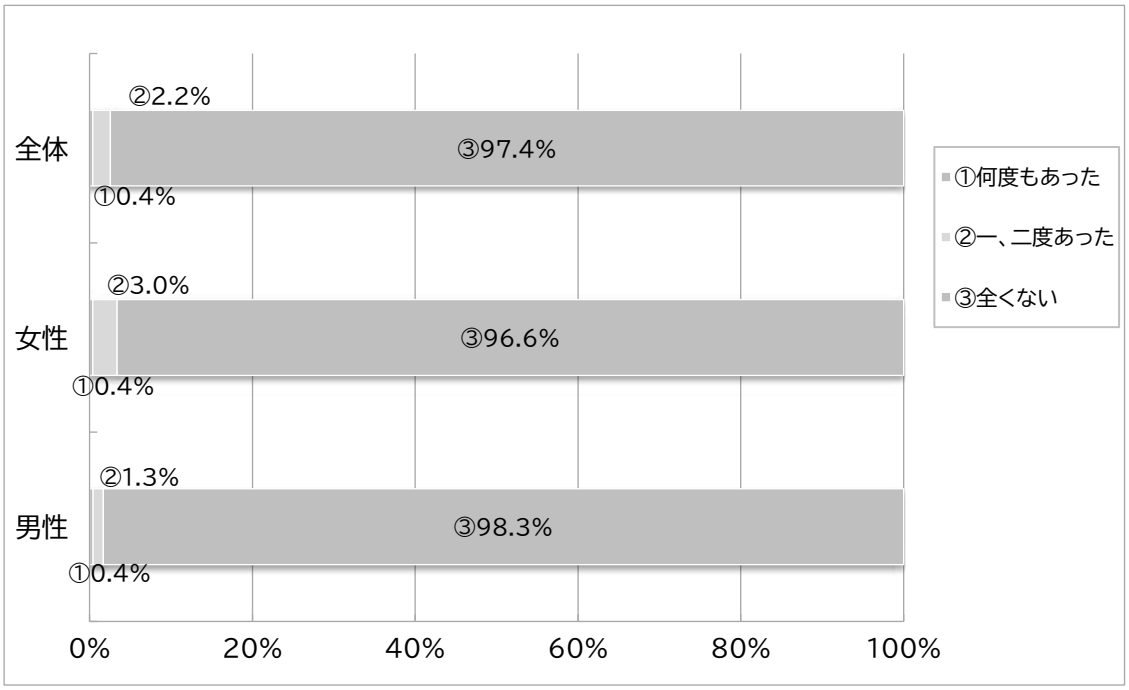
問10（ア）　あなたはこの1年間に、パートナー（配偶者、事実婚のパートナー、同性パートナー、交際相手）から、身体的暴力をされたことがありますか。（単一回答）



全体 N= 467　　女性 N= 247　　男性 N= 219　　それ以外 N= 1

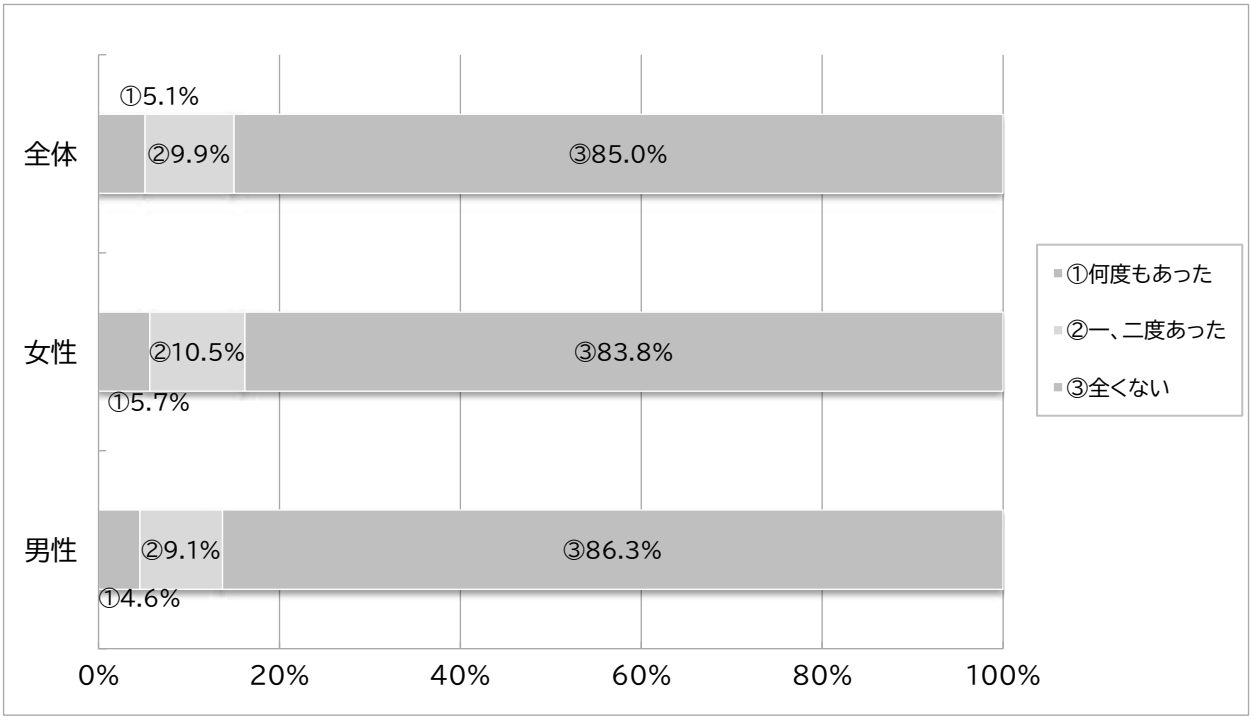
■令和5年度調査

問10（ア）　あなたはこの1年間に、パートナー（配偶者、事実婚のパートナー、同性パートナー、交際相手）から、身体的暴力をされたことがありますか。（単一回答）



全体 N= 505　　女性 N= 265　　男性 N= 238　　それ以外 N= 2

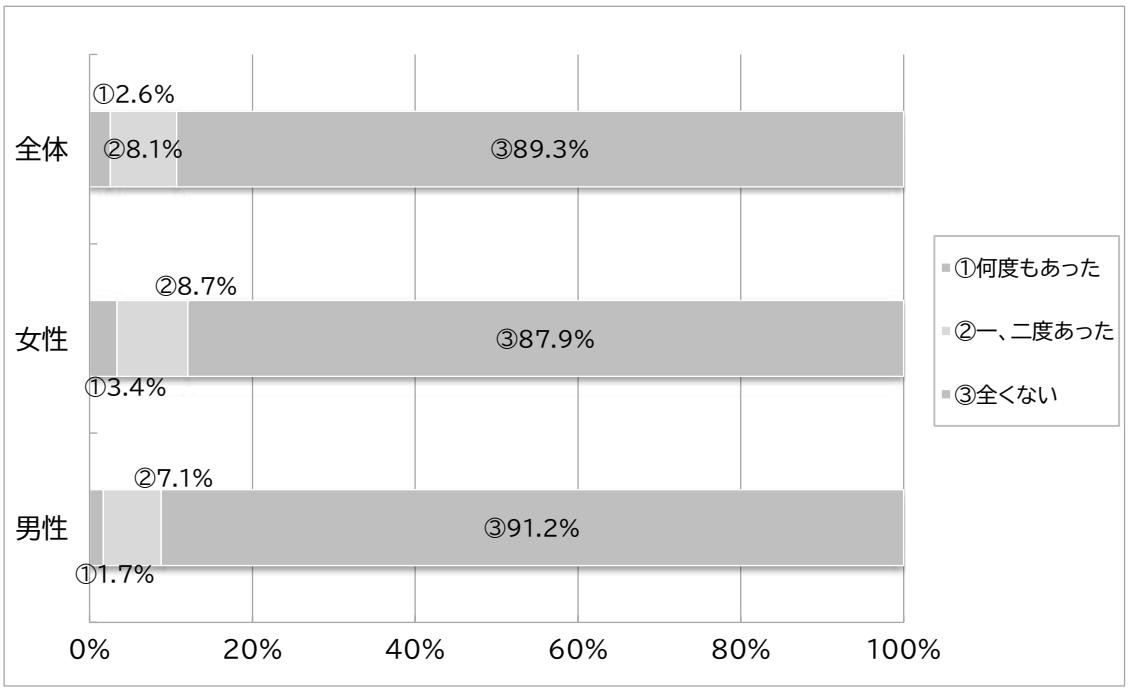
問10(イ)　あなたはこの1年間に、パートナー(配偶者、事実婚のパートナー、同性パートナー、交際相手)から、精神的暴力をされたことがありますか。(単一回答)



全体 N= 467　　女性 N= 247　　男性 N= 219　　それ以外 N= 1

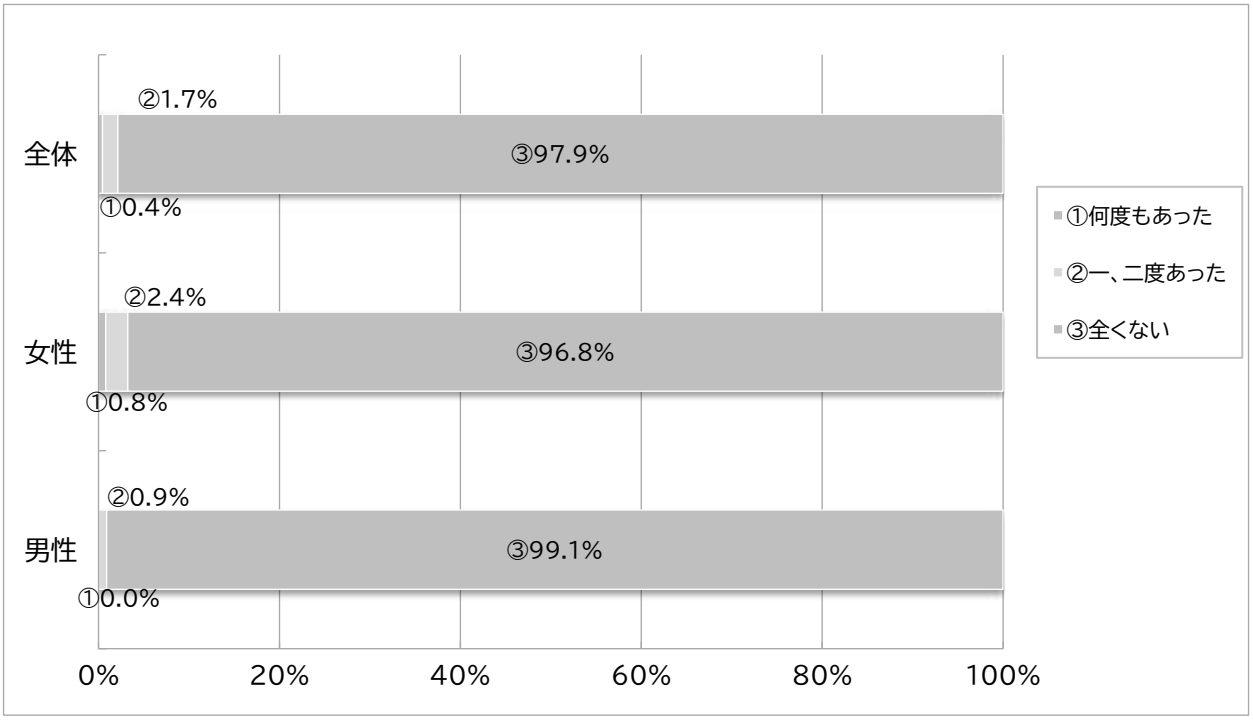
■令和5年度調査

問10(イ)　あなたはこの1年間に、パートナー(配偶者、事実婚のパートナー、同性パートナー、交際相手)から、精神的暴力をされたことがありますか。(単一回答)



全体 N= 505　　女性 N= 265　　男性 N= 238　　それ以外 N= 2

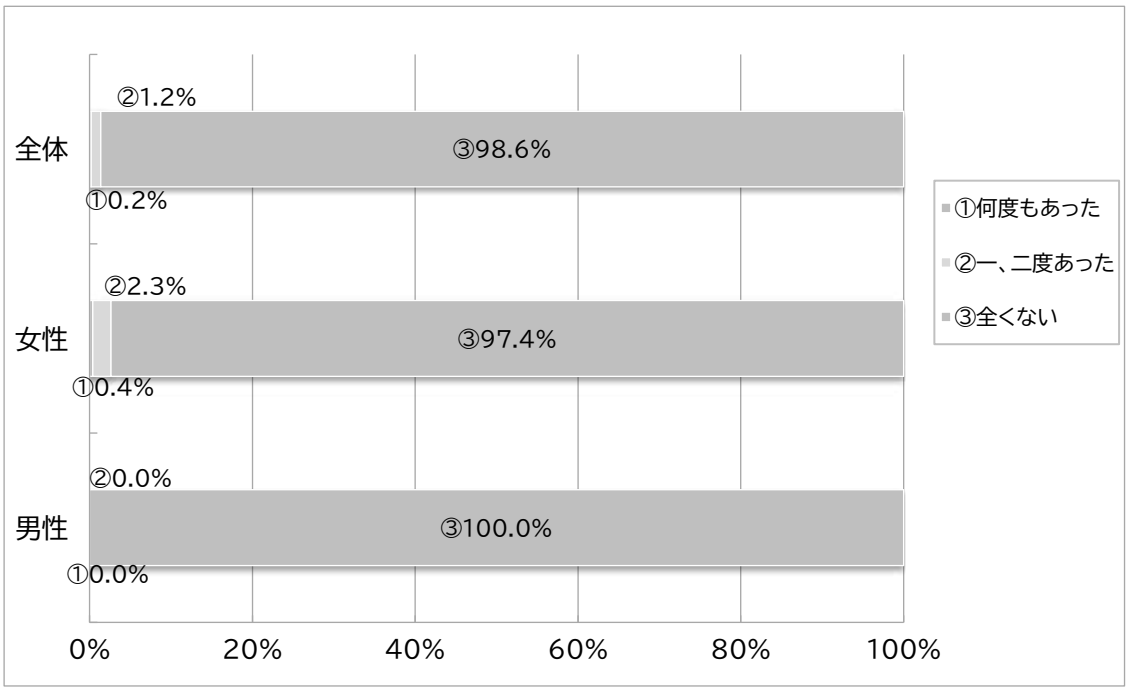
問10(ウ) あなたはこの1年間に、パートナー(配偶者、事実婚のパートナー、同性パートナー、交際相手)から、性的暴力をされたことがありますか。(単一回答)



全体 N= 467　女性 N= 247　男性 N= 219　それ以外 N= 1

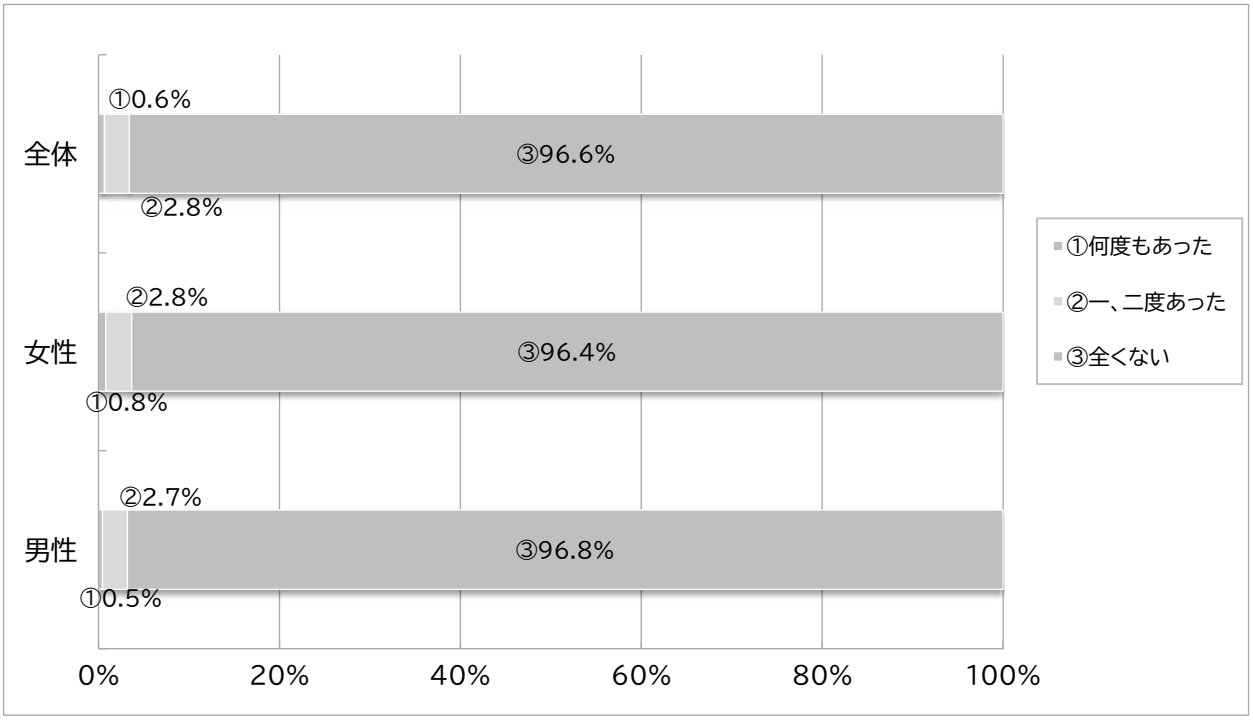
■令和5年度調査

問10(ウ) あなたはこの1年間に、パートナー(配偶者、事実婚のパートナー、同性パートナー、交際相手)から、性的暴力をされたことがありますか。(単一回答)



全体 N= 505　女性 N= 265　男性 N= 238　それ以外 N= 2

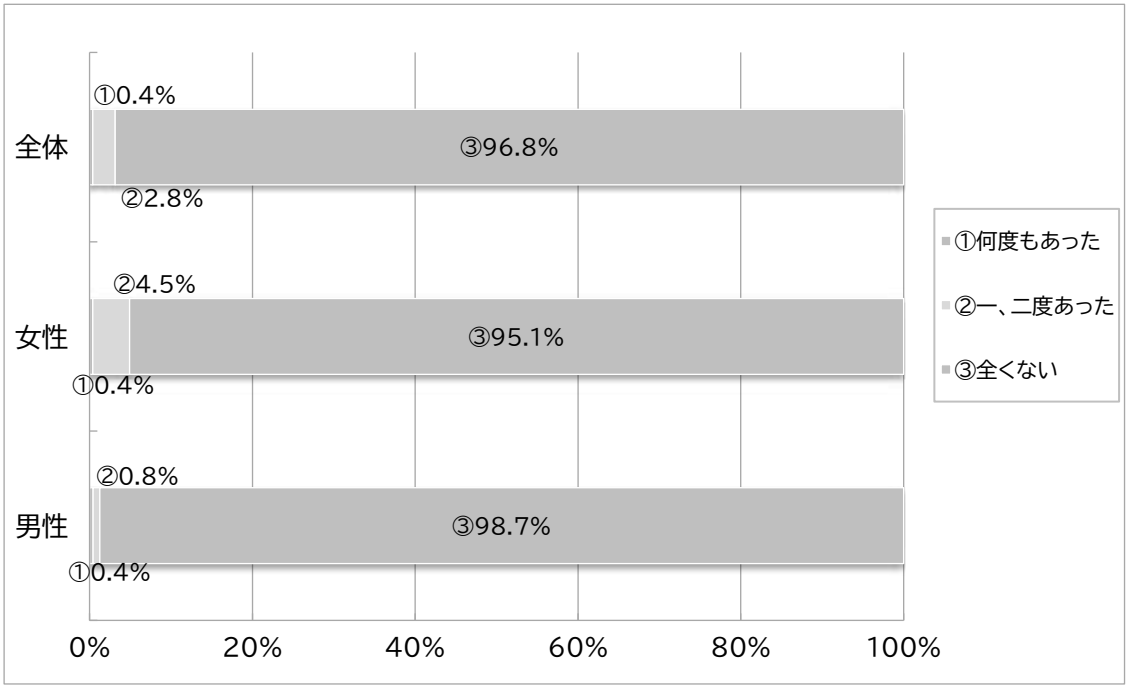
問10(エ) あなたはこの1年間に、パートナー(配偶者、事実婚のパートナー、同性パートナー、交際相手)から、経済的暴力をされたことがありますか。(単一回答)



全体 N= 467　女性 N= 247　男性 N= 219　それ以外 N= 1

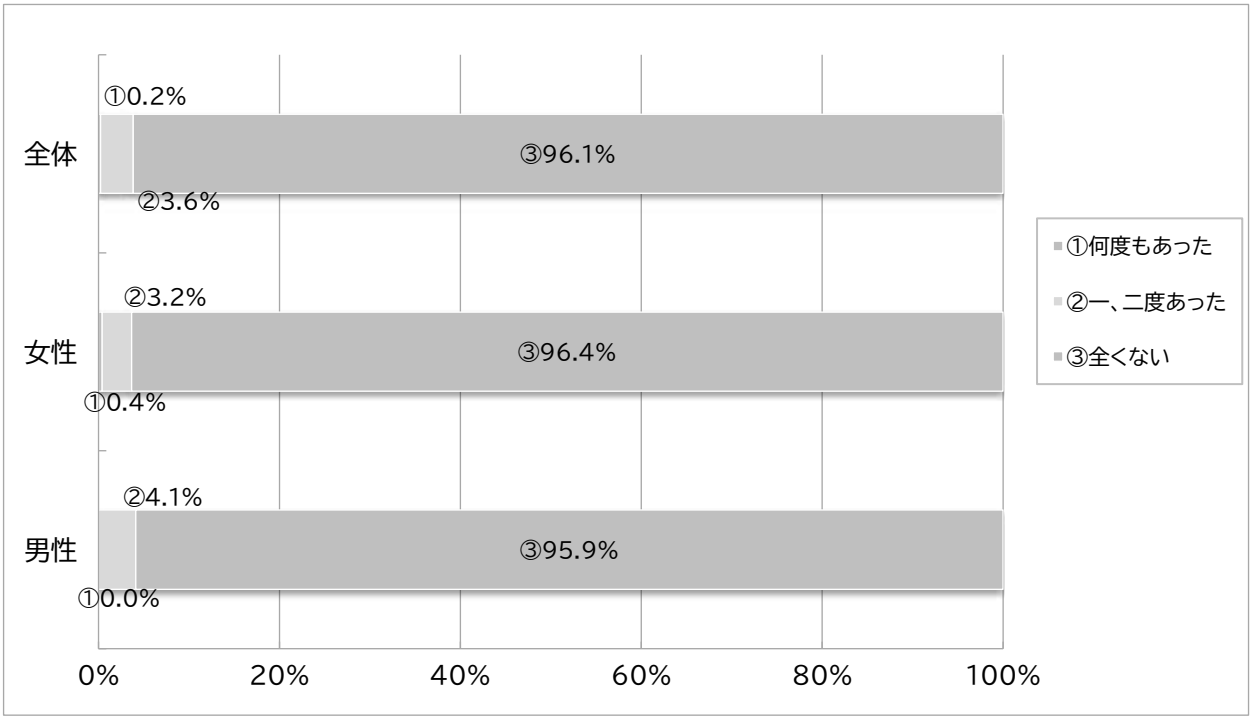
■令和5年度調査

問10(エ) あなたはこの1年間に、パートナー(配偶者、事実婚のパートナー、同性パートナー、交際相手)から、経済的暴力をされたことがありますか。(単一回答)



全体 N= 505　女性 N= 265　男性 N= 238　それ以外 N= 2

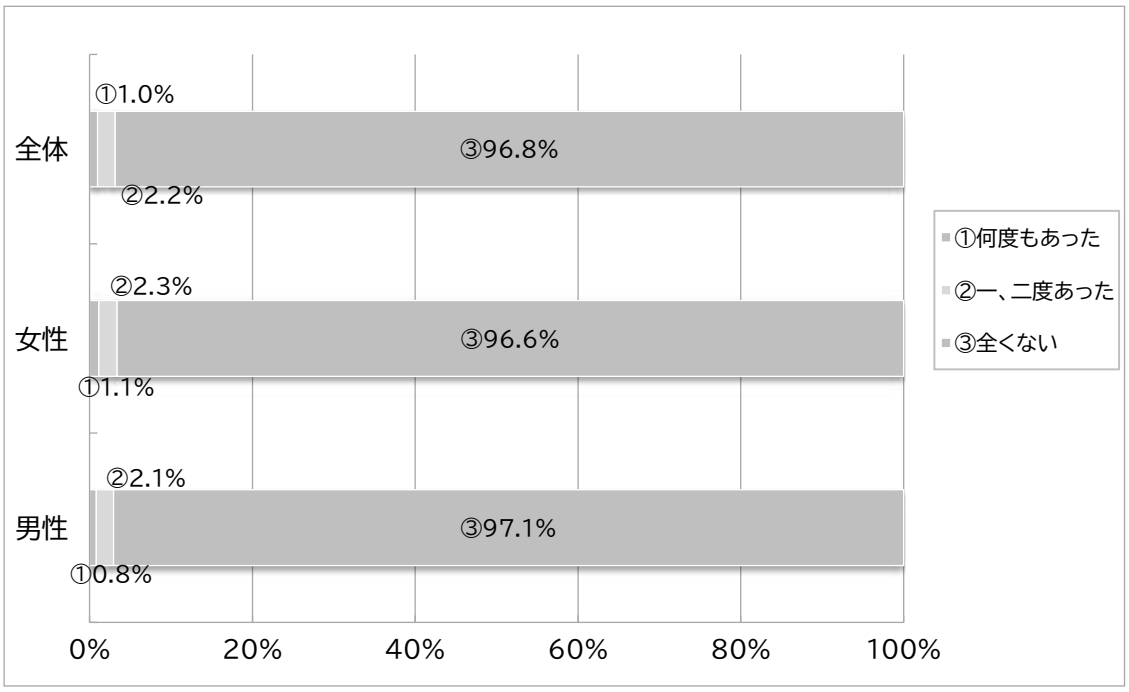
問10（オ） あなたはこの1年間に、パートナー（配偶者、事実婚のパートナー、同性パートナー、交際相手）から、社会的暴力をされたことがありますか。（単一回答）



全体 N= 467　女性 N= 247　男性 N= 219　それ以外 N= 1

■令和5年度調査

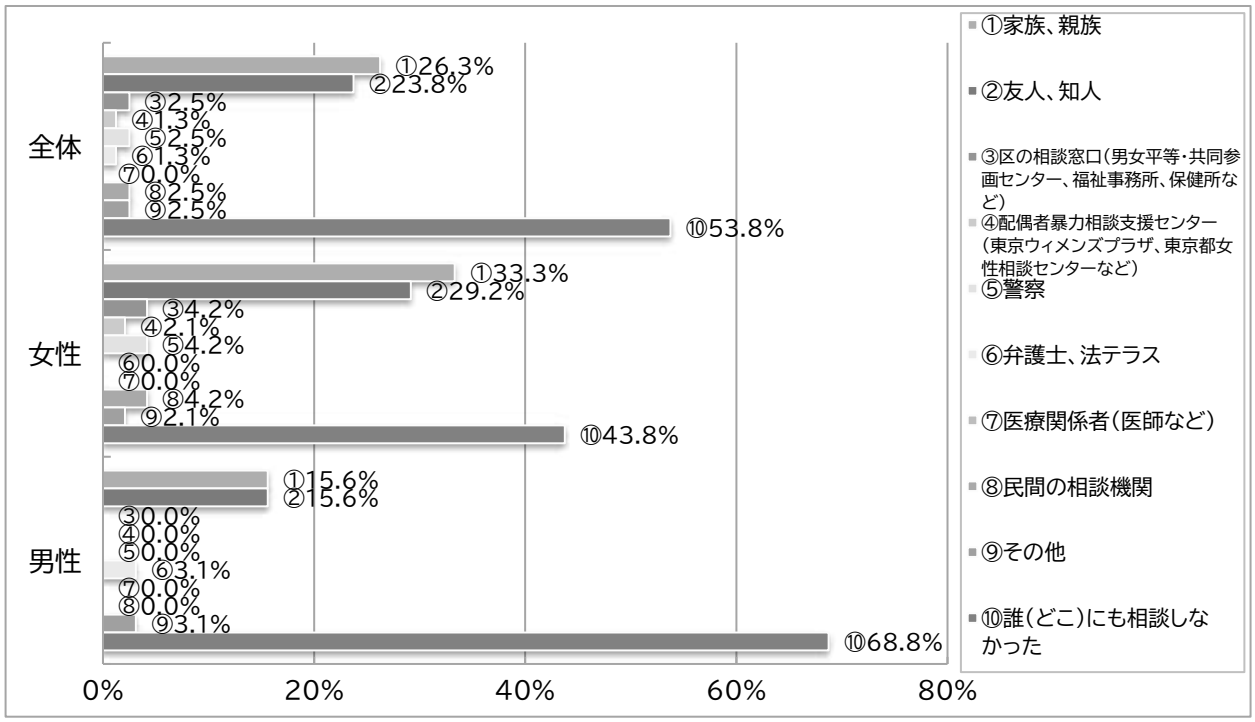
問10（オ） あなたはこの1年間に、パートナー（配偶者、事実婚のパートナー、同性パートナー、交際相手）から、社会的暴力をされたことがありますか。（単一回答）



全体 N= 505　女性 N= 265　男性 N= 238　それ以外 N= 2

[(ア)から(オ)で一つでも「何度もあった」「一、二度あった」と回答した中で]

問10-1　誰(どこ)かに相談しましたか。(複数回答)

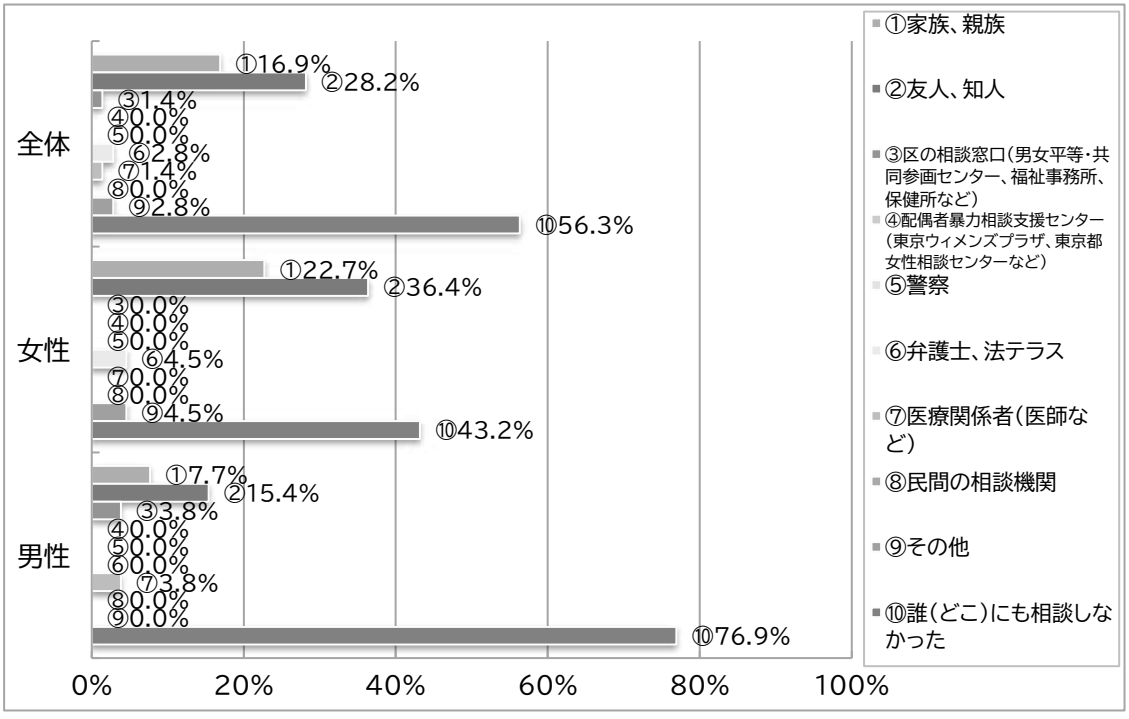


全体 N= 80	女性 N= 48	男性 N= 32	それ以外 N= 0

男女ともに「誰（どこ）にも相談しなかった」という回答が最も多いが、女性が43.8%、男性が68.8%であり、男女差も大きい。

■令和5年度調査

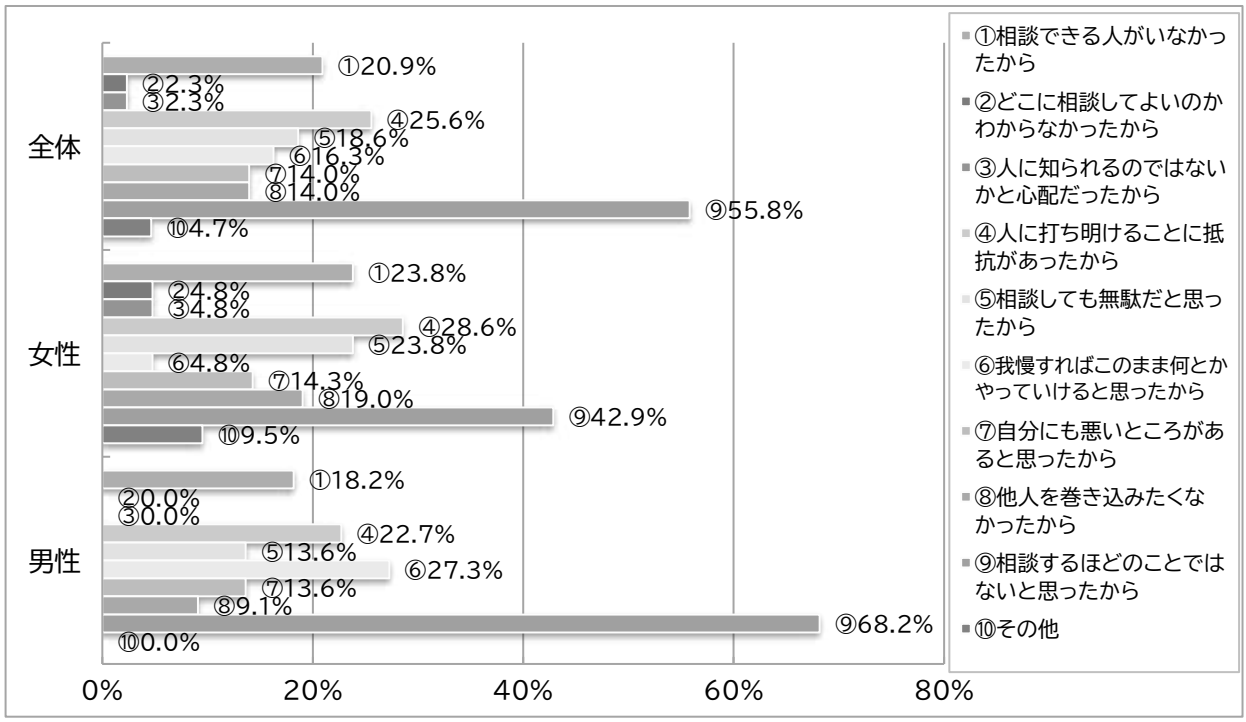
問10-1　誰(どこ)かに相談しましたか。(複数回答)



全体 N= 71	女性 N= 44	男性 N= 26	それ以外 N= 1

[問10-1で「誰(どこ)にも相談しなかった」と回答した中で]

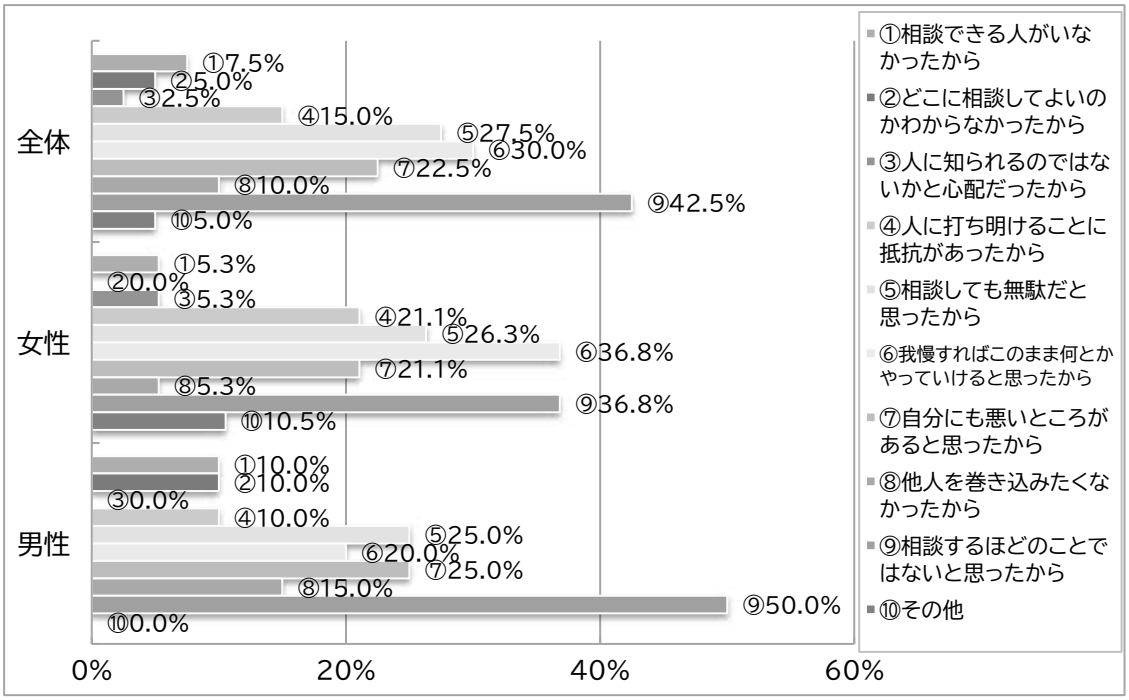
問10-2　相談しなかった理由は、次のどれですか。(複数回答)



全体 N= 43	女性 N= 21	男性 N= 22	それ以外 N= 0

■令和5年度調査

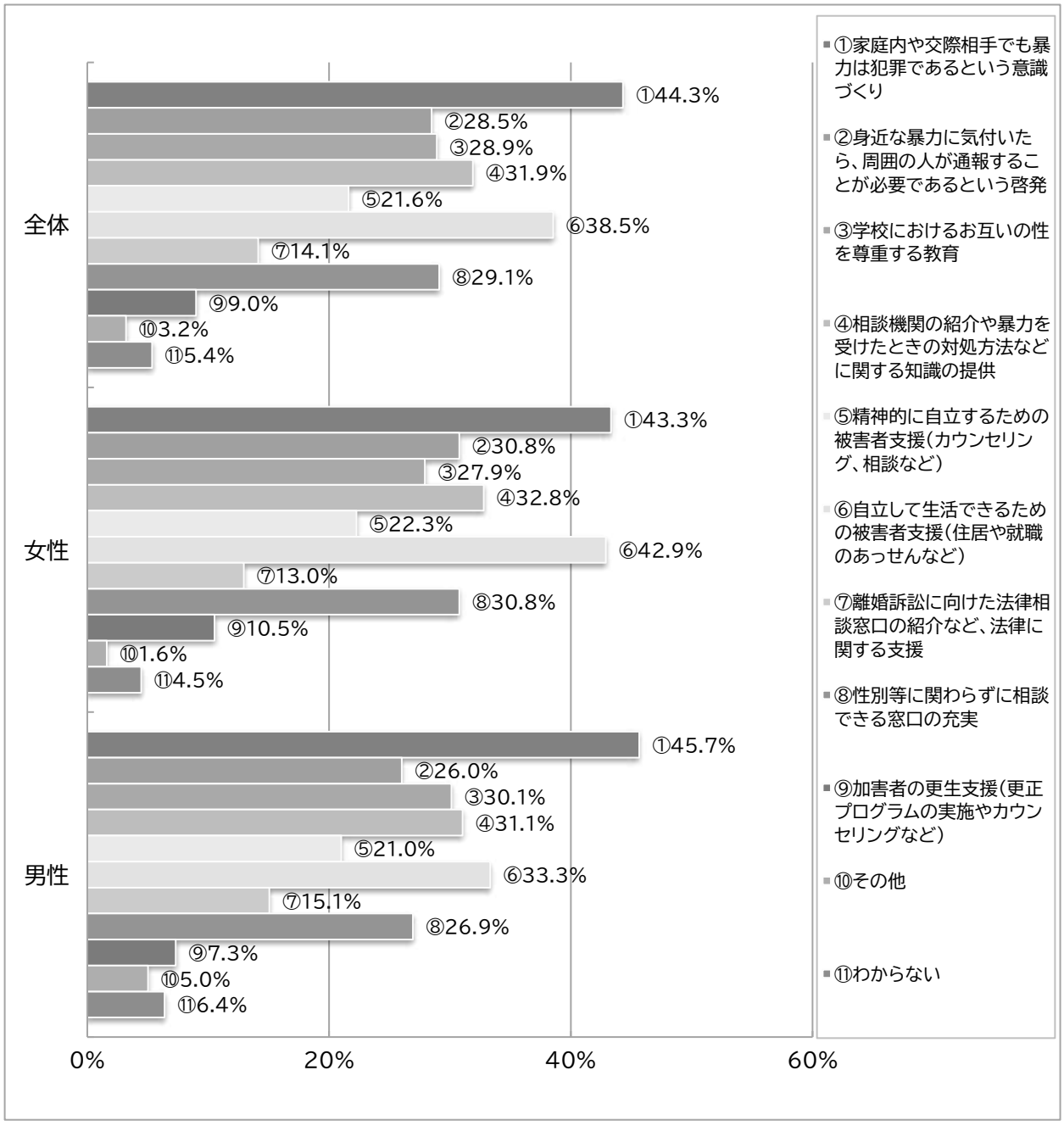
問10-2　相談しなかった理由は、次のどれですか。(複数回答)



全体 N= 40	女性 N= 19	男性 N= 20	それ以外 N= 1

[パートナー(配偶者、事実婚のパートナー、同性パートナー、交際相手)がいる(過去1年以内にいた)かたのみ]

問11　パートナー(配偶者、事実婚のパートナー、同性パートナー、交際相手)からの暴力の防止及び被害者支援のために、特にどのような対策の充実が必要だと思いますか。(回答は3つまで)

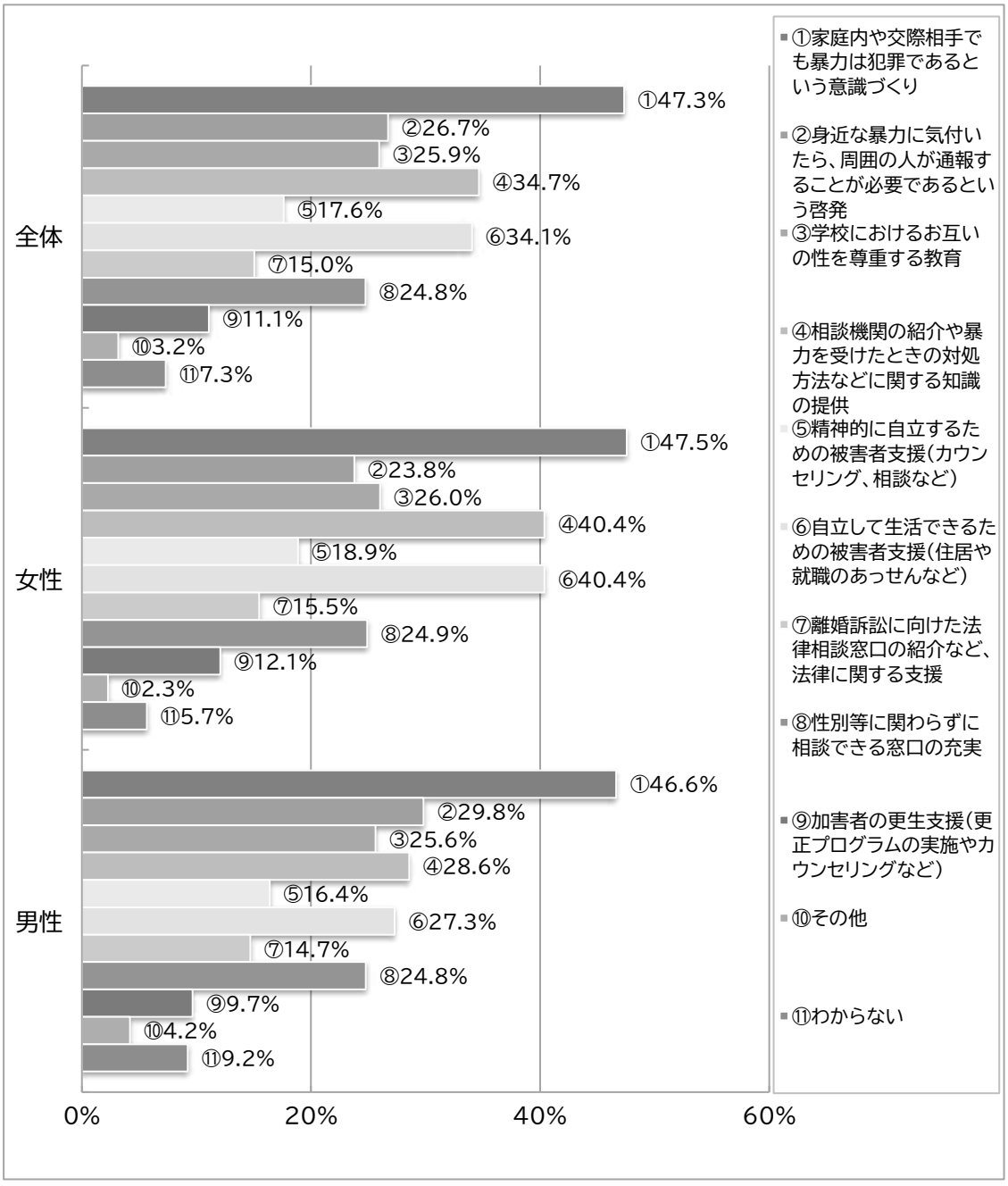


全体 N= 467　　女性 N= 247　　男性 N= 219　　それ以外 N= 1

パートナーからの暴力の防止及び被害者支援のために必要な対策として、「家庭内や交際相手でも暴力は犯罪であるという意識づくり」(44.3%)と回答した人が最も多く、他に「自立して生活できるための被害者支援(住居や就職のあっせんなど)」(38.5%)や「相談機関の紹介や暴力を受けたときの対処方法などに関する知識の提供」(31.9%)と回答した人が多かった。

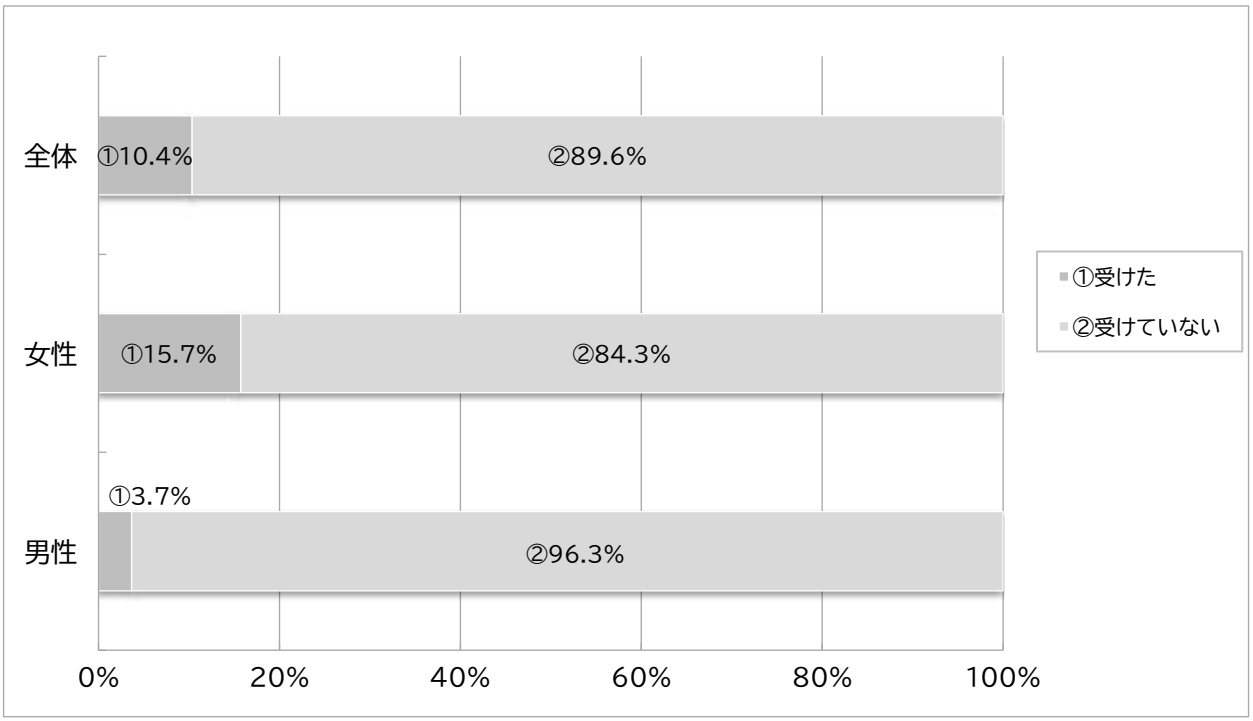
■令和5年度調査

問11　パートナー（配偶者、事実婚のパートナー、同性パートナー、交際相手）からの暴力の防止及び被害者支援のために、特にどのような対策の充実が必要だと思いますか。（回答は3つまで）



全体 N= 505	女性 N= 265	男性 N= 238	それ以外 N= 2

問12　相手を不快にさせる性的な言動（性的指向や性自認に関するものを含む。）を「セクシュアルハラスメント」といいます。あなたはこの1年間に、セクシュアルハラスメントを受けたことがありますか。（単一回答）

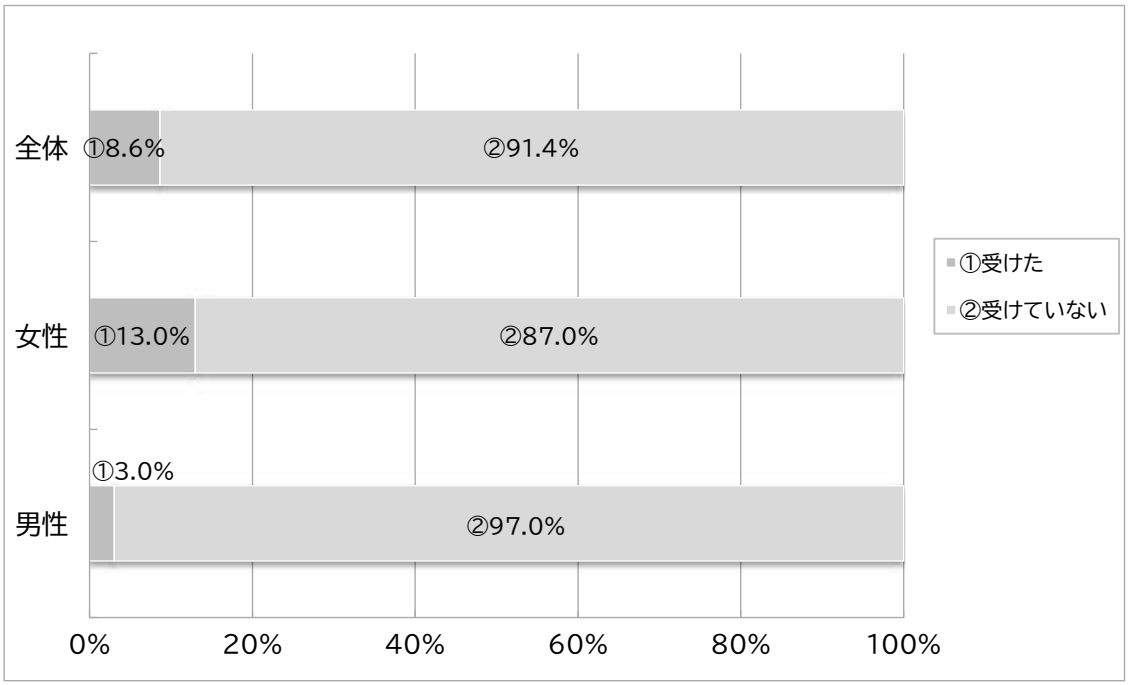


全体 N= 656　　女性 N= 350　　男性 N= 301　　それ以外 N= 5

セクシュアルハラスメントを受けたことがあると回答した女性は15.7%、男性は3.7%であり、被害を受けた割合には男女差がある。

■令和5年度調査

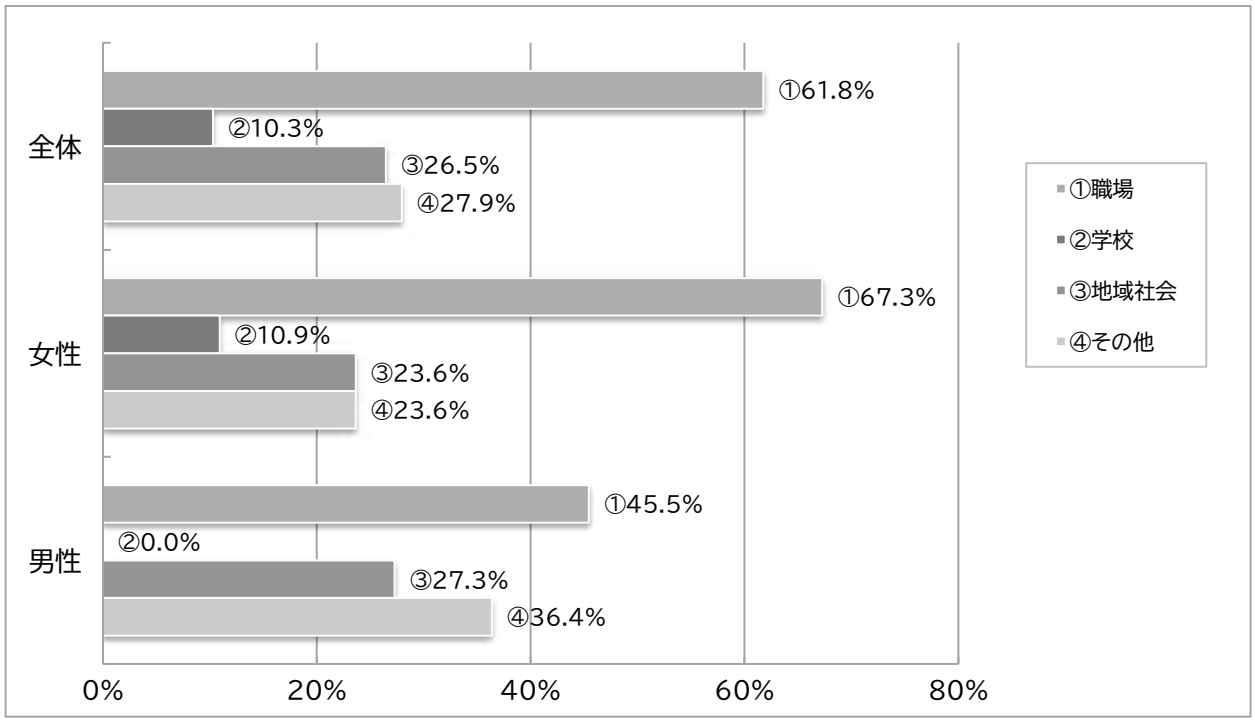
問12　相手を不快にさせる性的な言動（性的指向や性自認に関するものを含む。）を「セクシュアルハラスメント」といいます。あなたはこの1年間に、セクシュアルハラスメントを受けたことがありますか。（単一回答）



全体 N= 671　　女性 N= 370　　男性 N= 297　　それ以外 N= 4

[問12で「受けた」と回答した中で]

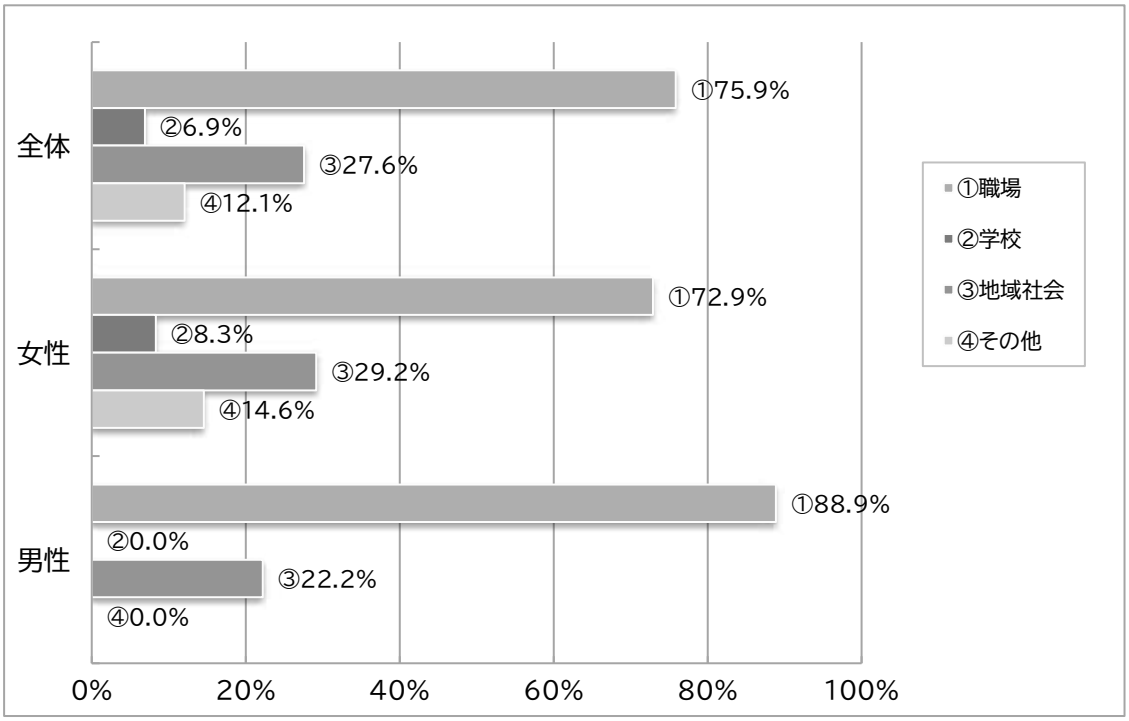
問12-1　それはどこで受けましたか。(複数回答)



全体 N= 68　　女性 N= 55　　男性 N= 11　　それ以外 N= 2

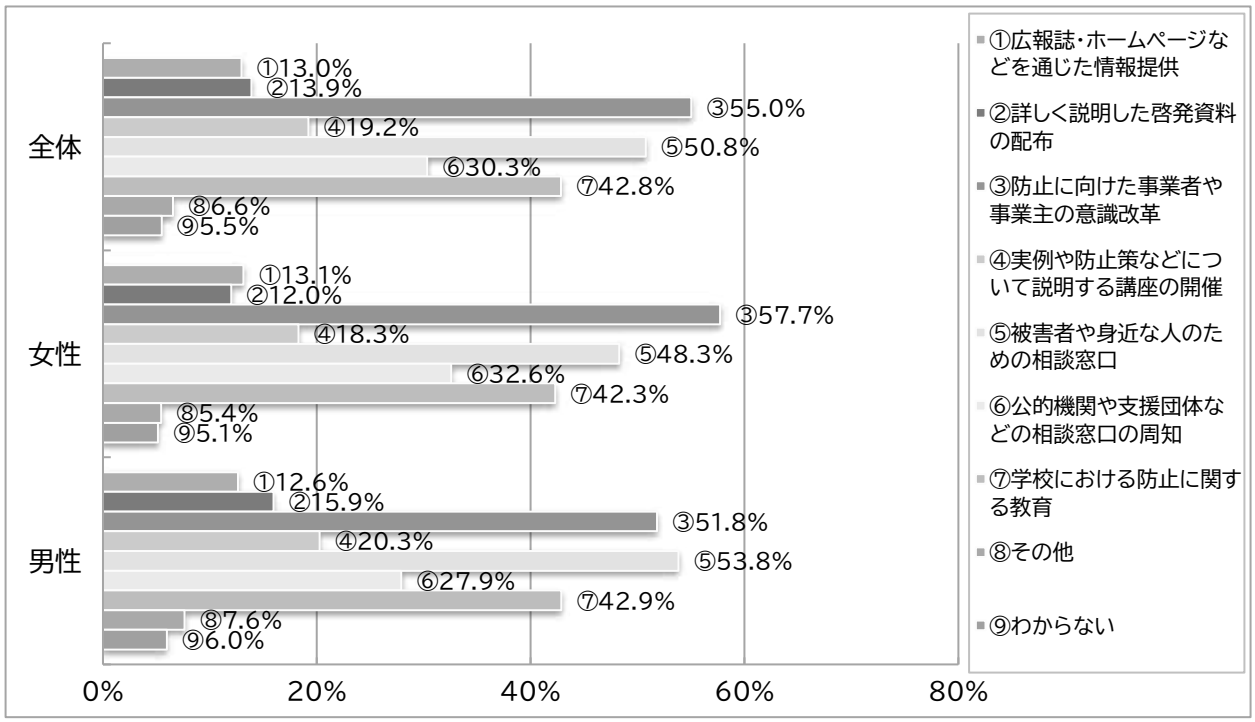
■令和5年度調査

問12-1　それはどこで受けましたか。(複数回答)



全体 N= 58　　女性 N= 48　　男性 N= 9　　それ以外 N= 1

問13　セクシュアルハラスメントの防止及び被害者支援のために、特にどのような対策の充実が必要だと思いますか。（回答は3つまで）

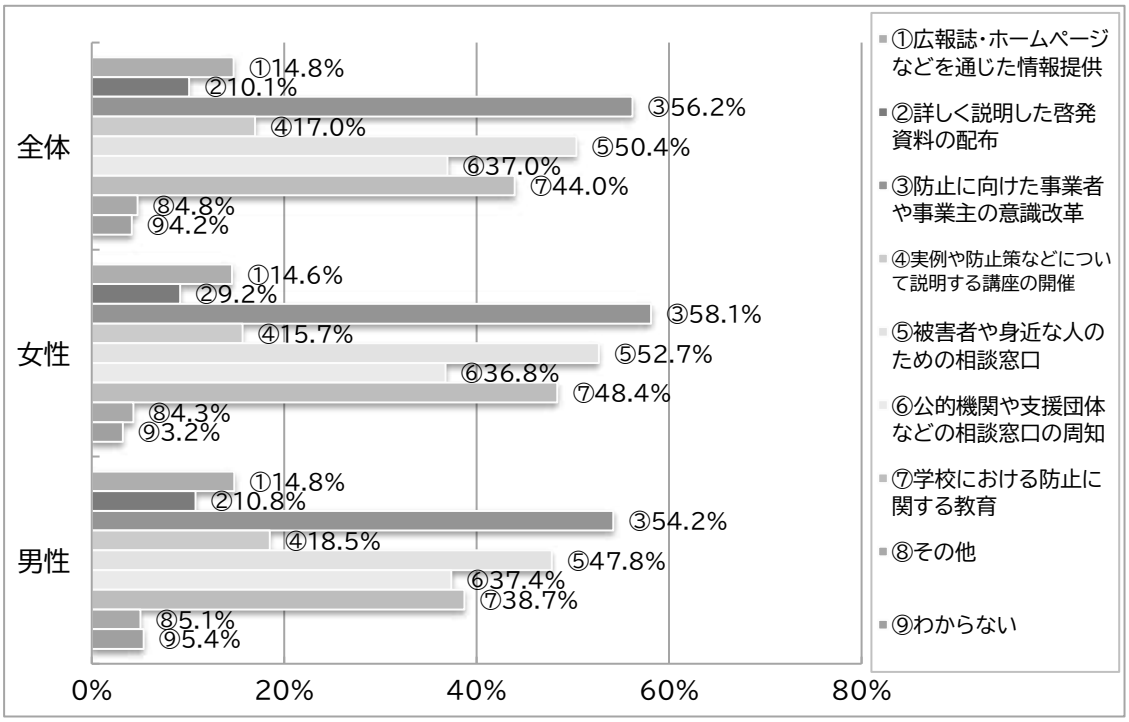


全体 N= 656　　女性 N= 350　　男性 N= 301　　それ以外 N= 5

セクシュアルハラスメントの防止及び被害者支援に必要な対策として、「防止に向けた事業者や事業主の意識改革」（55.0%）と回答した人が最も多く、次に回答が多かった「被害者や身近な人のための相談窓口」（50.8%）とともに半数以上の人が回答した。

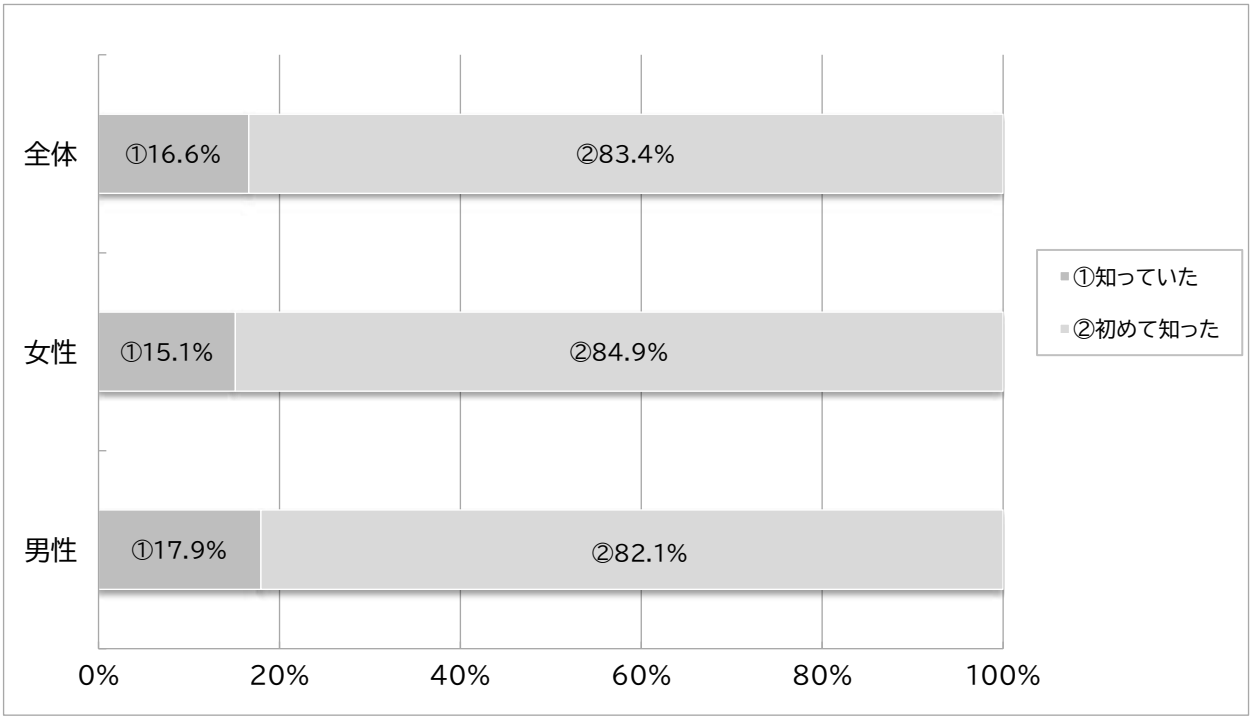
■令和5年度調査

問13　セクシュアルハラスメントの防止及び被害者支援のために、特にどのような対策の充実が必要だと思いますか。（回答は3つまで）



全体 N= 671　　女性 N= 370　　男性 N= 297　　それ以外 N= 4

問14 「生涯にわたる性と生殖に関する健康と権利(リプロダクティブ・ヘルス／ライツ)」という考えを知っていましたか。(単一回答)

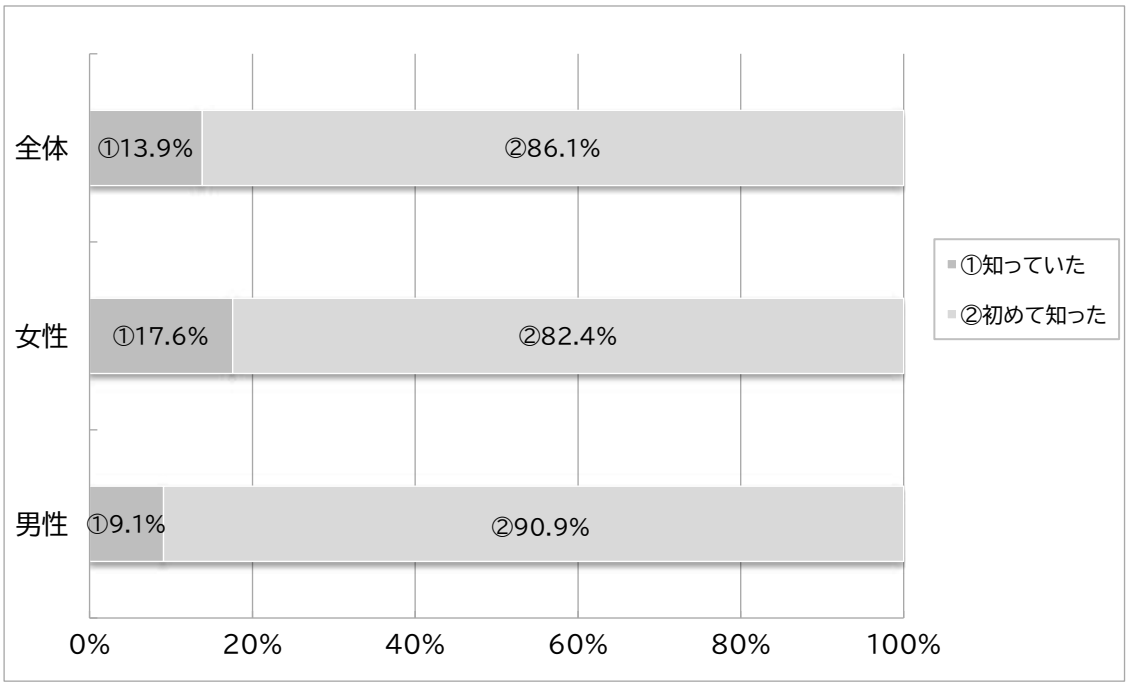


全体 N= 656　　女性 N= 350　　男性 N= 301　　それ以外 N= 5

前回と比べて「リプロダクティブ・ヘルス／ライツ」という考えを知っていた男性の割合が上昇し、女性を上回った。

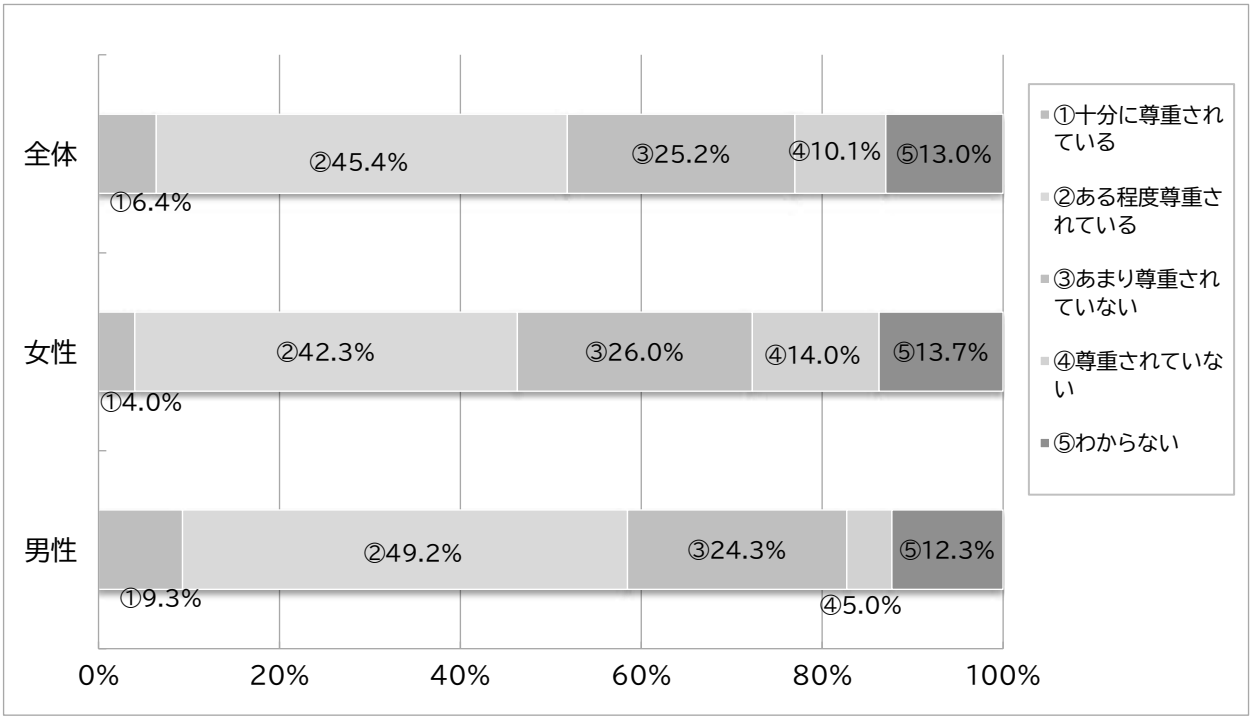
■令和5年度調査

問14 「生涯にわたる性と生殖に関する健康と権利(リプロダクティブ・ヘルス／ライツ)」という考えを知っていましたか。(単一回答)



全体 N= 671　　女性 N= 370　　男性 N= 297　　それ以外 N= 4

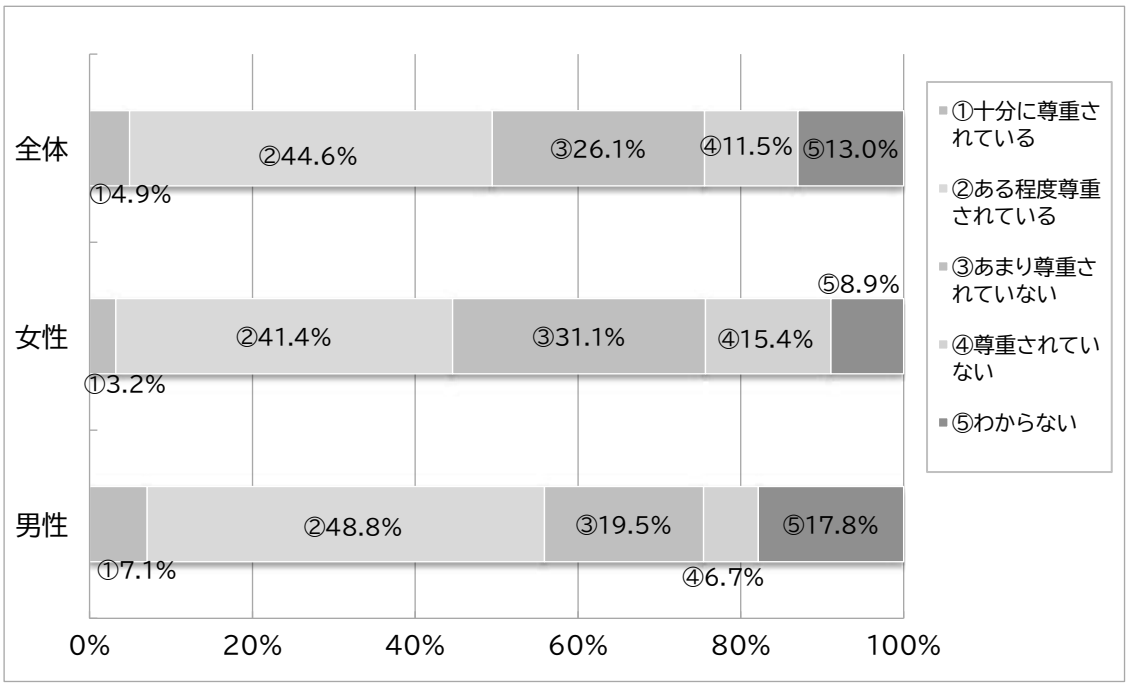
問15　問14でお聞きした考えを踏まえ、現在、妊娠や出産をめぐる女性の健康と権利が尊重されていると思いますか。(単一回答)



全体 N= 656　　女性 N= 350　　男性 N= 301　　それ以外 N= 5

■令和5年度調査

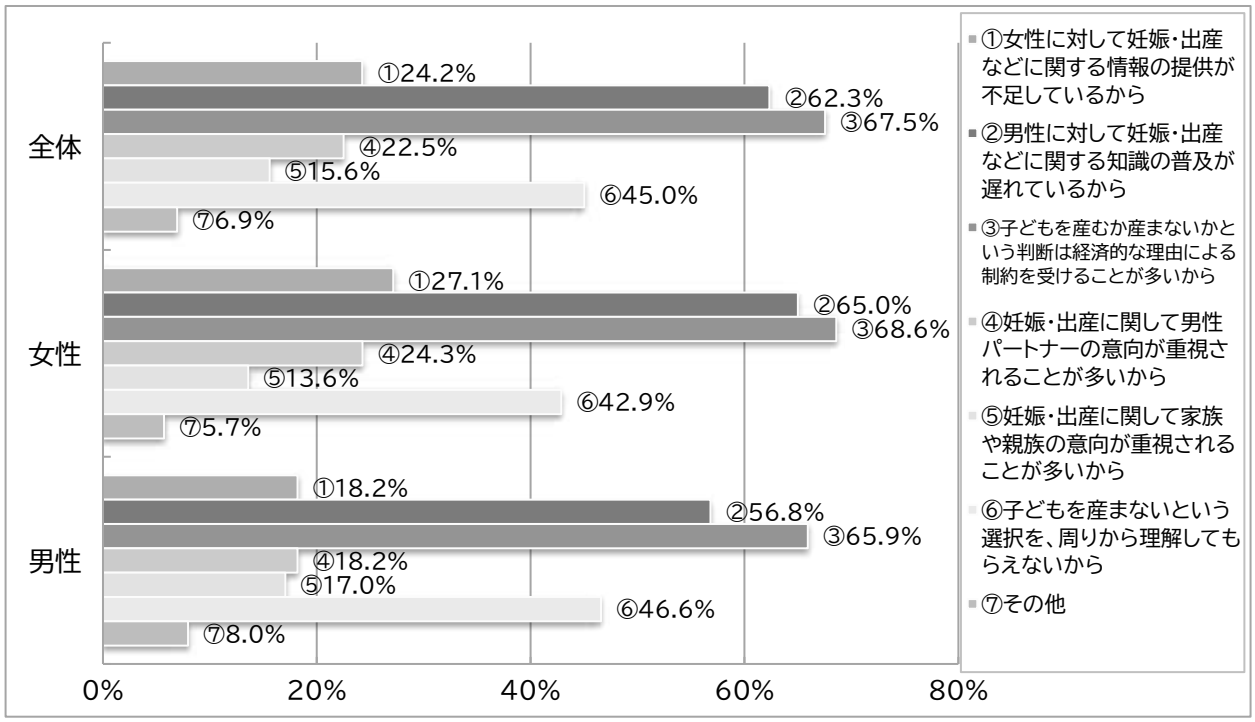
問15　問14でお聞きした考えを踏まえ、現在、妊娠や出産をめぐる女性の健康と権利が尊重されていると思いますか。(単一回答)



全体 N= 671　　女性 N= 370　　男性 N= 297　　それ以外 N= 4

[問15で「あまり尊重されていない」「尊重されていない」と回答した中で]

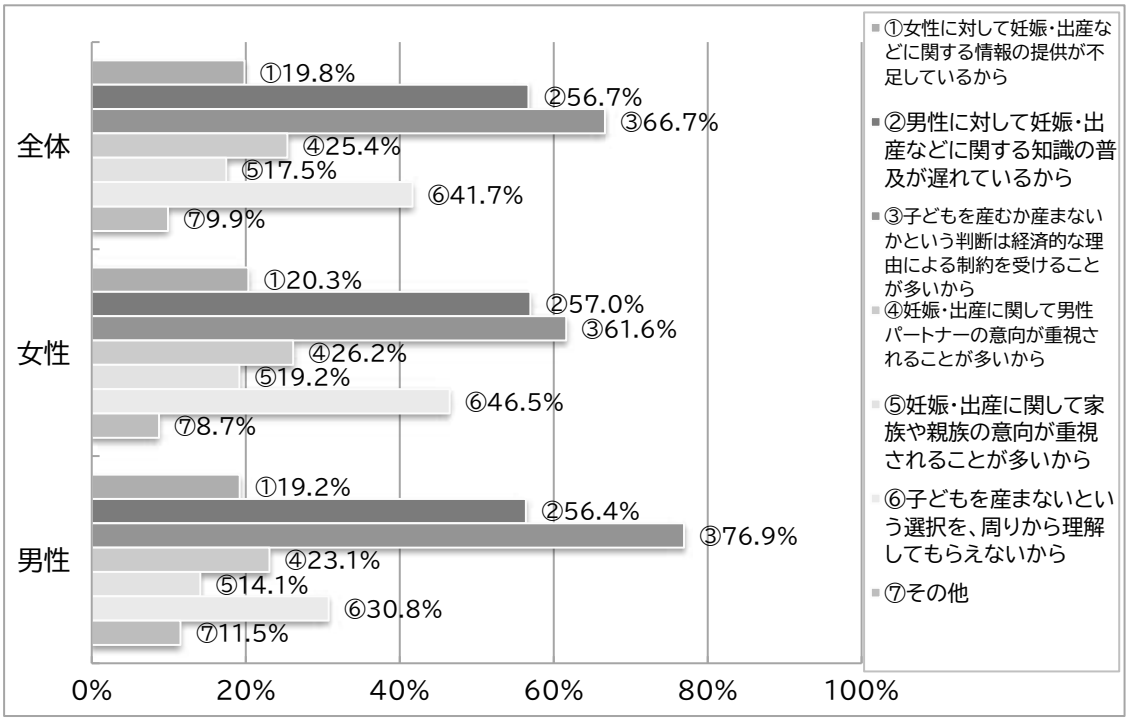
問15-1 「あまり尊重されていない」「尊重されていない」と思う理由は、次のどれですか。(複数回答)



全体 N= 231　　女性 N= 140　　男性 N= 88　　それ以外 N= 3

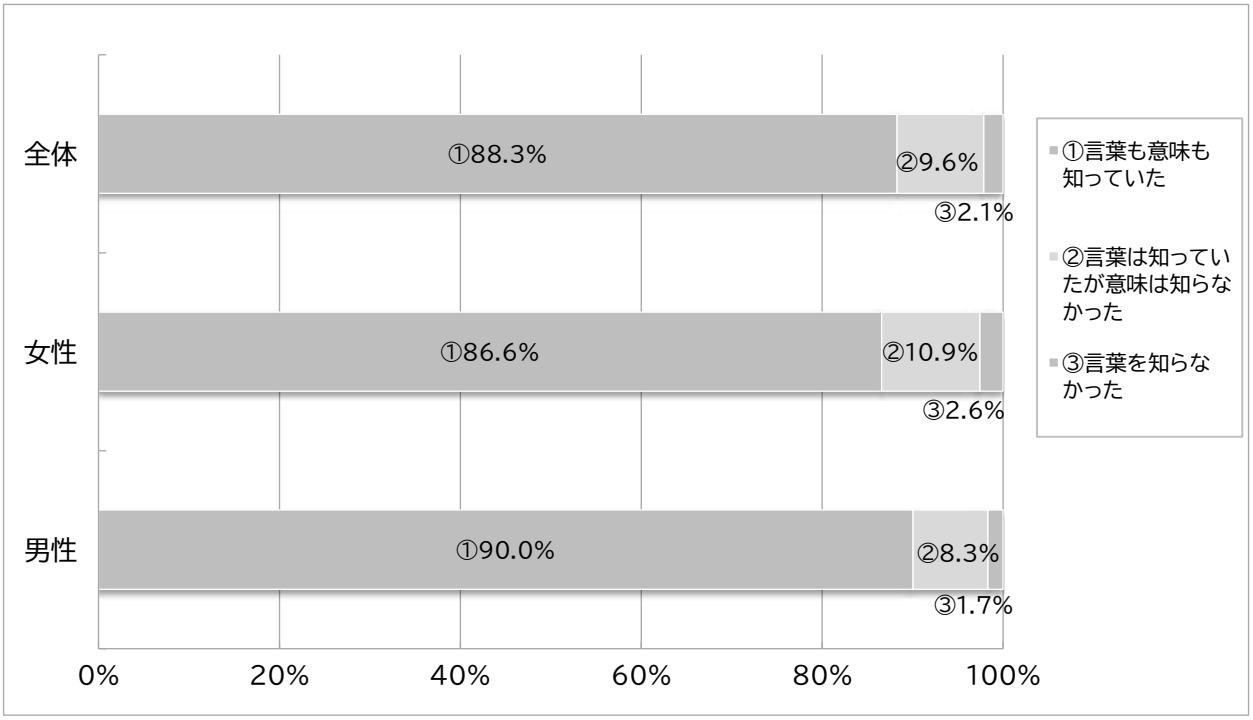
■令和5年度調査

問15-1 「あまり尊重されていない」「尊重されていない」と思う理由は、次のどれですか。(複数回答)



全体 N= 252　　女性 N= 172　　男性 N= 78　　それ以外 N= 2

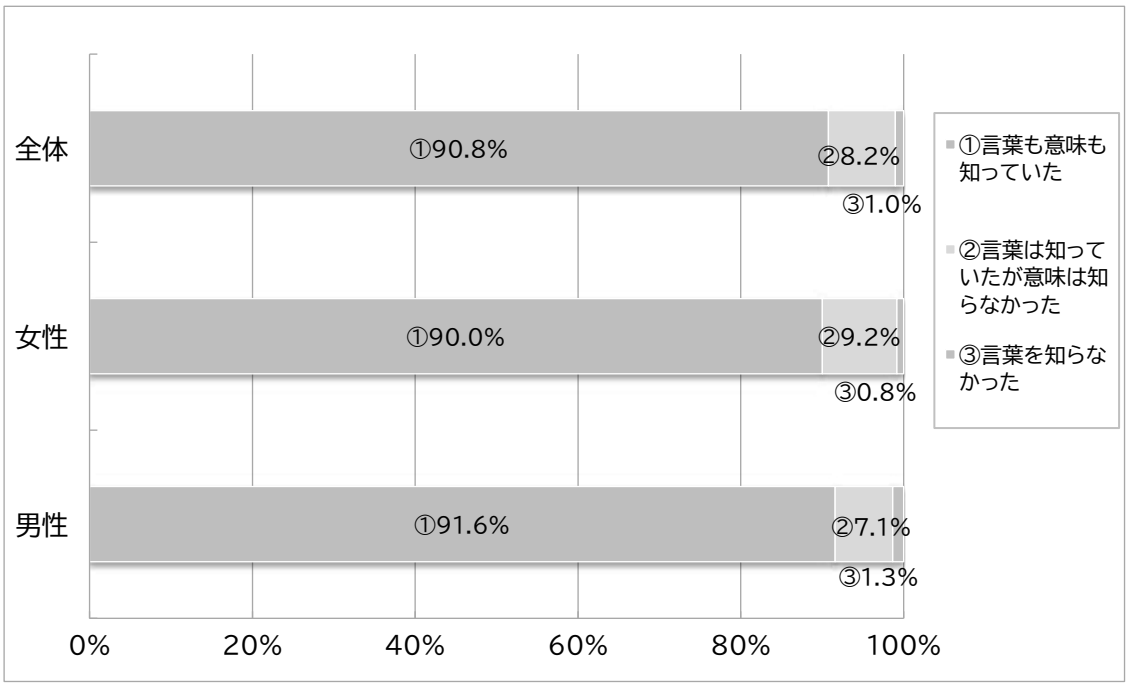
問16　あなたは、性的マイノリティ（又はLGBT（LGBTQ）、セクシュアル・マイノリティ、性的少数者）という言葉やその意味を知っていましたか。（単一回答）



全体 N= 656　　女性 N= 350　　男性 N= 301　　それ以外 N= 5

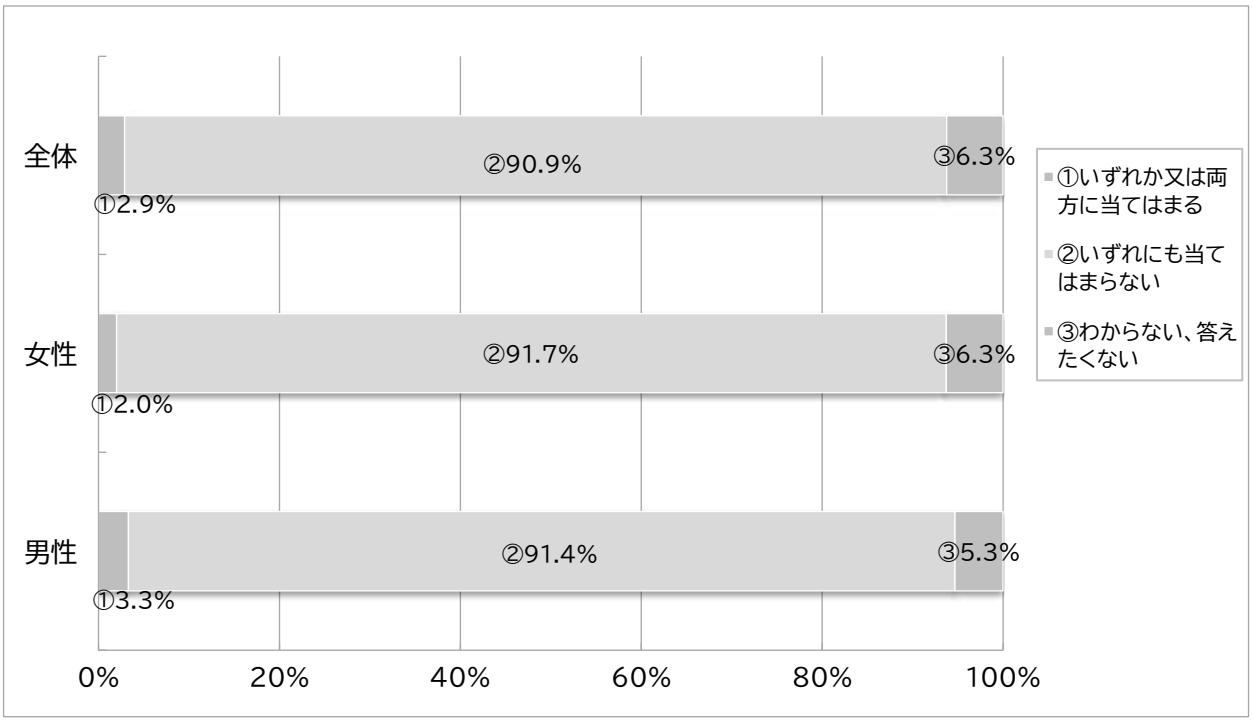
■令和5年度調査

問16　あなたは、性的マイノリティ（又はLGBT（LGBTQ）、セクシュアル・マイノリティ、性的少数者）という言葉やその意味を知っていましたか。（単一回答）



全体 N= 671　　女性 N= 370　　男性 N= 297　　それ以外 N= 4

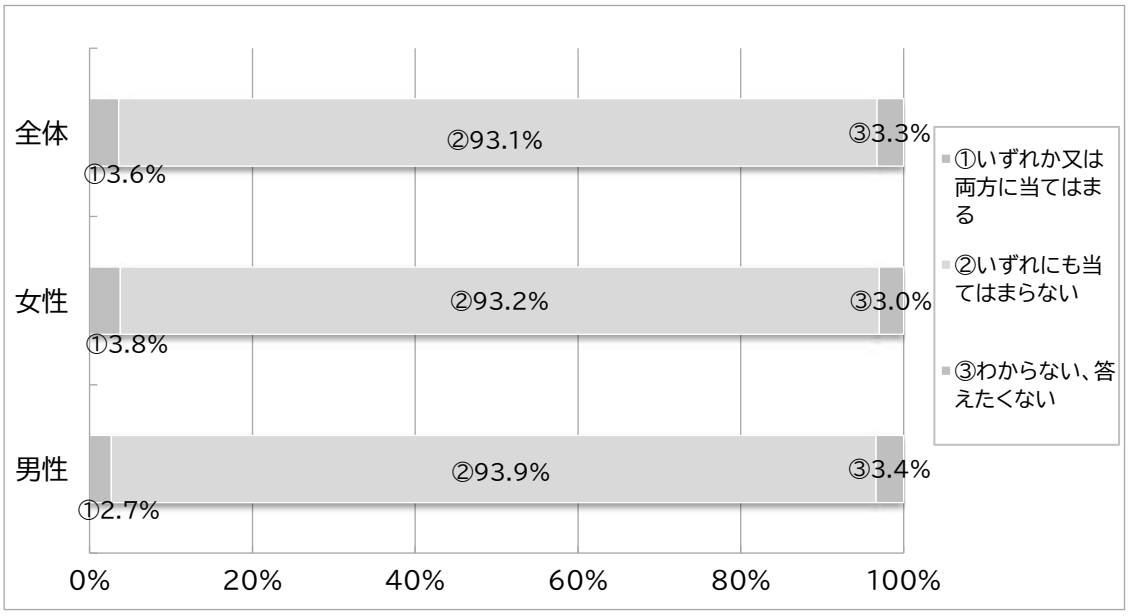
問17　あなたは、次のいずれか又は両方に当てはまりますか。(単一回答)
・出生時に割り当てられた性別と自分が認識する性別(性自認)が異なる。
・恋愛・性愛の対象(性的指向)が「異性のみ」ではない。



全体 N= 656　　女性 N= 350　　男性 N= 301　　それ以外 N= 5

■令和5年度調査

問17　あなたは、次のいずれか又は両方に当てはまりますか。(単一回答)
・出生時に割り当てられた性別と自分が認識する性別(性自認)が異なる。
・恋愛・性愛の対象(性的指向)が「異性のみ」ではない。



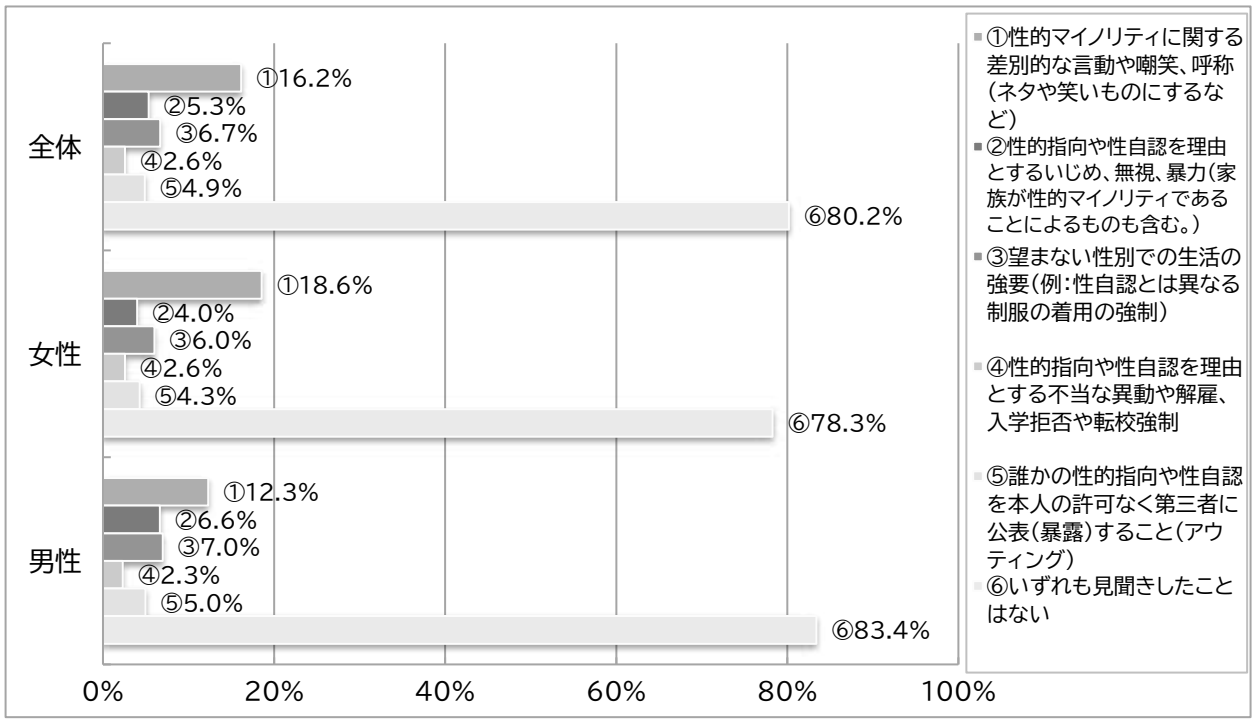
全体 N= 671　　女性 N= 370　　男性 N= 297　　それ以外 N= 4

[問17で「いずれか又は両方に当てはまる」と回答したかたのみ]
問17-1　ご自身の性的指向や性自認により、日常の生活や行政サービスなどで経験した困りごとがあれば記入してください。

＜主な意見＞

・仕方がないとは思っていてもそれがあるから行政の場にはあまり行きたくない。
・見た目と性別が違うので、できれば性別などを謄本などに載せないでほしい。
・受診の際、キーパーソンに同性パートナーを記入しにくい。
・同性パートナーと同居するための賃貸物件を契約しにくくて困った。
・自分の歴史を話す場面があった際に、昔女の子だと分かると明らかに態度が高圧的になる人がいた。

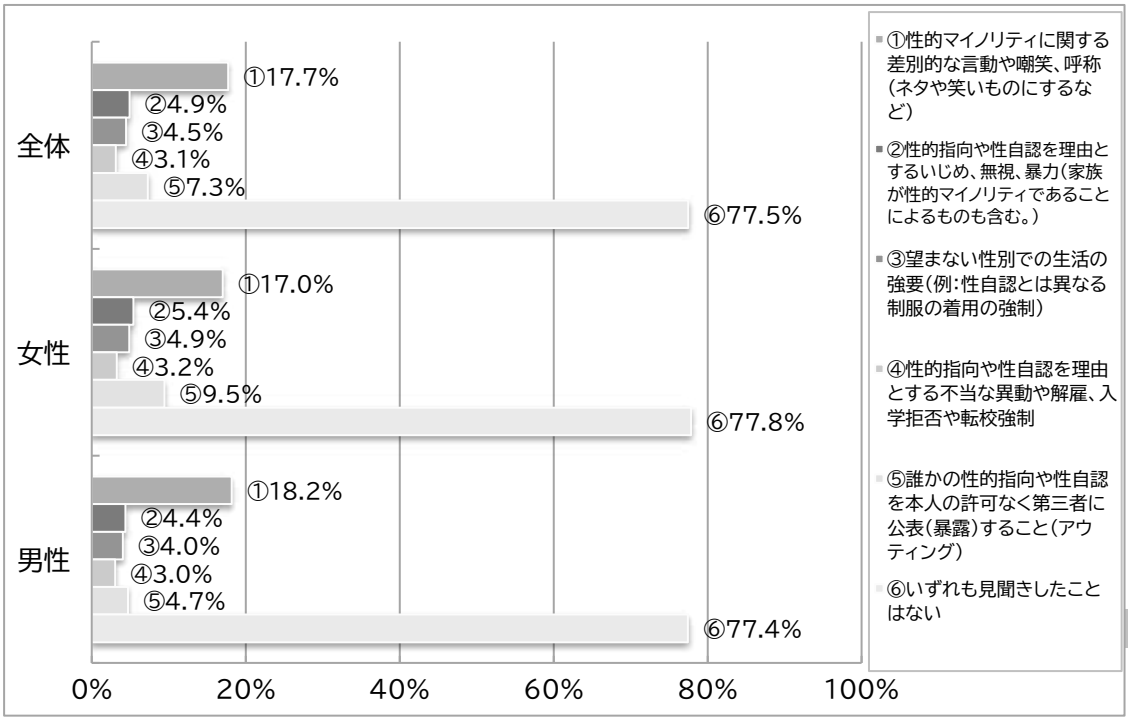
問18　あなたは、この1年間に性的指向や性自認に関する次のハラスメントを見聞きしたことがありますか。（複数回答）



全体 N= 656　　女性 N= 350　　男性 N= 301　　それ以外 N= 5

■令和5年度調査

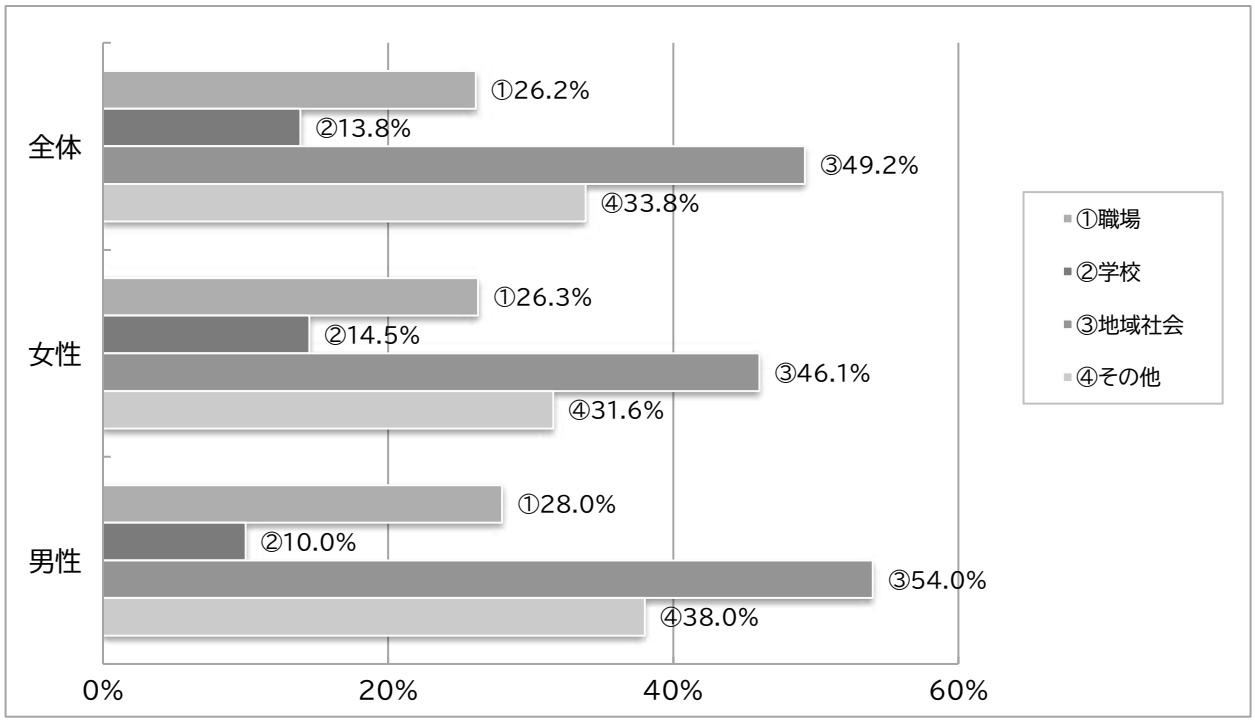
問18　あなたは、この1年間に性的指向や性自認に関する次のハラスメントを見聞きしたことがありますか。（複数回答）



全体 N= 671　　女性 N= 370　　男性 N= 297　　それ以外 N= 4

[問18で1～5のいずれかを見聞きしたことがあると回答した中で]

問18-1　それを見聞きしたのはどこですか。(複数回答)

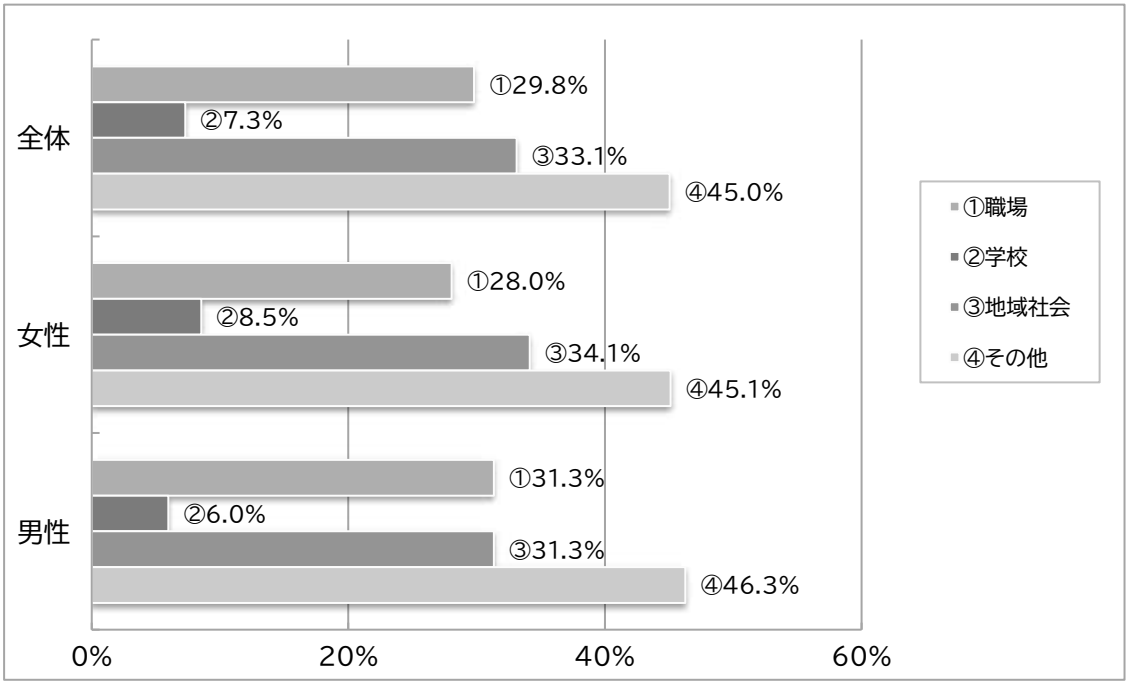


全体 N= 130　　女性 N= 76　　男性 N= 50　　それ以外 N= 4

前回と比べて「地域社会」と回答した人の割合が上昇した。

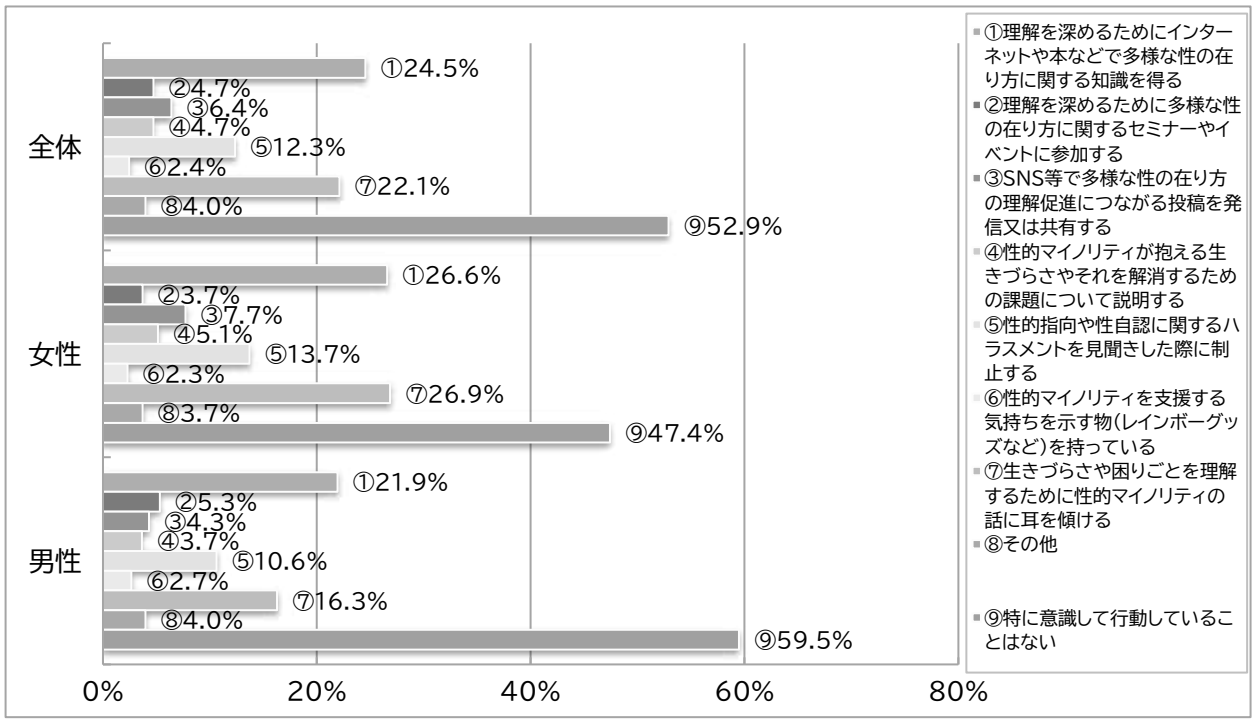
■令和5年度調査

[問18で1～5のいずれかを見聞きしたことがあると回答した中で]
問18-1　それを見聞きしたのはどこですか。(複数回答)



全体 N= 151　　女性 N= 82　　男性 N= 67　　それ以外 N= 2

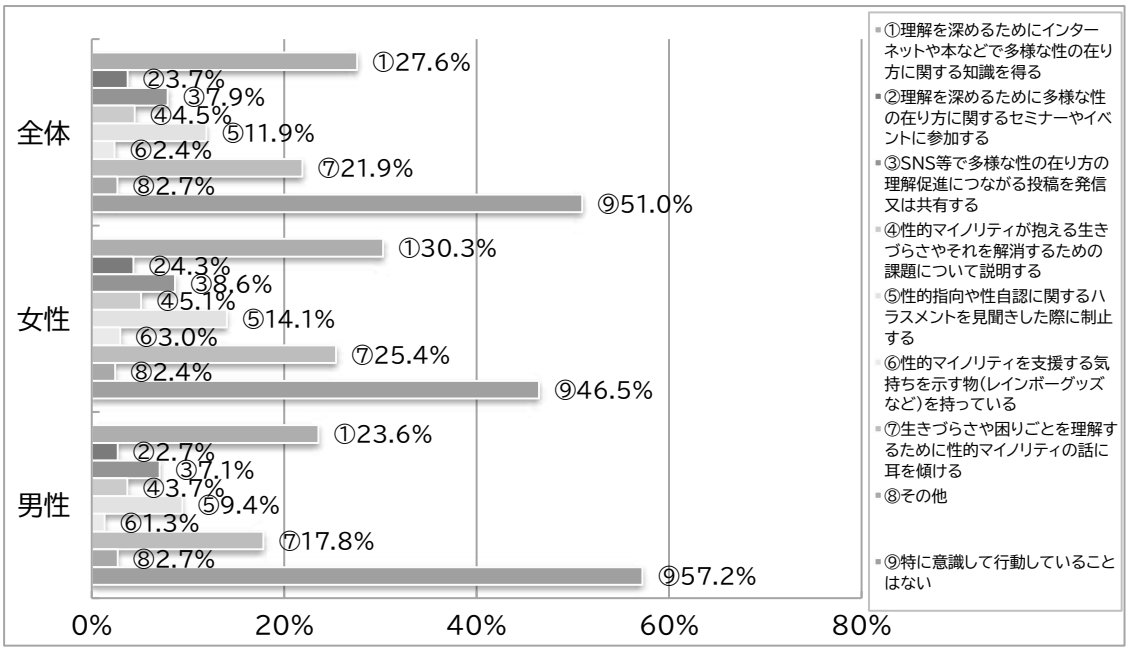
問19　性的マイノリティへの配慮を意識した日頃の行動について、あなたが当てはまるものを選んでください。（複数回答）



全体 N= 656　　女性 N= 350　　男性 N= 301　　それ以外 N= 5

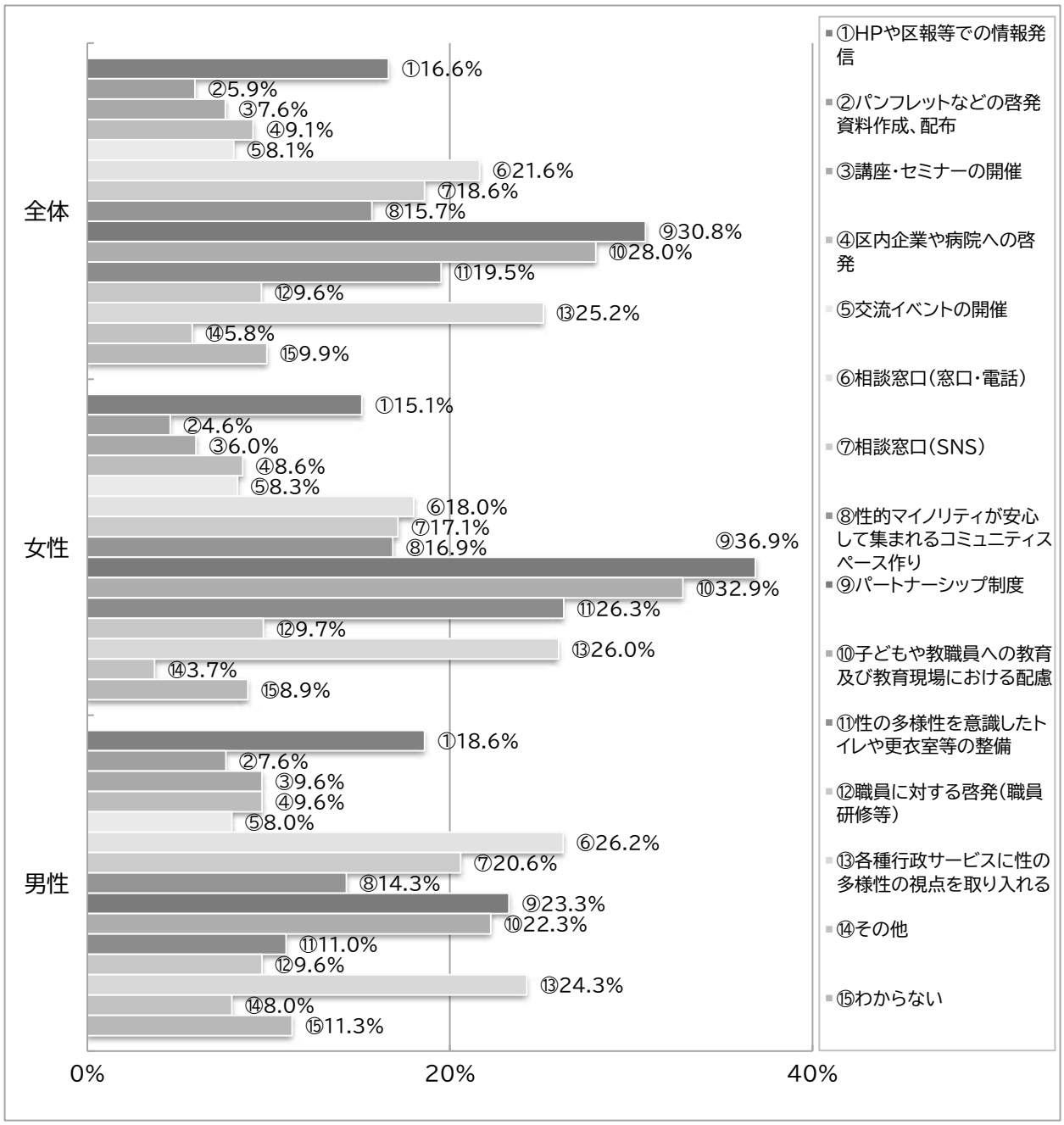
■令和5年度調査

問19　性的マイノリティへの配慮を意識した日頃の行動について、あなたが当てはまるものを選んでください。（複数回答）



全体 N= 671　　女性 N= 370　　男性 N= 297　　それ以外 N= 4

問20　性の多様性を尊重する社会を実現するために、区は特にどのような取組に力を入れたらよいと思いますか。（回答は3つまで）

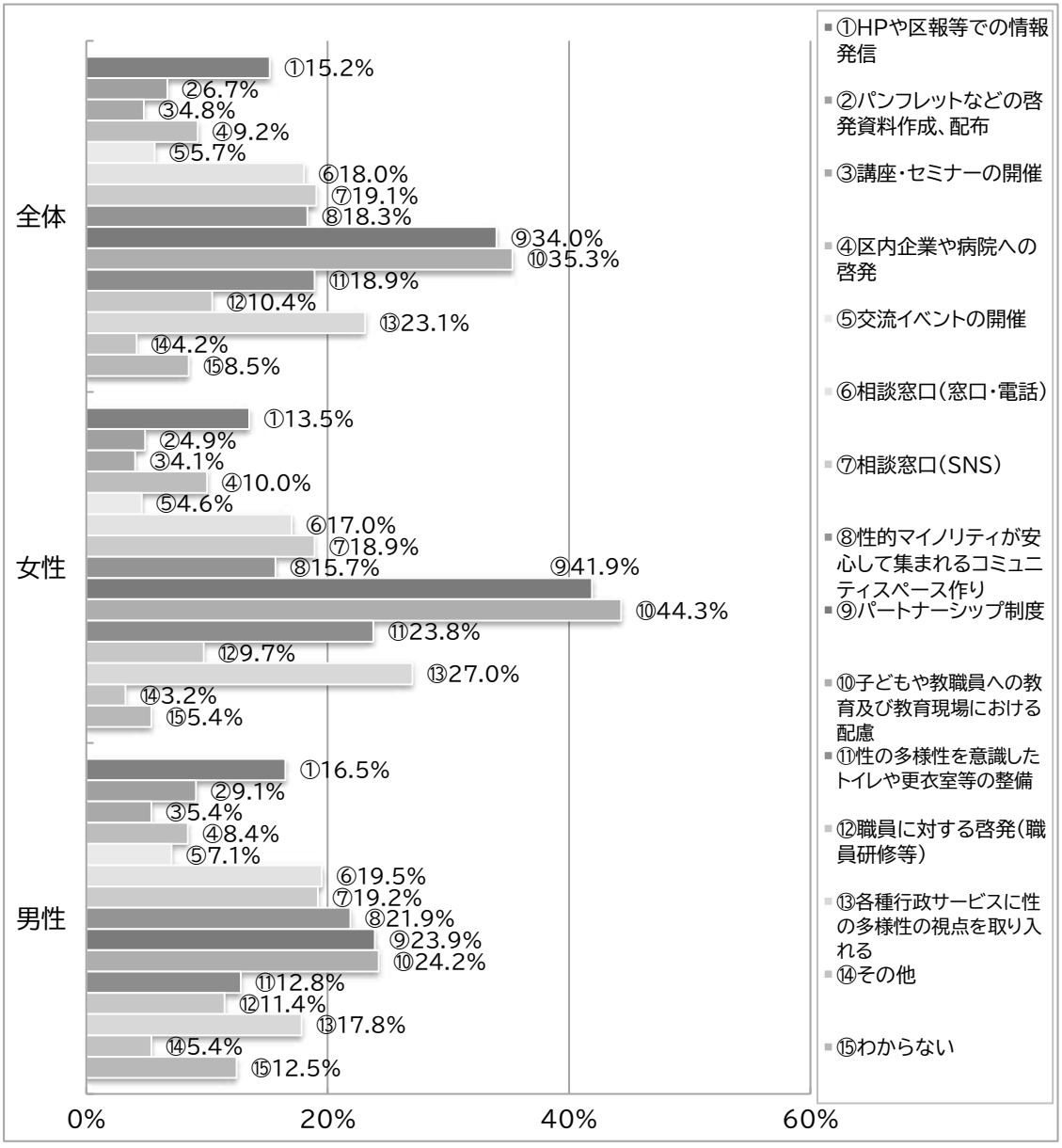


全体 N= 656　　女性 N= 350　　男性 N= 301　　それ以外 N= 5

性の多様性を尊重する社会の実現に向けて力を入れるべき取組について、「パートナーシップ制度」（30.8%）や「子どもや教職員への教育及び教育現場における配慮」（28.0%）と回答した人が多く、他には「各種行政サービスに性の多様性の視点を取り入れる」（25.2%）と回答した人が比較的多かった。

■令和5年度調査

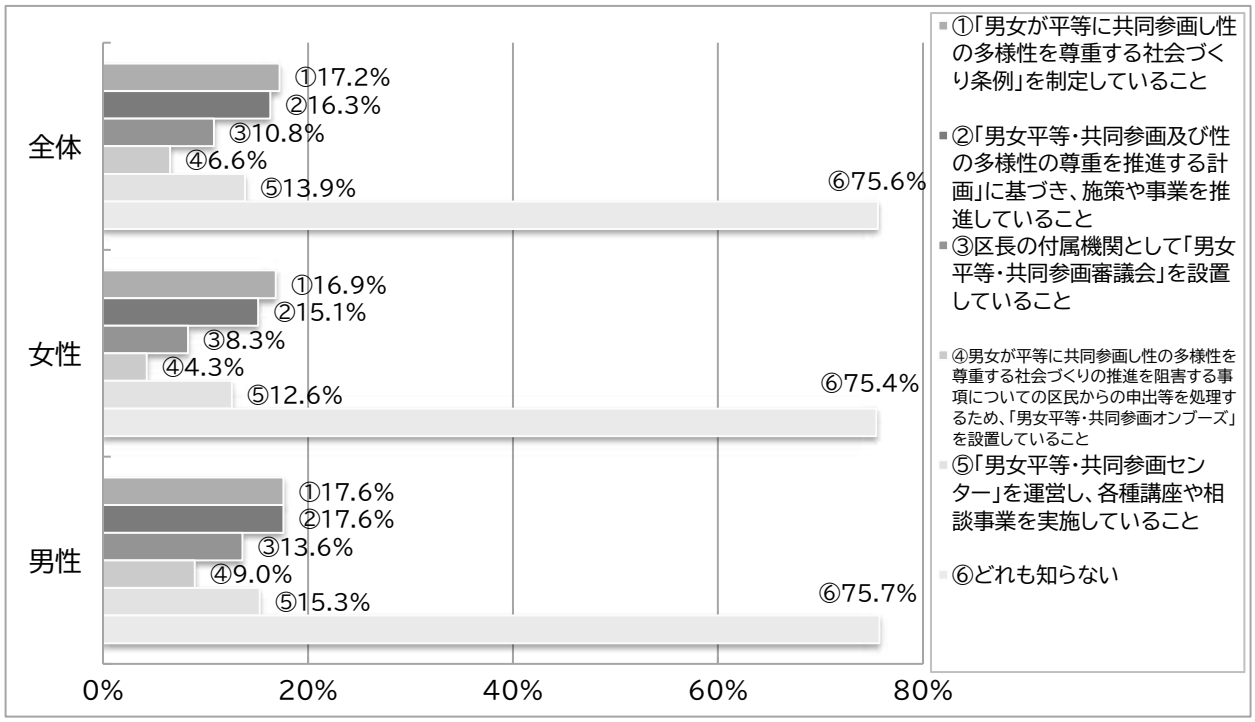
問20　性の多様性を尊重する社会を実現するために、区は特にどのような取組に力を入れたらよいと思いますか。（回答は3つまで）



全体 N= 671	女性 N= 370	男性 N= 297	それ以外 N= 4

【Ⅳ　区の男女平等・共同参画及び性の多様性尊重施策】

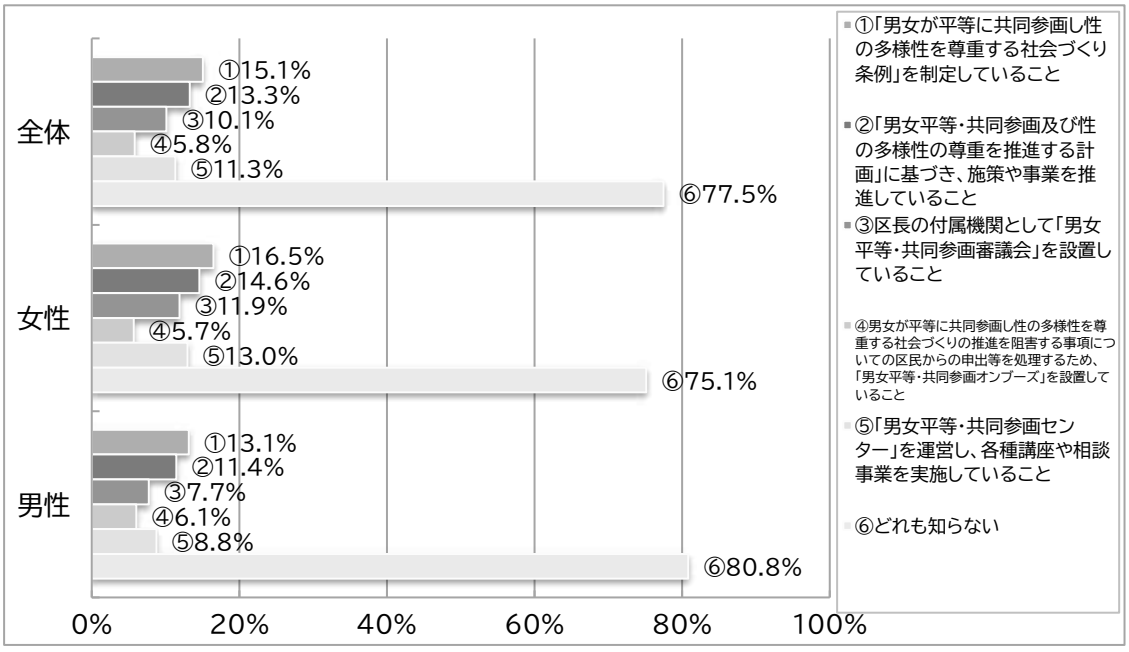
問21　目黒区が行っている次の施策や事業を知っていましたか。（①～⑤のそれぞれについて単一回答）（①～⑤のグラフは「知っていた」と回答した人の割合）



全体 N= 656　　女性 N= 350　　男性 N= 301　　それ以外 N= 5

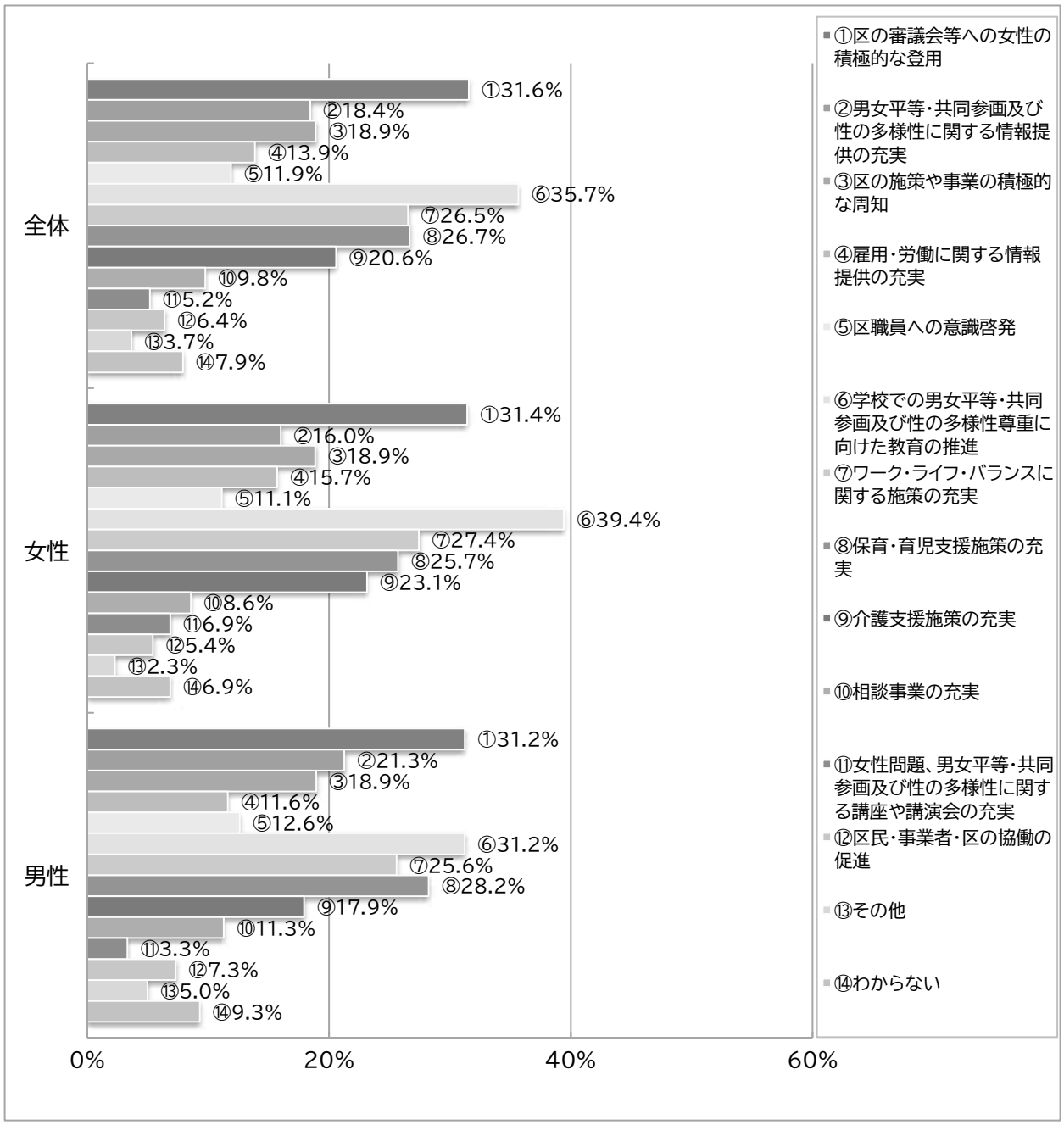
■令和5年度調査

問21　目黒区が行っている次の施策や事業を知っていましたか。（①～⑤のそれぞれについて単一回答）（①～⑤のグラフは「知っていた」と回答した人の割合）



全体 N= 671　　女性 N= 370　　男性 N= 297　　それ以外 N= 4

問22　男女平等・共同参画及び性の多様性尊重を推進するために、今後、区は特にどのようなことに力を入れたらよいと思いますか。（回答は3つまで）

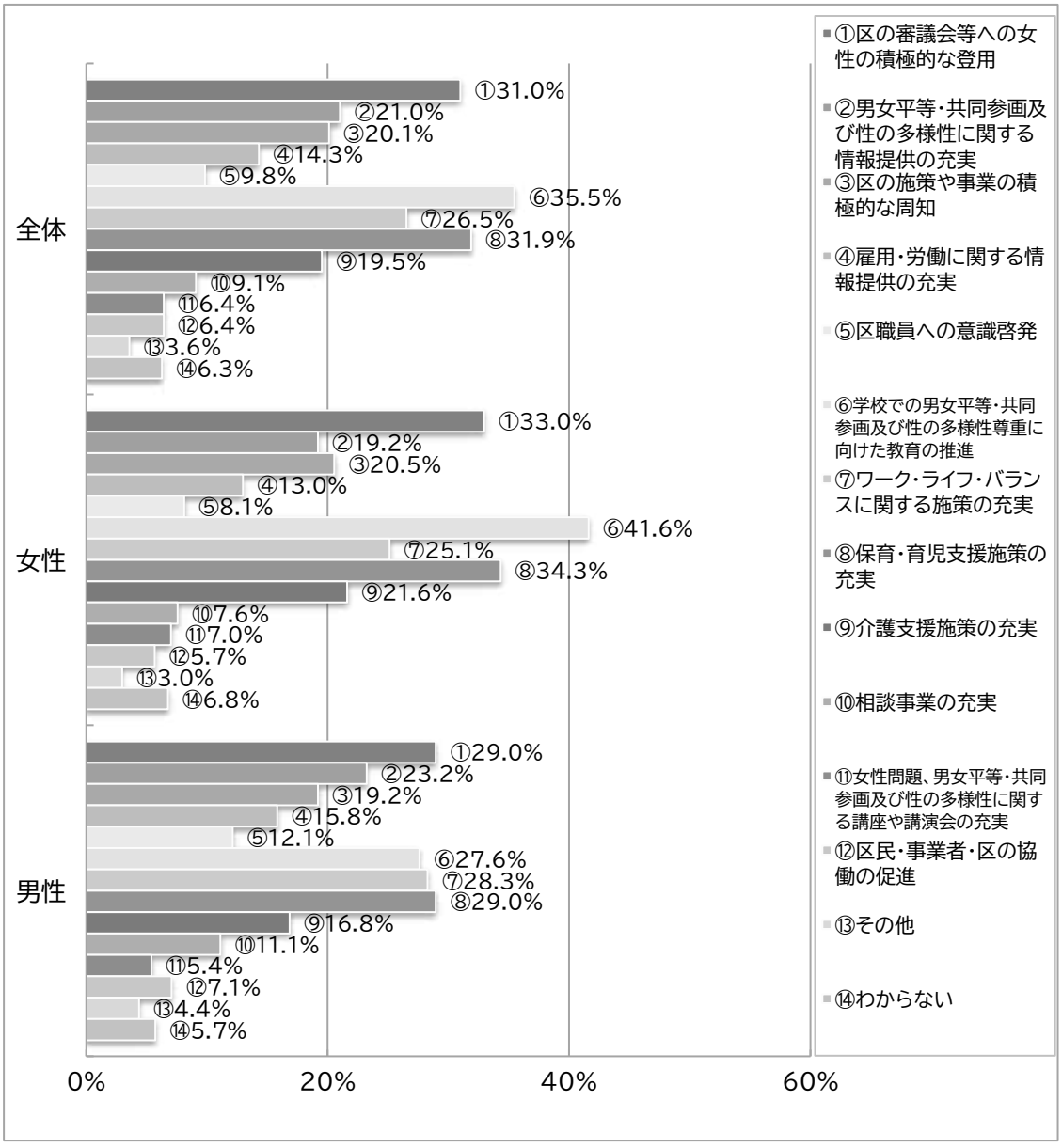


全体 N= 656　　女性 N= 350　　男性 N= 301　　それ以外 N= 5

男女平等・共同参画及び性の多様性尊重の推進のために必要な区の取組として、「学校での男女平等・共同参画及び性の多様性尊重に向けた教育の推進」（35.7%）という回答が最も多く、他には「区の審議会等への女性の積極的な登用」（31.6%）や「保育・育児支援施策の充実」（26.7%）という回答が多かった。

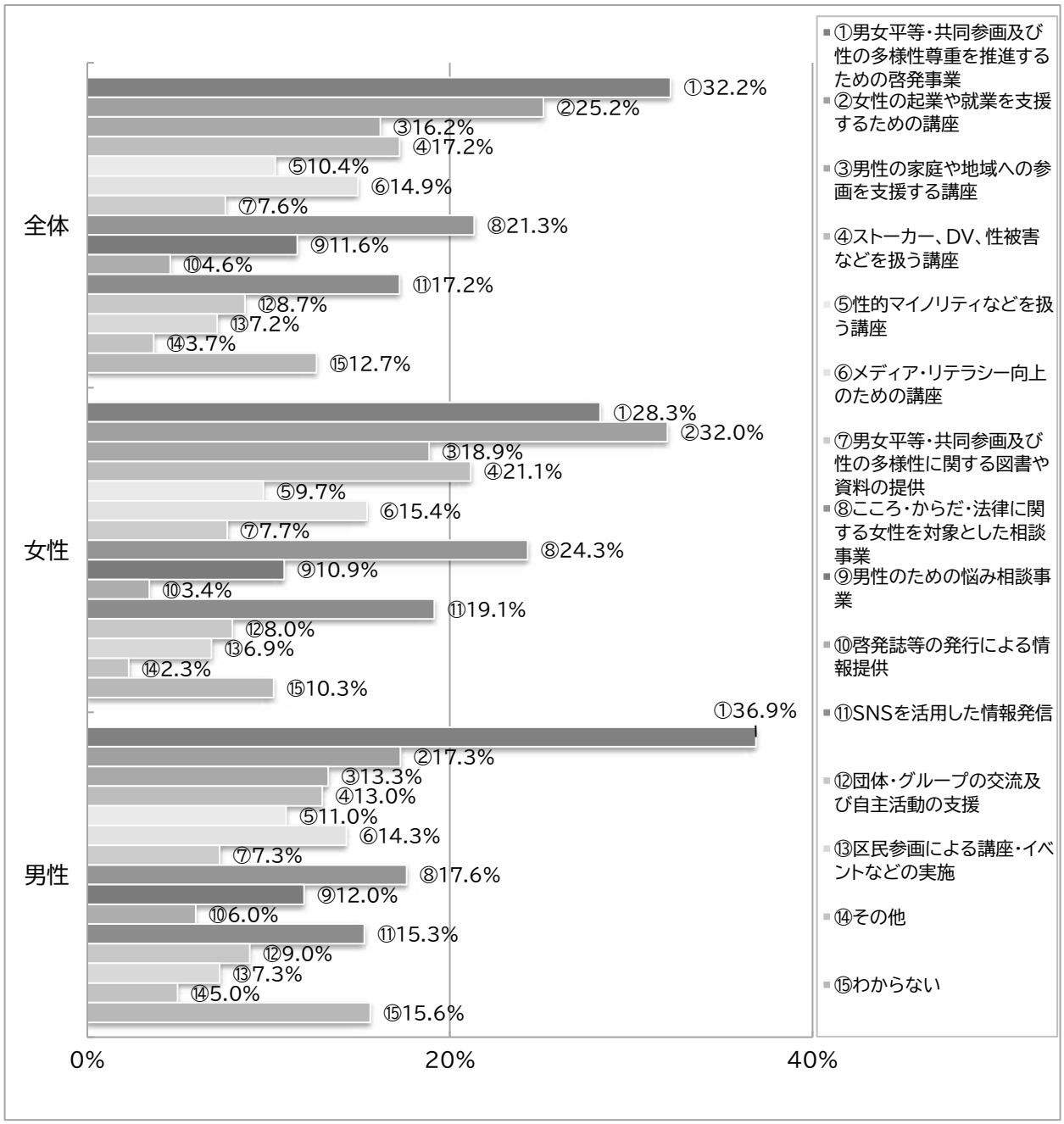
■令和5年度調査

問22　男女平等・共同参画及び性の多様性尊重を推進するために、今後、区は特にどのようなことに力を入れたらよいと思いますか。（回答は3つまで）



全体 N= 671	女性 N= 370	男性 N= 297	それ以外 N= 4

問23　目黒区男女平等・共同参画センターでは、男女平等・共同参画及び性の多様性尊重を推進するためにさまざまな事業を実施しています。あなたは、今後、特にどの事業に力を入れたらよいと思いますか。（回答は3つまで）

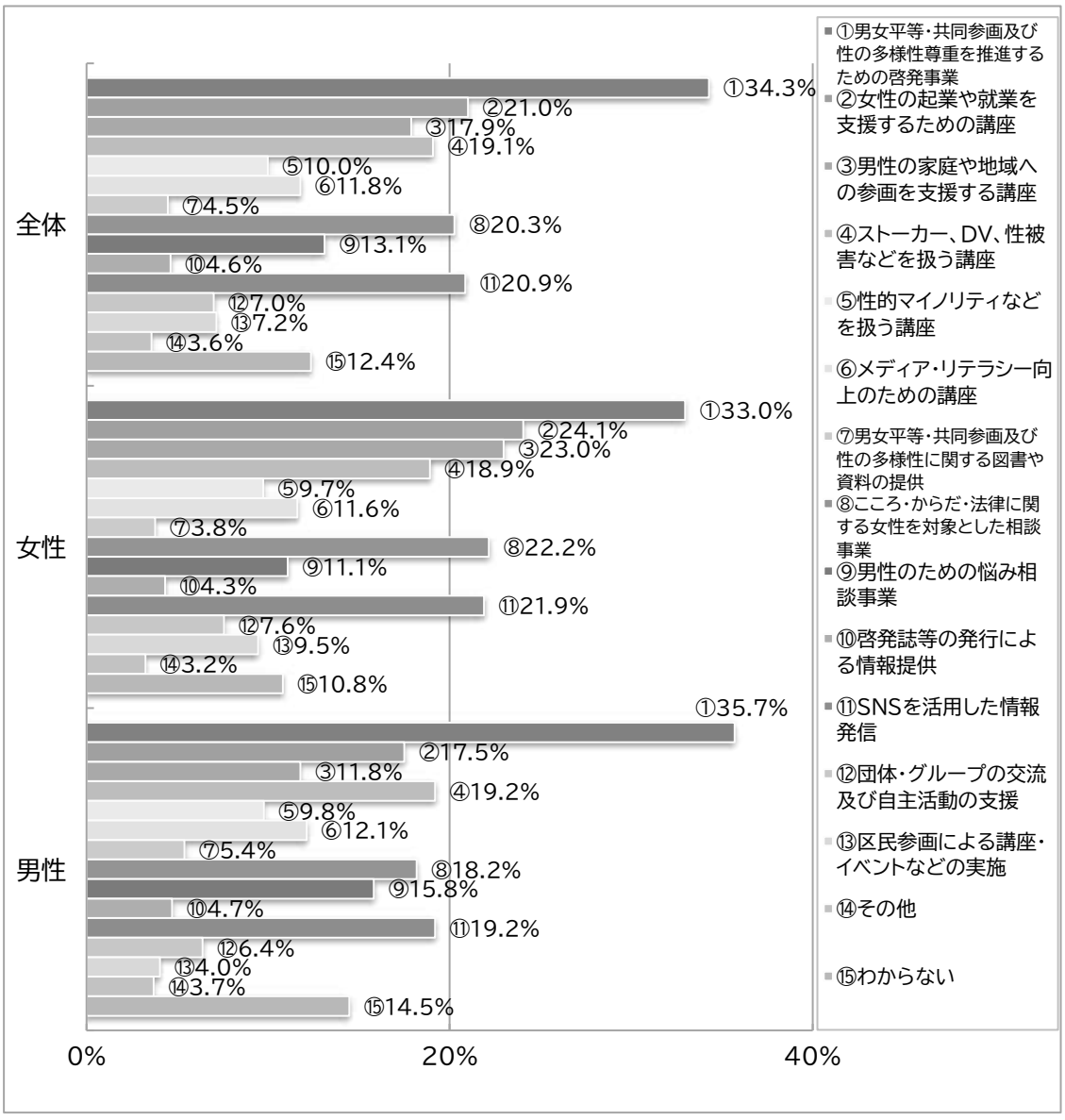


全体 N= 656　　女性 N= 350　　男性 N= 301　　それ以外 N= 5

男女平等・共同参画センターで力を入れるべき事業として、「男女平等・共同参画及び性の多様性尊重を推進するための啓発事業」（32.2%）という回答が最も多く、次いで「女性の起業や就業を支援するための講座」（25.2%）や「こころ・からだ・法律に関する女性を対象とした相談事業」（21.3%）という回答が多かった。

■令和5年度調査

問23　目黒区男女平等・共同参画センターでは、男女平等・共同参画及び性の多様性尊重を推進するためにさまざまな事業を実施しています。あなたは、今後、特にどの事業に力を入れたらよいと思いますか。（回答は3つまで）



全体 N= 671	女性 N= 370	男性 N= 297	それ以外 N= 4

資料

男女平等・共同参画及び性の多様性に関する区民意識調査　調査票

Ⅰ　男女平等に関する意識と実態

問1　「男性は仕事をし、女性は家庭を守るべきである」などのように、社会や家庭などで性別による固定的な役割があるという考え方について、あなたはどう思いますか。（選択は１つ）

1　賛成
2　どちらかといえば賛成
3　どちらかといえば反対
4　反対
5　わからない

問2　あなたは、主に目黒区内における次のそれぞれの分野で、性別による差別（不利益）が無く、平等になっていると思いますか。それぞれの分野との関わりが少ない場合でも、ご自分の持つ印象・イメージをお答えください。全く判断がつかない場合は、「わからない」とお答えください。（（ア）～（カ）のそれぞれについて、回答を１つ選択してください。）

	男性に対する差別がある	どちらかといえば男性に対する差別がある	男女平等である	どちらかといえば女性に対する差別がある	女性に対する差別がある	わからない
（ア）家庭生活（家事・育児・介護）	1	2	3	4	5	6
（イ）労働・雇用・職場	1	2	3	4	5	6
（ウ）学校教育	1	2	3	4	5	6
（エ）政治の場	1	2	3	4	5	6
（オ）地域の活動や行事	1	2	3	4	5	6
（カ）防災活動	1	2	3	4	5	6

【問２で一つでも「男性に対する差別がある」「女性に対する差別がある」と回答したかたのみ】

問2－1　その理由や具体的な事例について簡単に（箇条書き等で）記入してください。

問３～問 ４ は、配偶者（事実婚の異性パートナーを含む。）※がいるかたにお聞きします。

※主に家庭における男女間の役割分担の状況を分析するための設問ですので、ここでは異性パートナーがいるかたを対象にしています。

問３　あなたの家庭では、家事・育児・介護の分担はどうしていますか。
（(ア）～（ウ）のそれぞれについて、回答を１つ選択してください。）

※あなたの家庭で（ア）～（ウ）に携わっているかたがいない場合には、「該当なし」を選択してください。

	主に妻が行っている	主に妻で、夫が一部分担している	妻と夫が同じ程度に分担している	主に夫で、妻が一部分担している	主に夫が行っている	主に妻・夫以外の家族などが行っている	該当なし
（ア）炊事・洗濯・掃除などの家事	1	2	3	4	5	6	7
（イ）育児	1	2	3	4	5	6	7
（ウ）介護	1	2	3	4	5	6	7

問４　あなたは、家事・育児・介護（以下、「家事など」といいます。）の分担が一方の性別のパートナーに偏らないようにするためには、特にどんなことが必要だと思いますか。（**選択は３つまで**）

1　性別による固定的な役割分担意識をなくすこと
2　性別による固定的な役割分担をなくすための啓発を進めること
3　男女ともに家事などと仕事が両立できる勤務制度、職場環境を整備すること
4　家事などへの関心を高める啓発や情報提供を行うこと
5　家事などの技術を向上させる講座を行うこと
6　学校教育の場で、家事などは性別に関わらずに担うものであると教えること
7　家庭において、子どもに家事などは性別に関わらずに担うものであると教えること
8　パートナーや家族間でのコミュニケーションをよく図ること
9　その他（　　）
10　わからない

問５～問９は、すべてのかたがお答えください。

Ⅱ　ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）

問５　人生における「仕事」、「家庭生活」、「地域・個人の生活」（地域活動への参加、自己啓発など）のバランスについて、あなたの希望に最も近いものを選んでください。（現在仕事をしていない場合でも、就労希望がある場合は仕事をしている状況を想定してお考えください。）（選択は１つ）

1　「仕事」を優先したい
2　「家庭生活」を優先したい
3　「地域・個人の生活」を優先したい
4　「仕事」と「家庭生活」を優先したい
5　「仕事」と「地域・個人の生活」を優先したい
6　「家庭生活」と「地域・個人の生活」を優先したい
7　「仕事」と「家庭生活」と「地域・個人の生活」をできるだけ均等にしたい
8　わからない

問６　人生における「仕事」、「家庭生活」、「地域・個人の生活」（地域活動への参加、自己啓発など）のバランスについて、あなたの実際の状況に最も近いものを選んでください。（選択は１つ）

1　「仕事」を優先している
2　「家庭生活」を優先している
3　「地域・個人の生活」を優先している
4　「仕事」と「家庭生活」を優先している
5　「仕事」と「地域・個人の生活」を優先している
6　「家庭生活」と「地域・個人の生活」を優先している
7　「仕事」と「家庭生活」と「地域・個人の生活」をできるだけ均等にしている
8　わからない

問７　あなたは、ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）がとれていると思いますか。仕事や生活そのものの満足度ではなく、バランス（調和）という観点でお答えください。（現在仕事をしていない場合は、仕事をしていないことがあなたの本意であるかどうかも含めてお考えください。）（選択は１つ）

1　そう思う
2　ややそう思う
3　どちらともいえない
4　あまりそう思わない
5　全くそう思わない

問８　あなたは、ワーク・ライフ・バランスを実現するためには、働く場において特にどのような取組が必要だと思いますか。（**選択は３つまで**）

1　長時間労働の是正
2　有給休暇取得の促進
3　育児・介護休業の利用促進
4　男性の育児休業取得の促進
5　フレックスタイムや短時間勤務等の利用促進
6　企業の経営層・管理職の意識改革
7　育児・介護等による離職後の再雇用制度の充実
8　個人の意識改革や男女の役割分担意識の解消を促す啓発
9　その他（　　）

問９　あなたは、ワーク・ライフ・バランスを実現するためには、行政・地域社会において特にどのような取組が必要だと思いますか。（**選択は３つまで**）

1　保育サービス、保育所・学童保育クラブなどの子育て支援の充実
2　介護サービス、介護施設などの介護支援の充実
3　再就職を希望する人に向けた支援の充実
4　個人の意識改革や男女の役割分担意識の解消を促す啓発
5　有給休暇や両立支援制度の利用促進に向けた企業への啓発
6　地域活動（日常的に交流できるグループやサークル・団体活動など）の場の充実
7　その他（　　）

問１０～１１は、パートナー（配偶者、事実婚のパートナー、同性パートナー、交際相手）がいる（過去１年以内にいた）かたにお聞きします。（性別に関わらずお答えください。）

Ⅲ　人権・性の多様性の尊重

問 10　あなたはこの１年間に、パートナー（配偶者、事実婚のパートナー、同性パートナー、交際相手）から、次のようなことをされたことがありますか。（（ア）～（オ）のそれぞれについて、回答を１つ選択してください。）

	何度もあった	一、二度あった	全くない
（ア）身体的暴力 （平手で打たれる、足で蹴られる、なぐられる、刃物を突き付けられる、髪を引っ張られる、首を絞められる、物を投げつけられるなど）	1	2	3
（イ）精神的暴力 （大声で怒鳴られる、何を言っても無視される、日常的に罵ったり蔑む言葉を言われる、脅迫をされる、身体的な暴力を振るうそぶりをされるなど）	1	2	3
（ウ）性的暴力 （嫌がっているのに性的行為を強要される、見たくないのにポルノビデオ・ポルノ雑誌・アダルトサイトを見せられる、避妊に協力してもらえない、中絶を強要されるなど）	1	2	3
（エ）経済的暴力 （生活費を渡されない、貯金を勝手に使われる、外で働き収入を得ることを妨害されるなど）	1	2	3
（オ）社会的暴力 （交友関係や行き先、電話・郵便物・メールの内容を細かく監視される、外出や親族・友人との付き合いを制限されるなど）	1	2	3

【問 10 で１つでも「何度もあった」「一、二度あった」と回答したかたのみ】

問 10-1　誰（どこ）かに相談しましたか。（当てはまるものすべてを選択してください。）

1　家族、親族
2　友人、知人
3　区の相談窓口（男女平等・共同参画センター、福祉事務所、保健所など）
4　配偶者暴力相談支援センター（東京ウィメンズプラザ、東京都女性相談センターなど）
5　警察
6　弁護士、法テラス
7　医療関係者（医師など）
8　民間の相談機関
9　その他（　　）
10　誰（どこ）にも相談しなかった

10 を選んだかたは、問 10-2（次のページ）へ

↓

【問 10-1 で「誰（どこ）にも相談しなかった」と回答したかたのみ】

問 10-2 相談しなかった理由は、次のどれですか。（当てはまるものすべてを選択してください。）

1 相談できる人がいなかったから
2 どこに相談してよいのかわからなかったから
3 人に知られるのではないかと心配だったから
4 人に打ち明けることに抵抗があったから
5 相談しても無駄だと思ったから
6 我慢すればこのまま何とかやっていけると思ったから
7 自分にも悪いところがあると思ったから
8 他人を巻き込みたくなかったから
9 相談するほどのことではないと思ったから
10 その他（ ）

問 11 あなたは、パートナー（配偶者、事実婚のパートナー、同性パートナー、交際相手）からの暴力の防止及び被害者支援のために、特にどのような対策の充実が必要だと思いますか。（**選択は３つまで**）

1 家庭内や交際相手でも暴力は犯罪であるという意識づくり
2 身近な暴力に気付いたら、周囲の人が通報することが必要であるという啓発
3 学校におけるお互いの性を尊重する教育
4 相談機関の紹介や暴力を受けたときの対処方法などに関する知識の提供
5 精神的に自立するための被害者支援（カウンセリング、相談など）
6 自立して生活できるための被害者支援（住居や就職のあっせんなど）
7 離婚訴訟に向けた法律相談窓口の紹介など、法律に関する支援
8 性別等に関わらずに相談できる窓口の充実
9 加害者の更生支援（更正プログラムの実施やカウンセリングなど）
10 その他（ ）
11 わからない

問１２～問２３は、すべてのかたがお答えください。

問 12 相手を不快にさせる性的な言動（性的指向や性自認に関するものを含む。）を「セクシュアルハラスメント」といいます。あなたはこの１年間に、セクシュアルハラスメントを受けたことがありますか。（選択は１つ）

1 受けた　　2 受けていない

↓

【問 12 で「受けた」と回答したかたのみ】

問 12-1 それはどこで受けましたか。（当てはまるものすべてを選択してください。）

1 職場
2 学校
3 地域社会
4 その他（ ）

問 13　あなたは、セクシュアルハラスメントの防止及び被害者支援のために、特にどのような対策の充実が必要だと思いますか。（**選択は３つまで**）

1　広報誌・ホームページなどを通じた情報提供
2　詳しく説明した啓発資料の配布
3　防止に向けた事業者や事業主の意識改革
4　実例や防止策などについて説明する講座の開催
5　被害者や身近な人のための相談窓口
6　公的機関や支援団体などの相談窓口の周知
7　学校における防止に関する教育
8　その他（　　）
9　わからない

問 14　あなたは、「生涯にわたる性と生殖に関する健康と権利（リプロダクティブ・ヘルス／ライツ）」という考えを知っていましたか。（選択は１つ）

※『生涯にわたる性と生殖に関する健康と権利（リプロダクティブ・ヘルス／ライツ）』
1994 年にカイロで開催された国際人口・開発会議において提唱された概念で、今日、女性の人権の重要な一つとして認識されるに至っています。リプロダクティブ・ヘルス／ライツの中心課題には、いつ何人子どもを産むか産まないかを選ぶ自由、安全で満足のいく性生活、安全な妊娠・出産、子どもが健康に生まれ育つことなどが含まれており、また、思春期や更年期における健康上の問題等、生涯を通じての性と生殖に関する課題が幅広く議論されています。

1　知っていた　　2　初めて知った

問 15　あなたは、問 14 でお聞きした考えを踏まえ、現在、妊娠や出産をめぐる女性の健康と権利が尊重されていると思いますか。（選択は１つ）

1　十分に尊重されている
2　ある程度尊重されている
3　あまり尊重されていない
4　尊重されていない
5　わからない

【問 15 で「あまり尊重されていない」「尊重されていない」と回答したかたのみ】

問 15-1　「あまり尊重されていない」「尊重されていない」と思う理由は、次のどれですか。（当てはまるものすべてを選択してください。）

1　女性に対して妊娠・出産などに関する情報の提供が不足しているから
2　男性に対して妊娠・出産などに関する知識の普及が遅れているから
3　子どもを産むか産まないかという判断は経済的な理由による制約を受けることが多いから
4　妊娠・出産に関して男性パートナーの意向が重視されることが多いから
5　妊娠・出産に関して家族や親族の意向が重視されることが多いから
6　子どもを産まないという選択を、周りから理解してもらえないから
7　その他（　　）

問 16　あなたは、性的マイノリティ（又はＬＧＢＴ（ＬＧＢＴＱ）、セクシュアル・マイノリティ、性的少数者）※という言葉やその意味を知っていましたか。（選択は１つ）

※性的マイノリティ（又はＬＧＢＴ（ＬＧＢＴＱ）、セクシュアル・マイノリティ、性的少数者）
レズビアン［Lesbian（女性同性愛者）］、ゲイ［Gay（男性同性愛者）］、バイセクシュアル［Bisexual（両性愛者）］、トランスジェンダー［Transgender（出生時に割り当てられた性別と自分が認識する性別が異なる人）］や、クエスチョニング［Questioning（自分の性の在り方を決めていない人）などのことをいいます。

1　言葉も意味も知っていた
2　言葉は知っていたが意味は知らなかった
3　言葉を知らなかった

問 17　あなたは、次の**いずれか又は両方に**当てはまりますか。（選択は１つ）
・出生時に割り当てられた性別と自分が認識する性別（性自認）が異なる。
・恋愛・性愛の対象（性的指向）が「異性のみ」※ではない（同性のみ、同性も異性も、性別を問わない、どの性別も対象にならないなど）
※「異性」は自分が認識する自身の性別（性自認）とは異なる性別としてお考えください。

1　いずれか又は両方に当てはまる
2　いずれにも当てはまらない
3　わからない、答えたくない

【問 17 で「いずれか又は両方に当てはまる」と回答したかたのみ】

問 17-1　ご自身の性的指向や性自認により、日常の生活や行政サービスなどで経験した困りごとがあれば記入してください。（記入は任意です。）

問 18　あなたは、この１年間に性的指向や性自認に関する次のハラスメントを見聞きしたことがありますか。（当てはまるものすべてを選択してください。）

1　性的マイノリティに関する差別的な言動や嘲笑、呼称（ネタや笑いものにするなど）
2　性的指向や性自認を理由とするいじめ、無視、暴力（家族が性的マイノリティであることによるものも含む。）
3　望まない性別での生活の強要（例：性自認とは異なる制服の着用の強制）
4　性的指向や性自認を理由とする不当な異動や解雇、入学拒否や転校強制
5　誰かの性的指向や性自認を本人の許可なく第三者に公表（暴露）すること（アウティング）
6　いずれも見聞きしたことはない

↓

【問 18 で１～５のいずれかを見聞きしたことがあると回答したかたのみ】

問 18-1　それを見聞きしたのはどこですか。（当てはまるものすべてを選択してください。）

1　職場	3　地域社会
2　学校	4　その他（　　）

問 19　性的マイノリティへの配慮を意識した日頃の行動について、あなたが当てはまるものを選んでください。（当てはまるものすべてを選択してください。）

1　理解を深めるためにインターネットや本などで多様な性の在り方に関する知識を得る
2　理解を深めるために多様な性の在り方に関するセミナーやイベントに参加する
3　ＳＮＳ等で多様な性の在り方の理解促進につながる投稿を発信又は共有する
4　性的マイノリティが抱える生きづらさやそれを解消するための課題について説明する
5　性的指向や性自認に関するハラスメントを見聞きした際に制止する
6　性的マイノリティを支援する気持ちを示す物（レインボーグッズなど）を持っている
7　生きづらさや困りごとを理解するために性的マイノリティの話に耳を傾ける
8　その他（上記以外で該当する行動があればご記入ください。）
（　　）
9　特に意識して行動していることはない

問 20　性の多様性を尊重する社会を実現するために、区は特にどのような取組に力を入れたらよいと思いますか。（**<u>選択は３つまで</u>**）

1　ＨＰや区報等での情報発信
2　パンフレットなどの啓発資料作成、配布
3　講座・セミナーの開催
4　区内企業や病院への啓発
5　交流イベントの開催
6　相談窓口（窓口・電話）
7　相談窓口（ＳＮＳ）
8　性的マイノリティが安心して集まれるコミュニティスペース作り
9　パートナーシップ制度
10　子どもや教職員への教育及び教育現場における配慮
11　性の多様性を意識したトイレや更衣室等の整備
12　職員に対する啓発（職員研修等）
13　各種行政サービスに性の多様性の視点を取り入れる
14　その他（　　）
15　わからない

Ⅳ　区の男女平等・共同参画及び性の多様性尊重施策

問 21　あなたは、目黒区が行っている次の施策や事業を知っていましたか。((ア）～（オ）のそれぞれについて、回答を１つ選択してください。）

	知っていた	知らなかった
（ア）「男女が平等に共同参画し性の多様性を尊重する社会づくり条例」を制定していること	1	2
（イ）「男女平等・共同参画及び性の多様性の尊重を推進する計画」に基づき、施策や事業を推進していること	1	2
（ウ）区長の付属機関として「男女平等・共同参画審議会」を設置していること	1	2
（エ）男女が平等に共同参画し性の多様性を尊重する社会づくりの推進を阻害する事項についての区民からの申出等を処理するため、「男女平等・共同参画オンブーズ」を設置していること	1	2
（オ）「男女平等・共同参画センター」を運営し、各種講座や相談事業を実施していること	1	2

問 22　あなたは、男女平等・共同参画及び性の多様性尊重を推進するために、今後、区は特にどのようなことに力を入れたらよいと思いますか。（**選択は３つまで**）

1　区の審議会等への女性の積極的な登用
2　男女平等・共同参画及び性の多様性に関する情報提供の充実
3　区の施策や事業の積極的な周知
4　雇用・労働に関する情報提供の充実
5　区職員への意識啓発
6　学校での男女平等・共同参画及び性の多様性尊重に向けた教育の推進
7　ワーク・ライフ・バランスに関する施策の充実
8　保育・育児支援施策の充実
9　介護支援施策の充実
10　相談事業の充実
11　女性問題、男女平等・共同参画及び性の多様性に関する講座や講演会の充実
12　区民・事業者・区の協働の促進
13　その他（　　）
14　わからない

問 23 目黒区男女平等・共同参画センターでは、男女平等・共同参画及び性の多様性の尊重を推進するためにさまざまな事業を実施しています。あなたは、今後、特にどの事業に力を入れたらよいと思いますか。（**選択は３つまで**）

1　男女平等・共同参画及び性の多様性尊重を推進するための啓発事業
2　女性の起業や就業を支援するための講座
3　男性の家庭や地域への参画を支援する講座
4　ストーカー、ＤＶ、性被害などを扱う講座
5　性的マイノリティなどを扱う講座
6　メディア・リテラシー向上のための講座
7　男女平等・共同参画及び性の多様性に関する図書や資料の提供
8　こころ・からだ・法律に関する女性を対象とした相談事業
9　男性のための悩み相談事業
10　啓発誌等の発行による情報提供
11　ＳＮＳを活用した情報発信
12　団体・グループの交流及び自主活動の支援
13　区民参画による講座・イベントなどの実施
14　その他（　　）
15　わからない

最後に「あなた」についてお尋ねします。（次のページへ）

あなたについて

Ｆ１　あなたの性別※についてお答えください。

（この質問は個人の意識や置かれている状況を性別※と併せて統計的に分析するためにお尋ねしています。）

※戸籍上の性別に関わらず、現在自分が認識している性別

1　女性	2　男性	3　それ以外（　　）

Ｆ２　あなたの年齢についてお答えください。

1　１０歳代	3　３０歳代	5　５０歳代	7　７０歳以上
2　２０歳代	4　４０歳代	6　６０歳代	

Ｆ３　あなたに次のパートナーはいらっしゃいますか。（過去１年以内にいた場合を含みます。）

1　配偶者（事実婚を含む。）	3　交際相手
2　同性パートナー	4　パートナーはいない

【Ｆ３で「配偶者（事実婚を含む。）」と回答したかたのみ】

Ｆ３－１　あなたの世帯は共働き（パート・アルバイトを含みます。）ですか。

1　共働きである	2　共働きではない

Ｆ４　あなたの世帯の構成は、次のどれに該当しますか。ご自身の立場（自分が親、自分が子ども）に関わらず、世帯構成をお答えください。（「夫婦」は事実婚や同性カップルを含みます。）

1　単身（一人暮らし）	4　親と子ども夫婦（二世代家族）
2　夫婦（自分とパートナー）のみ	5　親と子ども夫婦と孫（三世代家族）
3　親と独身の子ども（ひとり親世帯を含む。）	6　その他（　　）

Ｆ５　あなたの家庭には、次に該当するかたがいらっしゃいますか。（当てはまるものすべてを選択してください。）

1　未就学児	4　中学生
2　小学１年生～３年生	5　介護が必要なかた
3　小学４年生～６年生	6　１～５のいずれもいない

調査全体に関してお気付きの点がございましたらご記入ください。

ご回答ありがとうございました。　　目黒区総務部人権政策課